

Hondaナビゲーションシステム 取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズDVDナビコンボ
VXD-085CV/VXD-085C

ナビゲーション・オーディオ編



Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

● 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

 危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

● その他の表示



お知らせ

操作に関するお知らせです。



アドバイス

使いこなすためのアドバイスです。



お願い

お車のために守っていただきたいことです。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください。

警告

テレビを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。

車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



注意

- 安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因になりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車して使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因になることがあります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- 電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因になることがあります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。
- 雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。けがの原因になることがあります。
- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因になることがあります。



お願い

- 目的地（自宅）への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- 安全のため、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません。」等のメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動がでなくなる場合があります。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いが出るなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因になります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因になります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因になります。
- 音が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因になることがあります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規制にしたがって廃棄してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因になります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因になりますのでご注意ください。
- ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。故障の原因になります。
- 本機の表示するデジタル地図は、道路の変更、通行止めなどは表示されません。また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事等でも道路状況がかわります。実際の交通規則を必ず守って運転してください。
- ナビゲーションシステムは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。
- プログラム読み込みが終了するまで電源を切らないでください。
バッテリーとの接続が絶たれた場合や、電圧が下がった場合には本機に保存されているプログラムが消えてしまいます。この場合には次回起動時にプログラム読み込み中画面が表示され、再度プログラムの保存が行われます。プログラム読み込みが終了するまでしばらくそのままお待ちください。プログラム読み込み中に電源を断れますと、ナビが起動しなくなるなど思わぬ故障の原因になります。



お願い

- 本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動等により、ご購入後、お客様が記録された情報内容が消失する場合があります。お客様が本機に記録された情報内容につきましては、別にメモをとるなどして保管してください。
- なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
 - ①本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電氣的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が本機に記録された情報内容等が変化・消失した場合。
 - ②お客様または第三者が本機の使用を誤ったことにより、お客様が本機に記録された情報内容等が変化・消失した場合。
 - ③本機の故障・修理に際し、お客様が本機に記録された情報内容等が変化・消失した場合。

※ 尚、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。



お知らせ

- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、ディスクの読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
- 寒冷時にエンジンスイッチをONにした後、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。
- 初めてご使用になる時や長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置が修正されます。
- GPSアンテナの取扱い
 - ・アンテナに塗装しないでください。電波の受信感度の低下や、受信不良の原因になります。
 - ・アンテナ上方を物でさえぎったり、また雪などが積もったりした場合にも受信感度が低下します。雪などは取り除いてください。
- 本機は安全のため、走行中一部の機能が使えなくなります。走行中は一部の細街路を消去します。
- 本機は他の電装品からの電氣的なノイズに対して影響を受け難い構造となっておりますが、まれに強力なノイズを発生する電装品があり、本機の傍で使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品のご使用をおやめください。

●本書の読み方

- ・本書は、VXD-085CV（映像用DVD再生対応）とVXD-085C（映像用DVD再生非対応）の取扱説明書です。
- ・本書の映像用DVDに関する内容は、VXD-085CV（映像用DVD再生対応）向けの説明になります。

もくじ

1.はじめに			目的別早見表 1-1 主な特長 1-7 お使いになる前に 1-9 電源を入れるには 1-11 各部の名称とはたらき 1-12 ディスクの出し入れ 1-14 ディスプレイの角度を調整するには 1-18 ナビゲーション・オーディオの切り替え 1-19 画面の調整 1-21 画面の設定 1-24
ナビゲーション	2.基本編	初期設定	簡単初期設定ガイドについて 2-1
		メニュー	ナビメニューについて 2-7
		地図の表示	現在地を表示するには 2-9
			地図スクロールするには 2-10
			地図の縮尺をかえるには 2-11
			地図の向きをかえるには 2-14
			3D表示するには 2-15
			2画面表示するには 2-17
		ルート案内	地図・文字を拡大表示するには 2-19
			市街図を表示するには 2-20
			高速略図画面を表示するには 2-21
	3.応用編	ルート案内について	 2-23
		ルートを設定する	目的地を設定しルートを探るするには 2-25 5ルートを確認・選択するには 2-29
		ルート案内の種類	案内画面について 2-31 案内をもう一度聞きたいときは 2-38 どこでも確認ボタンについて 2-39
		共通の操作	リスト画面の切り替え方 3-1 スイッチの意味がわからないときには 3-3
			目的地を追加・並び替え・消去するには 3-4 通過道路を指定・修正・解除するには 3-11 乗降・Cを指定するには 3-16 ルートの再探索 3-18 区間ごとの探索条件を設定するには 3-20
		ルートを確認する	ルートの詳細情報を確認するには 3-21 デモでルートを確認するには 3-22 オンルートスクロールを使うには 3-23 走行軌跡について 3-26
		ルート案内の詳細操作	ルート案内を中止・再開するには 3-27 案内の音量を調節するには 3-28
		情報検索	50音で地図を表示するには 3-29 施設で地図を表示するには 3-33 電話番号で地図を表示するには 3-35 郵便番号で地図を表示するには 3-38 住所で地図を表示するには 3-39 メモリ地点で地図を表示するには 3-41 履歴で地図を表示するには 3-42 マップコードで地図を表示するには 3-43 周辺施設で地図を表示するには 3-44 施設ランドマークを地図に表示するには 3-46 近くの施設を検索するには 3-49 建物の情報を表示するには 3-51

ナビゲーション	4.設定編	各種設定	ナビ設定を行うには	4-1
		ナビゲーションのカスタマイズ	ナビメニュー「新しく探す」をカスタマイズするには ショートカットスイッチを設定するには	4-17 4-18
		メモリ地点	メモリ地点を登録・修正・消去するには 迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには	4-19 4-32
		VICS	VICSを使うには	4-38
		その他の機能	補正機能 地図ディスクについて QQコールについて	4-51 4-53 4-54
5.情報機能		情報画面について	5-1	
		FM多重放送を見るには	5-2	
		メンテナンスを使うには	5-6	
		電話帳を見るには	5-16	
		カレンダーを見るには	5-17	
6.オプション		ETCシステムの操作	6-1	
		フロントカメラからの映像を見るには	6-4	
		コーナーカメラからの映像を見るには	6-9	
		リアカメラからの映像を見るには	6-16	
		後席ディスプレイの操作	6-20	
テレビ・オーディオ	共通の操作	電源の入れ方・音量調整のしかた	7-1	
		音の調整	7-2	
テレビ・オーディオの切り替え		7-3		
機能ごとの操作	テレビを使うには	7-5		
	ビデオカメラ等のモニターとして使うには	7-11		
	ラジオを聞くには	7-12		
	交通情報を聞くには	7-15		
	DVDプレーヤーをお使いになる前に	7-16		
	DVDプレーヤーを使うには	7-25		
	CDプレーヤーでCDを聞くには	7-40		
	MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには	7-43		
	ポータブルオーディオ機器を接続して使う(AUX)	7-55		
8.知っておいてください	自車位置精度について	8-1		
	ルート探索について	8-3		
	ルート案内について	8-5		
	こんなメッセージが表示されたとき	8-7		
	故障とお考えになる前に	8-10		
	保証とアフターサービス	8-13		
	仕様	8-13		
	用語さくいん	8-15		
	凡例	8-17		

1 はじめに

2 基本編

3 応用編

4 設定編

5 情報機能

6 オプション

フ.テレビ・
オーディオ8 知っておいて
ください

目的別早見表

1
はじめに

目的別早見表

初めてお使いになるときは	ナビの基本的な設定をしたい	簡単初期設定ガイド	➔ 2-1 ページ
地図の表示について	地図画面の見方を知りたい	現在地を表示する	➔ 2-9 ページ
	現在地を知りたい	現在地を表示する	➔ 2-9 ページ
	地図の記号について知りたい	凡例	➔ 8-17 ページ
	現在地付近の地図を見たい	地図スクロールする	➔ 2-10 ページ
	地図の大きさをかえたい	地図の縮尺をかえる	➔ 2-11 ページ
	地図の表示方法をかえたい	地図の向きをかえる	➔ 2-14 ページ
		市街図を表示する	➔ 2-20 ページ
		3D表示・2画面表示にする	➔ 2-15 ページ～ 2-18 ページ
		高速略図画面を表示する	➔ 2-21 ページ
	地図に情報を表示させたい	施設ランドマークを表示する	➔ 3-46 ページ
立体ランドマークを表示する		➔ 4-8 ページ	
VICS 情報を表示する		➔ 4-39 ページ	

地図の呼び出し
について施設や住所の
名称の一部から
呼び出したい50音で地図を表示
する

→ 3-29ページ

施設を検索して
呼び出したい施設で地図を表示
する

→ 3-33ページ

電話番号を入力
して呼び出したい電話番号で地図を
表示する

→ 3-35ページ

郵便番号を入力
して呼び出したい郵便番号で地図を
表示する

→ 3-38ページ

住所を検索して
呼び出したい住所で地図を表示
する

→ 3-39ページ

登録した地点から
呼び出したいメモリ地点で地図
を表示する

→ 3-41ページ

過去の目的地から
呼び出したい履歴で地図を表示
する

→ 3-42ページ

マップコードを
入力して呼び出
したいマップコードで地図
を表示する

→ 3-43ページ

現在地や目的地
周辺の施設を検索
して呼び出したい周辺施設で地図を
表示する

→ 3-44ページ

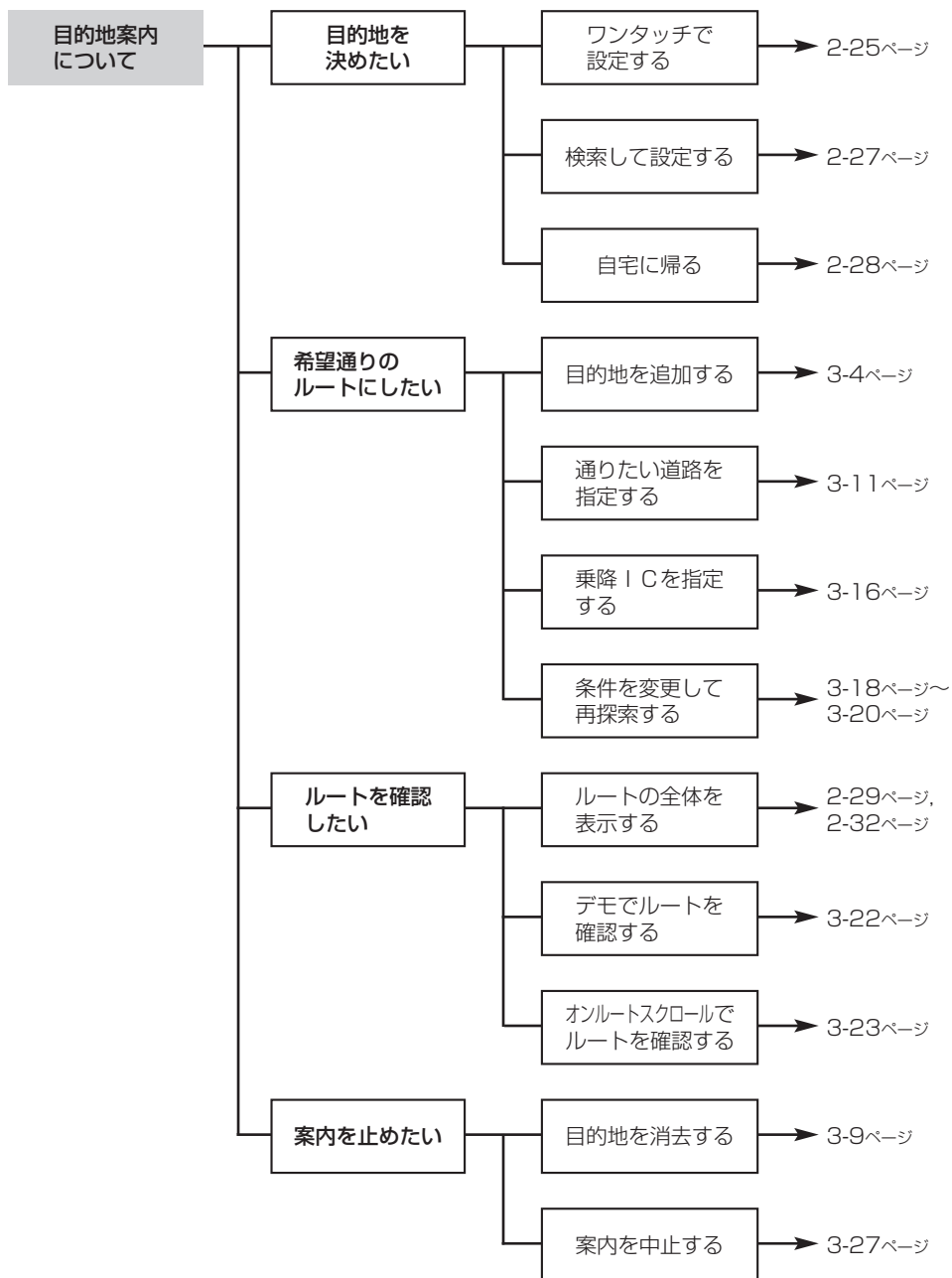
地図の色
について明るさやコントラ
ストを変えたい

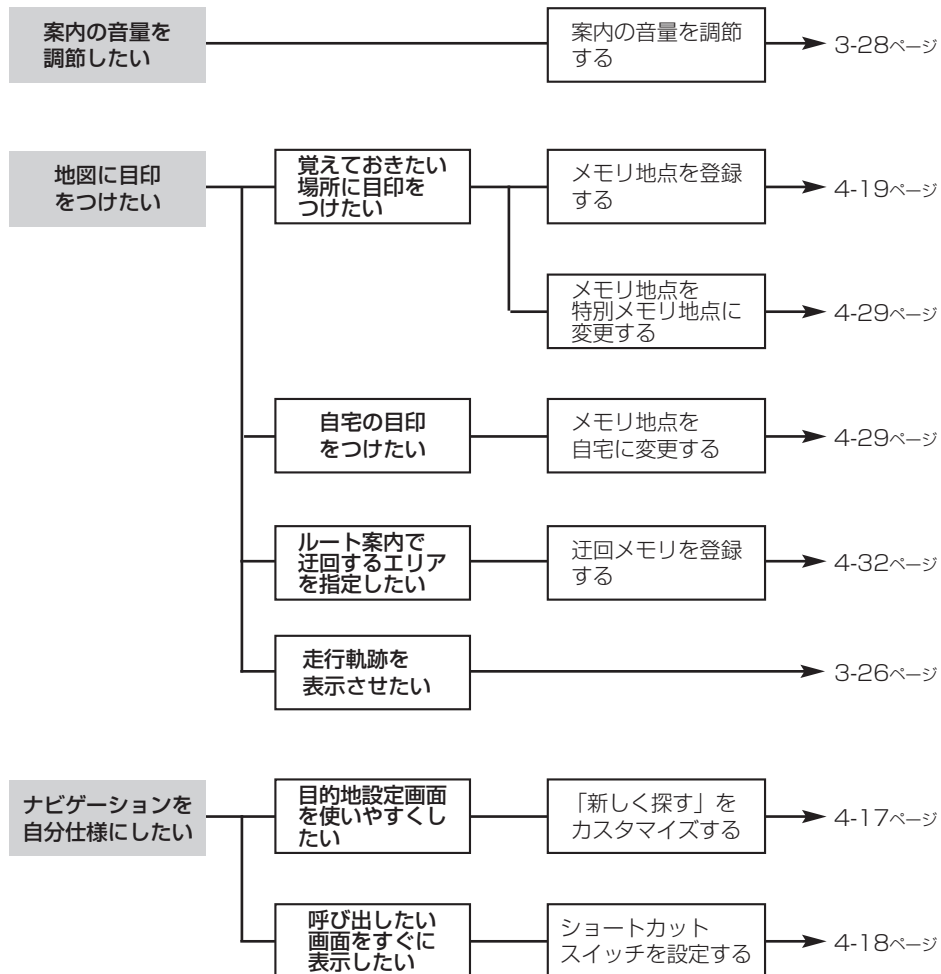
画面を調整する

→ 1-21ページ

地図の色を
変えたい昼の地図色／
夜の地図色

→ 4-7ページ





VICS を
使いたい

VICS 情報を地図
に表示させたい

→ 4-43ページ

VICS 放送を受信
したい

→ 4-47ページ

VICS マークに
ついて知りたい

→ 4-42ページ

情報を見る

F M多重の文字
情報を表示する

→ 5-2ページ

車両のメンテナンス
時期を設定する

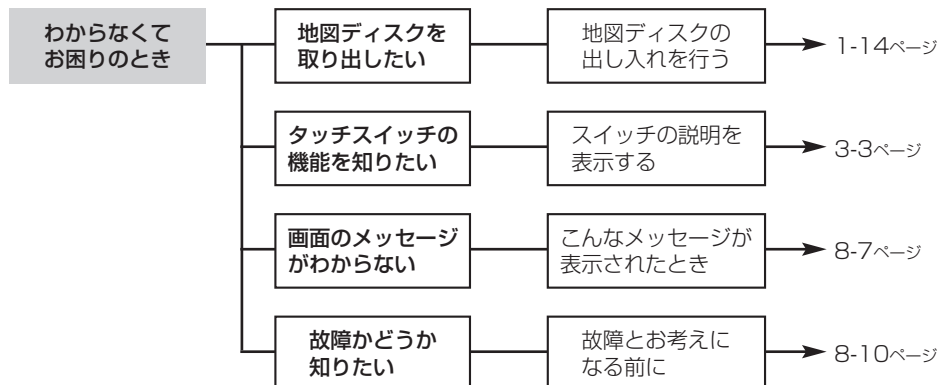
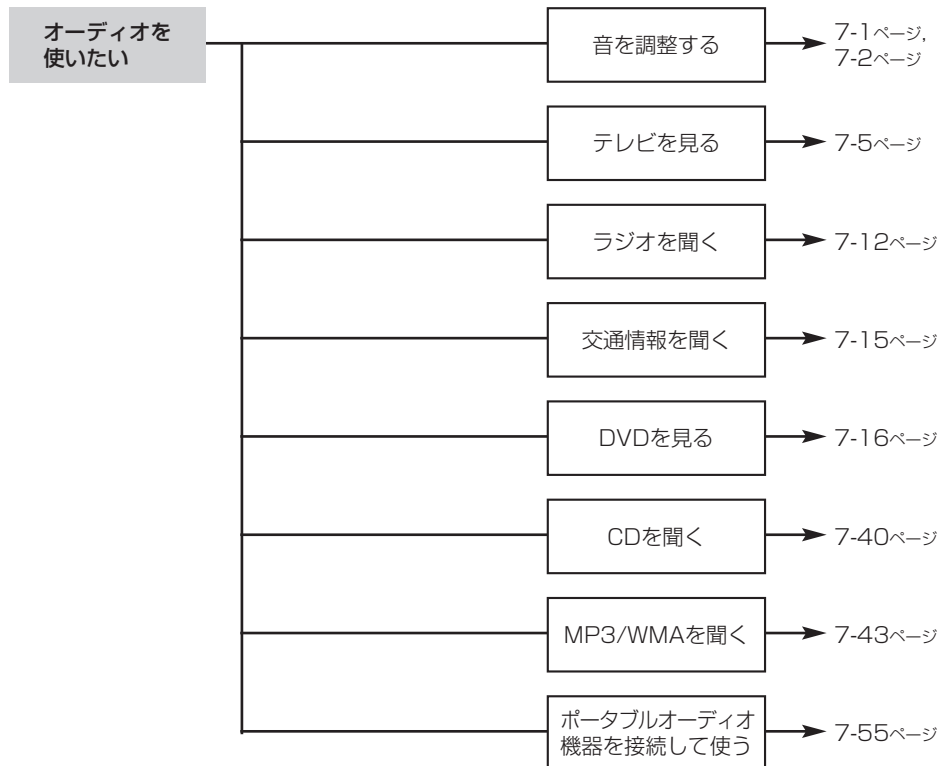
→ 5-6ページ

施設の電話番号を
表示する

→ 5-16ページ

カレンダーを見る

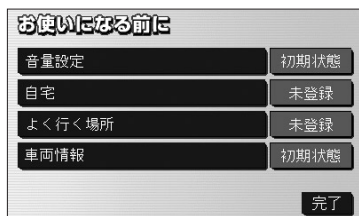
→ 5-17ページ



主な特長

簡単初期設定ガイド

初めて本機を起動したときに表示されます。案内音量・自宅・よく行く場所・車両情報の設定ができます。(P.2-1参照)



ナビシンプルメニュー

分かりやすいシンプルなメニュー画面で、簡単に操作ができます。(P.2-7参照)



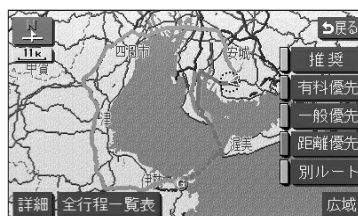
どこでも確認ボタン

を押すと、現在のオーディオやナビゲーションの状態がひと目でわかる画面を表示することができます。(P.2-39参照)



5ルート探索

複数のルートから案内するルートを確認し選択することができます。(P.2-29参照)



カラフル地図

市区町村別に地図の色を塗り分けて表示することができます。(P.2-9参照)



3D市街図ビル立体表示

建物の形状を立体的に表現し、道路と敷地もはっきりと区別した地図を表示します。(P.2-20参照)



レーンリスト図

分岐する交差点までに通過する交差点の走行車線情報を表示することができます。(P.2-34参照)



個人宅検索

電話番号がわかれば、全国約3000万件の個人宅から検索して、ピンポイントで地図を表示できます。(P.3-35参照)



VICSチューナー内蔵

FM多重VICSチューナーを内蔵しており、渋滞情報を地図に表示することができます。(P.4-43参照)



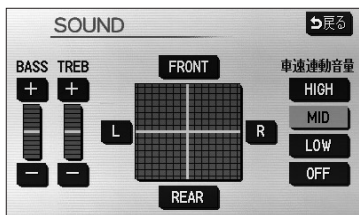
ヒント表示

画面に表示されるタッチスイッチの使い方や説明をわかりやすく表示することができます。(P.3-3参照)



車速連動音量

オーディオの音量を自車の走行速度に応じて自動で調整することができます。(P.7-2参照)



DVDダイレクトタッチ

タッチ操作でDVDの再生やディスクメニューの操作ができます。(VXD-085CVのみ)

ディスクメニューは、項目を直接タッチして選択できます(ダイレクトタッチ) (P.7-27参照)



お使いになる前に



お願い

● 悪路走行時について

悪路走行中などで振動が激しい場合、地図ディスクの地図データを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。

● 精密機器のため取り扱いに注意

極端な高温や低温の中でのご使用は誤作動や故障の原因になりますので周囲の温度には注意してください。

また本機内部に金属物や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因になりますのでご注意ください。

● ディスクの取り扱いに注意

- ・ ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなどの誤動作の原因になる場合があります。特にケースからの出し入れにご注意ください。
- ・ ラベル面に紙などを貼ったりしないでください。デッキ内部でラベルがはがれて故障の原因になります。
- ・ ディスクは曲げたり、キズをつけたりしないでください。

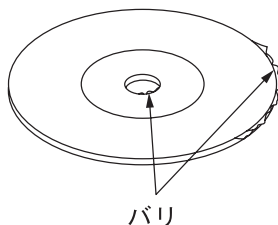
● ディスクの保管上の注意

- ・ 長時間使用しないときは、汚れ、ゴミ、キズ、そりなどを避けるため、ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- ・ ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあるため、次のような場所に置くことは避けてください。
 1. 長時間直射日光のあたる場所。
 2. 湿気やゴミ、ほこりの多い場所。
 3. 暖房器具の熱が直接あたる場所。
 4. 車のシート、ダッシュボードの上。

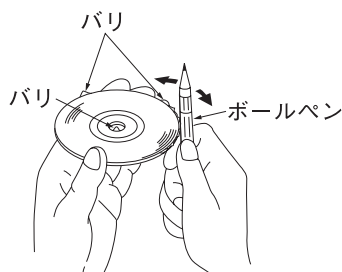
● 新しいディスクの使用上の注意

新しいディスクには、ときによりディスクのセンターホールや外周にバリが残っていることがあります。このようなディスクをご使用になるとディスクが正しくセットされず、動作しないことがあります。

このような場合には、あらかじめディスクのセンターホール内側や、外周のバリを細い棒状のもの（例えばボールペンなど）で取り除いてからお使いください。



バリについて



バリの取り除きかた



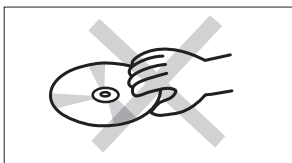
お願い

● ディスクのクリーニングについて

- ・ ディスクに汚れやゴミがついたときは、水を含ませたやわらかい布でふいたあと、乾いた布でふいてください。
- ・ ディスクをふきとる際には、ディスクの内側中心から外側方向へ軽くふきとってください。
- ・ ベンジン、アナログ式レコード盤クリーナー、静電防止剤を使いますと、ディスクを傷めるので使用しないでください。



ディスクの持ち方



ディスクのクリーニング

● お手入れの仕方

<本機の清掃>

- ・ ベンジン、シンナー類を使いますと、ケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- ・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

<ディスプレイ部の清掃>

- ・ 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。

手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

● アンテナについて

- ・ 一度貼り付けたアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

<お手入れについて>

- ・ フロントウィンドウ（室内側）のお手入れの際、アンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは水に薄めた中性洗剤に浸した布で乾拭きしてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- ・ アンテナ貼り付け後しばらくたってから、稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

● アナログ放送の終了について

2011年 アナログテレビ放送終了（予定）

地上アナログテレビ放送は2011年7月に終了し、地上デジタルテレビ放送に移行します。以降、本機でテレビ放送をご覧いただくには別売の地上デジタルTVチューナーが必要になります。

電源を入れるには

本機は車のエンジンをかけると自動的にナビゲーションの電源が入ります。
エンジンを切ると電源も切れます。



- (1) 車のエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にします。

●ナビゲーションの電源が入ります。



●初期画面（オープニング画面）が表示されます。



●ナビゲーション画面が表示されます。

●初めて本機を起動したときは、簡単初期設定ガイド画面が表示されます。(P.2-1 参照)



お知らせ

ナビゲーションの画面が表示されないときは、**現在地** を押してください。



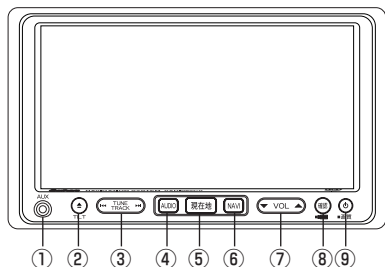
お願い

バッテリー交換や本機を別の車に付け替えるなど、バッテリー電源を遮断すると本機に保存されているプログラムが消去されます。この場合、次回本機の電源を入れたときにプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込みが終了するまで、そのままお待ちください。

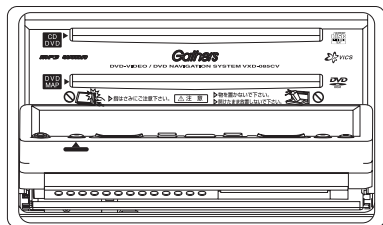
各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタンを押したり、画面に表示されるタッチスイッチを直接タッチして操作します。

●VXD-085CV

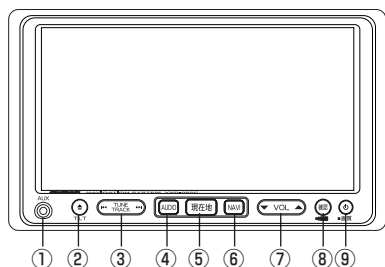


ディスプレイを閉じている状態

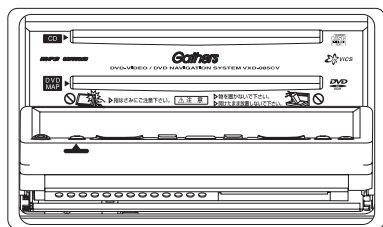


ディスプレイを開いている状態

●VXD-085C



ディスプレイを閉じている状態



ディスプレイを開いている状態

●操作ボタンについて

① AUX接続コード端子

別売のAUX接続コードで、市販のポータブルオーディオなどを接続できます。

② TILTボタン

ディスクの差し込みや取り出し、ディスプレイの角度を調節する画面を表示するときに押します。表示された画面で差し込みたいディスクや取り出したいディスクのスイッチにタッチするとディスプレイは開きます。ディスプレイが開いているときに押すとディスプレイが閉じます。

③ TUNE・TRACKボタン

テレビ・ラジオの放送局の選局、またはディスクの選曲を行うときに押します。

④ AUDIOボタン

オーディオ操作画面を表示するときに押します。

⑤ 現在地ボタン

ナビゲーションを呼び出し、現在地画面を表示するときに押します。現在地を表示しているときは、現在地の地名を表示します。またルート案内中であれば再び音声案内を聞いたり、交差点拡大図を見ることができます。

⑥ NAVIボタン

ナビメニューを表示するときに押します。

⑦ VOLボタン

テレビ、オーディオ機能の音量を調整するときに押します。

⑧ どこでも確認ボタン

確認画面を表示/消去するときに押します。別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを接続しているときは、“ピッ”という音が鳴るまで押すと、カメラ映像を表示/消去したり、予約モードの設定/解除をすることができます。

⑨ AUDIO ON/OFFボタン

オーディオ機能の電源を入れるときや、切るときに押します。“ピッ”という音が鳴るまで押すと、画面の明るさや色の調整を行なう画面を表示することができます。

●タッチスイッチについて



タッチスイッチ
画面のスイッチにタッチして操作します



- ・ナビゲーションの画面では、タッチスイッチは“ピッ”という音が鳴るまでタッチしてください。
- ・画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- ・スイッチの反応がないときは、一度画面から手をはなしてから再度タッチしてください。
- ・操作できないタッチスイッチは色が反転します。
- ・スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが強調表示されるものもあります。
- ・1つ前の画面に戻るときは **戻る** にタッチします。

<本書でのスイッチ表示>

- ・タッチスイッチにタッチするときは、**○○○** でスイッチ名称を表示しています。

ディスクの出し入れ

ナビゲーションをお使いになるときは地図ディスクを、DVD/CDを楽しむときは、各ディスクを各差し込み口に入れてください。(DVDはVXD-085CVのみ)

1 地図ディスク・DVD/CDの出し入れを行うには

ディスクの出し入れは、ディスクの出し入れを行う画面を表示させてから行います。



(1) を押します。

● ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。

(2) 差し込みたいディスクのスイッチにタッチします。

地図ディスクを差し込む場合は **MAP** に、
DVD/CDを差し込む場合は **DISC** にタッチします。



お知らせ

ディスクが差し込まれていない場合は、スイッチに「NO DISC」、「NO MAP」と表示されます。

● ディスプレイ部が開き、ディスクの差し込み口があらわれます。



アドバイス

DISC にタッチした場合、ディスプレイ部はDVD/CD差し込み口の位置で自動的に止まります。

(3) 差し込み口に地図ディスク、DVD/CDを差し込みます。

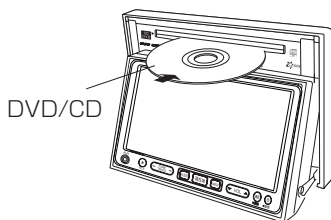
● 地図ディスク、DVD/CDはラベル面を上にして各差し込み口に差し込みます。

● ディスクが完全に差し込まれるとディスプレイ部は自動的に閉まり、差し込まれたディスクの再生が開始されます。

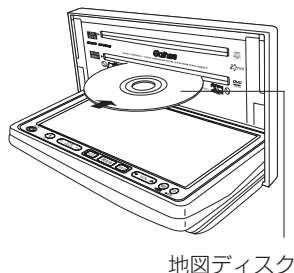
・ DVDの操作については、P.7-16を参照。

・ CDの操作については、P.7-40を参照。

DVD/CDを差し込む

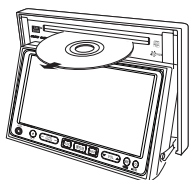


地図ディスクを差し込む

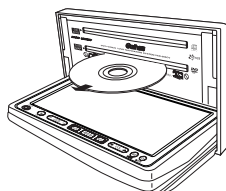




DVD/CDを取り出す場合



地図ディスクを取り出す場合



(4) ディスクを取り出す場合は、P.1-14の **1** の (2) の画面で取り出したいディスクのスイッチにタッチします。

地図ディスクを取り出す場合は **MAP▲** に、DVD/CDを取り出す場合は **DISC▲** にタッチします。

- ディスプレイ部が開き、タッチしたディスクが自動的に押し出されます。
- ディスプレイ部が開いている状態でも、取り出したいディスクのスイッチにタッチするとディスクを取り出すことができます。

(5)  を押すとディスプレイ部が閉じます。



注意

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などにディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬケガをするおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。また、ディスプレイ部の開閉時に指がはさまれるおそれがあります。ご注意ください。



アドバイス

- エンジンスイッチがOFF の場合でも、 を押すと一度だけディスプレイを閉じることができます。
-  を10秒以上長く押し続けるとディスプレイが開き、ディスクが差し込まれているときは、ディスクが押し出されます。



お願い

- 各ディスクを取り出すとき、各ディスクが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。ディスクを傷つけるおそれがあります。
- CDおよびDVDビデオは同じ差し込み口を使用するため、同時に使用はできません。また、既に挿入されている差し込み口にさらにディスクを挿入しないでください。故障の原因になります。



お願い

- ディスク差し込み口にはディスク以外は入れないでください。
- MAP差し込み口にはDVDナビゲーション専用の地図ディスクを入れてください。
- 8cmディスクをMAP差し込み口に入れしないでください。
MAP差し込み口に8cmディスクを差し込むと、ディスクを取り出せなくなるおそれがあり、故障の原因になります。
- 本機のCDプレーヤー（VXD-085C）／DVDプレーヤー（VXD-085CV）は、8cmディスクには対応していません。また、8cmディスクアダプターはご使用にならないでください。
本機に使用しますと、ディスクを取り出せなくなるおそれがあり、故障の原因になります。
- 市販されているプロテクトフィルムやスタビライザーはご使用にならないでください。
本機に使用しますと故障の原因になります。
- 画面保護のため、ディスプレイ部は必ずお閉めください。
- ディスクレーベル面に[CDロゴ]（下記のマーク）の入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。
- 再生できるCDについて
下記のマークの付いた音楽用CDやCD-R（CD-Recordable）／CD-RW（CD-ReWritable）がご使用できます。



- 記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますのでご使用にならないでください。
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。
ご使用になる前に必ずディスクに付属されている説明書などをお読みください。
- 本機では、スーパーオーディオCD（SACD）には対応していません。右のロゴ表示のあるスーパーオーディオCD（SACD）は、通常のCDと構造が異なるため、再生できない場合があります。
- 本機では、DTS-CDには対応していません。再生の保証は致しかねます。
- 再生できるDVDについて（VXD-085CVのみ）



下記のマークの付いた映像用DVDやDVD-R（DVD-Recordable）／DVD-RW（DVD-ReWritable）がご使用できます。



- DualDisc（DVD層と非DVD層を一枚に貼り合わせた両面ディスク）は、右記のマークが付いている場合のみ、DVD層を映像用DVDとして再生することができます。上記のマークが付いていない、または非DVD層については、規格外ディスクとなりますので、再生の保証は致しかねます。また、ディスクの差し込みや取り出しのときにディスクに傷が付くことがあります。

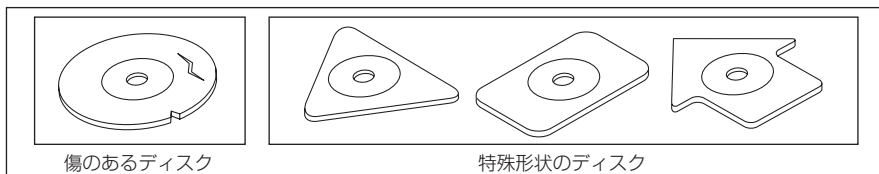




お願い

●特殊形状のディスクはご使用にならないでください。

三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。本機に使用しますと故障の原因になります。

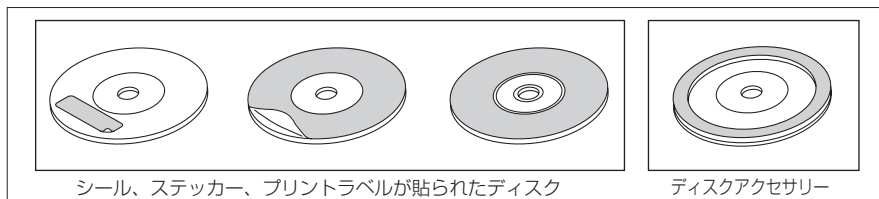


傷のあるディスク

特殊形状のディスク

●ディスクのアクセサリについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（ディスクリング、保護シール）はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



シール、ステッカー、プリントラベルが貼られたディスク

ディスクアクセサリ

●CD-R/RW、DVD-R/RWディスクのご使用について

- ・市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
- ・CDレコーダー（CD-R/RWドライブ）で記録したCD-R/RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- ・CD-R/RW、DVD-R/RWは、通常の音楽CDや映像用DVDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- ・ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ・ビデオCDは、再生できません。
- ・DVD-R/RWは、映像用DVD（DVDビデオフォーマット）のみ再生できます。
- ・DVD-R/RWは、DVDビデオフォーマットで記録されていても、ディスクの特性、汚れ、またはピックアップレンズの汚れ、結露などにより再生できない場合があります。
- ・ビデオレコーディング・フォーマット（VRモード）で録画したDVD-R/RWは再生できません。（例、デジタル放送番組をDVD-R/RWに録画した場合）

ディスプレイの角度を調整するには

画面が見えにくいときにディスプレイの角度を3段階で調整することができます。

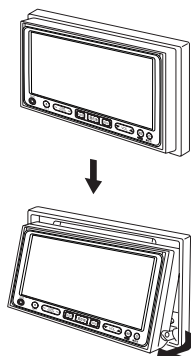
(1)  を押します。

- ディスプレイの角度を調整する画面が表示されます。



(2) **TILT** にタッチします。

- ディスプレイが斜め上方に1段階（7°）傾きます。
- スイッチにタッチすることにより1段階ずつ傾きます。傾きが3段階目のときにスイッチにタッチするとディスプレイがもとの状態（0°）に戻ります。
-  を押すと、もとの画面に戻ります。



注意

ディスプレイの角度調整をするときは、手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、故障の原因になります。



お知らせ

- ディスプレイが傾いている状態でも、 を押してから **TILT** にタッチするとディスプレイは傾きます。
- ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にしたときは、傾いた状態に戻ります。

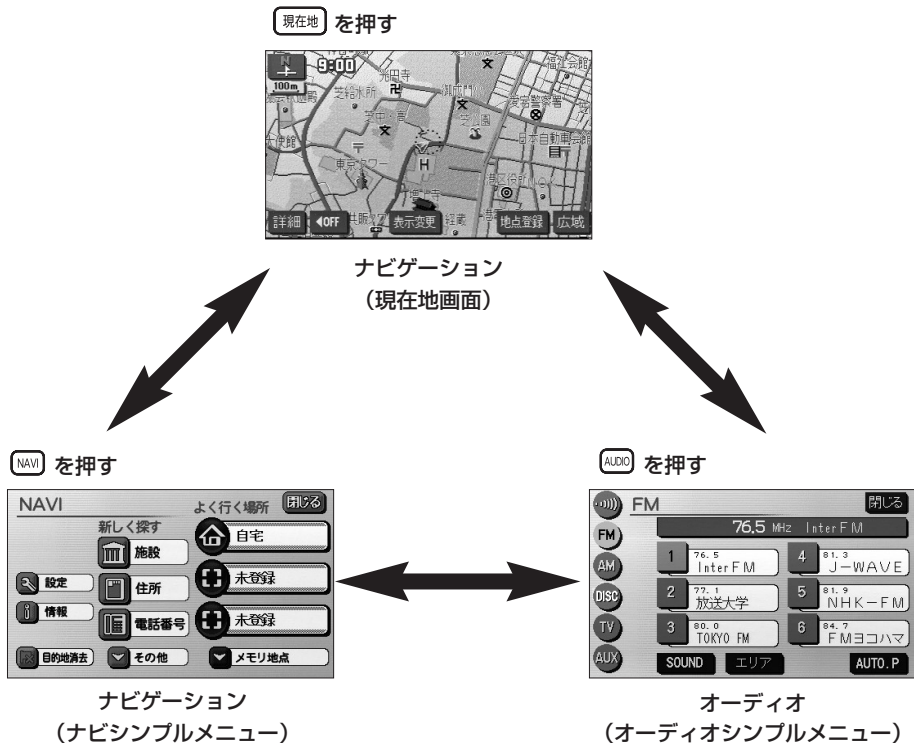


お願い

ディスプレイが傾いている状態では、ディスク差し込み口が見えることがありますが地図ディスクやDVD/CDなどを絶対に差し込まないでください。故障の原因になります。

ナビゲーション・オーディオの切り替え

ナビゲーション・オーディオの画面や音声は、下記のとおり切り替えられます。
(ナビゲーションの画面に切り替えたときは、それまでに聞いていた音声が続いて聞けます。)



画面	主な機能
ナビゲーション (現在地画面)	・ 現在地の表示 ・ 目的地への案内
ナビゲーション (ナビシンブルメニュー)	・ 目的地の設定 ・ メモリ地点の登録、編集 ・ FM多重放送の受信
オーディオ (オーディオシンブルメニュー)	・ オーディオ(ラジオ、DVDやテレビ)の切り替え ・ オーディオの操作(チャンネルの切り替えなど)

●本書の説明において、「ナビシンブルメニュー」を「ナビメニュー」、「オーディオシンブルメニュー」を「オーディオ操作画面」・「各モード(AM・CDなど)操作画面」と記載しています。

本機の機能はエンジンスイッチの位置など次の条件により操作できる場合とできない場合があります。

エンジンスイッチ	ナビゲーション・ 現在地画面	テレビ/DVD	オーディオ	FM多重文字情報
0 (OFF)	×	×	×	×
I (ACC)	○	○	○	○
II (ON) 停車中	○	○	○	○
II (ON) 走行中	安全上の配慮から 操作できなくなる 機能があります	安全上の配 慮から音声 だけになり ます	安全上の配慮か ら操作できなく なる機能があり ます	一部の画面は安全 上の配慮から表示 しません

○：操作できます
×：操作できません



お願い

エンジンスイッチがI (ACC) またはII (ON) でエンジンを始動していない状態のときはバッテリーあがりにご注意ください。

エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動させることは避けてください。

バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。



アドバイス

走行中、操作できないタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。

画面の調整

画面の明るさや色の調整、またテレビ/DVDのワイド画面サイズの切り替えなどができます。

！ アドバイス

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により＜昼画表示＞と＜夜画表示＞に切り替わります。

昼画表示



ライト点灯



ライト消灯



夜画表示



1 ライト点灯時に昼画表示にするには



作動表示灯

(1) 夜画を表示しているときに  を“ピッ”という音が鳴るまで押します。

(2) **昼画面** にタッチします。

- 昼画表示のときは、作動表示灯が点灯します。
- **昼画面** にタッチすることにより昼画面と夜画面が切り替わります。
- 画面を消したいときは **画面消** にタッチします。
 を押すと再び画面が表示されます。

2 コントラスト（鮮明度）／明るさを調整するには



(1) ④ を“ピッ”という音が鳴るまで押します。

■ コントラスト（鮮明度）を調整する

強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■ 明るさを調整する

明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

● 調整が終了したら **調整完了** にタッチします。



アドバイス

コントラスト／明るさ調整は、昼画面・夜画面でそれぞれ独立して調整することができます。

3 色合い／色の濃さを調整するには



(1) テレビ/DVDをご覧になっているときに ④ を“ピッ”という音が鳴るまで押します。

■ 色合いを調整する

緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■ 色の濃さを調整する

色を濃くするときは **濃**、色を淡くするときは **淡** にタッチします。

● 調整が終了したら **調整完了** にタッチします。



アドバイス

色合い／色の濃さは、テレビ/DVD/フロントカメラ/コーナーカメラ/リアカメラの映像画面が表示されているときのみ調整できます。

4 テレビ／DVDのワイド画面モードを切り替えるには



- (1) テレビの操作画面にて **設定** にタッチしたあとの画面 (P.7-8参照) またはDVD操作画面 (P.7-21参照) で **WIDE MODE** にタッチします。
- (2) 表示させたい画面モードにタッチします。



- **Normal** にタッチすると、たて3：よこ4の割合の画面で両端が黒く表示されます。
ワイドサイズのDVDの映像は、左右方向に圧縮されます。



- **Wide** にタッチすると、たて3：よこ4の割合の画面を左右方向に均等に拡大して表示します。
ワイドサイズのDVDの映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。



注意

テレビ番組や映画などの映像比率と異なるモードを選択されますとオリジナル映像と見え方に差が出ることをご注意ください。また、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の（分割表示や）圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面の設定

アニメーションやキャラクターの設定、オーディオ操作画面（P.7-3参照）の設定を行うことができます。

1 画面に動きを持たせるには

スイッチにタッチしたときに、アニメーションによって画面に動きを持たせることができます。また、キャラクターを表示することができます。



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）から、**情報** にタッチします。

● 情報のメニュー画面が表示されます。

(2) **設定** にタッチします。

● 画面設定の画面が表示されます。

(3) 画面切り替え時の動画表現の **する** にタッチします。

● 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

(4) **完了** にタッチします。



<動画表現の例>

●画面切り替え時の動画表現を「する」に設定すると、操作時に画面が以下のように切り替わります。また、キャラクターが表示されるようになります。

<アニメーション>

特定のスイッチにタッチしたときに行われます。



<キャラクター>

キャラクターは、現在の日付やナビゲーションの操作説明などの音声案内時に登場します。



2 画面の表示設定をするには

オーディオ操作画面（P.7-4参照）は、表示させて約6秒以上操作しなかったとき、自動的に表示を「解除する（もとの画面に戻る）」または「解除しない」に切り替えることができます。



(1) P.1-24の **1** の (3) の画面で、オーディオ操作画面の表示を一定時間後に自動的に解除したいときはオーディオ操作画面継続表示の **しない** にタッチします。

● 継続して表示させたいときは **する** にタッチします。

● 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

(2) **完了** にタッチします。



お知らせ

- ディスクの出し入れを行う画面（P.1-14参照）などを表示中にオーディオ操作画面を表示して自動解除が行われた場合は、ディスクの出し入れを行う画面を表示する前に表示していた画面を表示します。
- 確認画面の表示時間設定は、確認画面（P.2-40参照）の表示を自動的に消去するまでの時間を設定することができます。

3 操作音を設定するには

操作ボタンやタッチスイッチ操作時の操作音のON（鳴らす）／OFF（鳴らさない）を設定することができます。



(1) P.1-24の **1** の (3) の画面で、操作音の **ON** にタッチします。

● 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

(2) **完了** にタッチします。

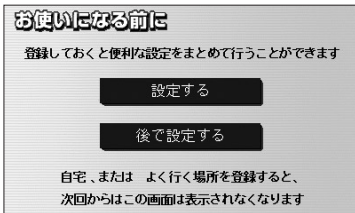
メモ

1
はじめに

メモ

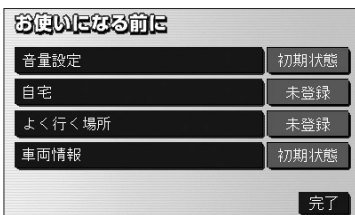
簡単初期設定ガイドについて

初めて本機を起動したときは、簡単初期設定ガイド画面が表示されます。
案内音量・自宅・よく行く場所・車両情報の設定ができます。



(1) **設定する** にタッチします。

- 簡単初期設定ガイド画面が表示されます。
- **後で設定する** にタッチすると、簡単初期設定ガイドを終了します。



簡単初期設定ガイド画面



お知らせ

自宅またはよく行く場所のいずれかが登録されていない場合は、起動するたびに簡単初期設定ガイド画面が表示されます。

1 案内の音量を調節するには



(1) 簡単初期設定ガイド画面で **音量設定** にタッチします。

(2) **小**、**中**、**大** のいずれかにタッチすることにより、案内音量の設定を変更することができます。

- 設定された音量で「この音量でご案内します」の音声が発声されます。
- タッチしたタッチスイッチが強調表示になります。
- **消音** にタッチすると、案内音量OFFになります。



お知らせ

案内音量を **消音** にタッチすると「この音量でご案内します」の音声は発声されません。

(3) **完了** にタッチします。

- 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

2 自動音量切り替え機能を使うには

自車が80km以上で走行時に、案内音声を自動的に1段階上の音量で発声させることができます。



作動表示灯

- (1) 簡単初期設定ガイド画面で **音響設定** にタッチします。
- (2) **高速時の自動音量切替** にタッチすると、自動音量切替を「設定する」または「設定しない」に切り替えることができます。
 - 「設定する」にしたときは、作動表示灯が点灯します。
- (3) **完了** にタッチします。
 - 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

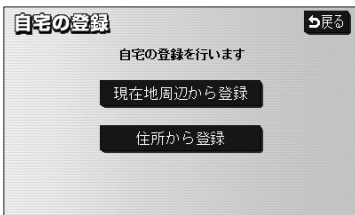


お知らせ

- 案内音量の設定値は変更されません。
- 案内音量が **消音** のとき、または案内音量が **大** に設定されているときは音量は切り替わりません。

3 自宅を登録するには

自宅を登録すると、簡単に自宅の地図を呼び出すことができます。(P.2-28参照)



- (1) 簡単初期設定ガイド画面で **自宅** にタッチします。
 - 自宅設定画面が表示されます。
- (2) 地図の呼び出し方を選択します。
 - **現在地周辺から登録** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
 - **住所から登録** にタッチすると、住所を入力して地図の場所を検索できます。(P.3-39参照)

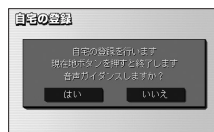
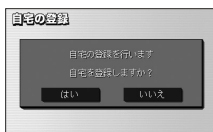


- (3)  にタッチすると、地図が移動して  の位置を変更することができます。
- (4) スケール表示が **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチします。
 - 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

！ アドバイス

ナビメニュー（P.2-7参照）から自宅を押しても登録できます。

- (1) ナビメニュー（P.2-7参照）から、よく行く場所の **自宅** にタッチします。
- (2) **はい** にタッチします。
● **いいえ** にタッチすると現在地画面に戻ります。
- (3) 音声ガイダンスをする場合は **はい**、しない場合は **いいえ** にタッチします。
● **3** の(2)の画面が表示されます。



4 よく行く場所を登録するには

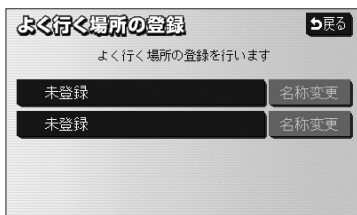
よく行く場所を登録すると、簡単にその地点の地図を呼び出すことができます。（P.2-28参照）

- (1) 簡単初期設定ガイド画面（P.2-1参照）で

よく行く場所 にタッチします。

- よく行く場所設定画面が表示されます。
- ナビメニュー（P.2-7参照）から、未登録のよく行く場所をタッチしたときも、よく行く場所設定画面が表示されます。この場合は、(3)の地図の呼び出し方を選択する画面になります。

- (2) **未登録** にタッチします。



(3) 地図の呼び出し方を選択します。

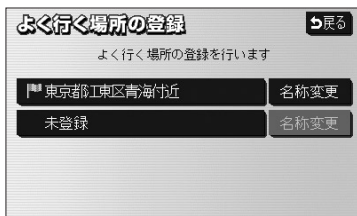
- **50音** P.3-29
- **施設** P.3-33
- **住所** P.3-39
- **電話番号** P.3-35
- **郵便番号** P.3-38
- **マップコード** P.3-43
- **メモリ地点** P.3-41
- **履歴** P.3-42
- **周辺施設** P.3-44

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

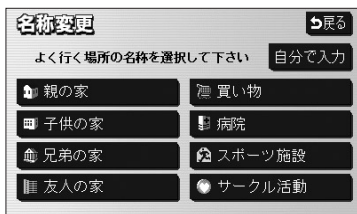
- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。



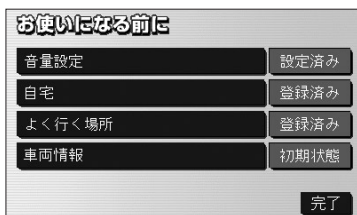
- (4)  にタッチすると、地図が移動して  の位置を変更することができます。
- (5) スケール表示が **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチします。
 - よく行く場所が登録されます。
 - 手順 (2) で、すでに地点が登録されているリストを選んだ場合は、新しく選んだ地点が上書きされます。



- (6) よく行く場所設定画面 (P.2-3参照) で、名称を変更したい地点の右の **名称変更** にタッチします。



- (7) 名称リストから変更したいスイッチをタッチします。
- タッチされたリストの名称とマークに変更されます。
 - 自分で名称を変更するには、**自分で入力** にタッチすると、お好みの名称を入力できます。名称の入力方法は、P.4-26を参照してください。

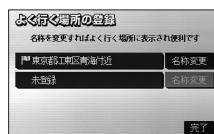


- (8) 登録が完了したら、**戻る** (ナビメニューから登録した場合は **完了**) にタッチします。
- 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

！ アドバイス

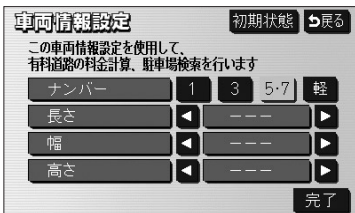
ナビメニュー(P.2-7参照)から未登録を押しても登録できます。

- (1) ナビメニュー(P.2-7参照)から、よく行く場所の **未登録** にタッチし、**はい** にタッチします。
- (2) P.2-4からP.2-5の (3)~(7)の手順を行います。
- (3) 登録が完了したら、**完了** にタッチします。
- ナビメニューに戻ります。



5 車両情報を設定するには

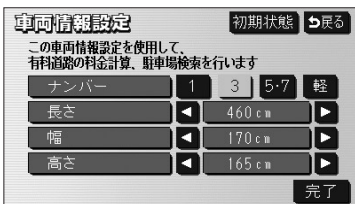
入庫可能な駐車場を検索するときの条件、および有料道路の料金を計算するときの基準となる車両情報を設定します。目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。



(1) 簡単初期設定ガイド画面（P.2-1 参照）で **車両情報** にタッチします。

(2) **1**、**3**、**5・7**、**軽** にタッチして、お使いの車両のナンバーを設定します。

● 初期設定は、**5・7** に設定されています。



(3) **◀**、**▶** にタッチして、車両の長さ、幅、高さを設定します。

● **初期状態** にタッチすると、車両情報設定が初期状態に戻ります。

(4) **完了** にタッチします。

● 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。



お知らせ

車両情報の設定は、次の機能が行われるときの基準となります。

- ・ 入庫可能な駐車場の検索（P.3-30 参照）
- ・ 均一区間の料金表示（P.2-9 参照）
- ・ 現在地画面の料金案内（P.4-10 参照）
- ・ ルート情報画面の料金表示（P.3-21 参照）
- ・ 全ルート表示画面の合計料金表示（P.2-29 の **1** の画面、P.2-30 の **2** の（4）の画面）

ナビメニューについて

1 ナビメニューについて



- (1) **NAVI** を押すと、ナビメニューが表示されます。
- ナビメニューから以下の操作を行うことができます。
 - **閉じる** にタッチすると、ナビメニューを終了します。

項目（タッチスイッチ）	機 能	ページ
設定	設定画面の表示	2-8
情報	情報画面の表示	5-1
目的地消去※1	目的地の消去	3-9
新しく探す	地図の呼び出し方法を選択して目的地を設定	3-29～3-45
よく行く場所	自宅を登録する（未登録時）	2-2
	自宅を目的地に設定（登録済み時）	2-28
	よく行く場所を登録する（未登録時）	2-3
	よく行く場所を目的地に設定（登録済み時）	2-28
メモリ地点※2	メモリ地点を目的地に設定	3-41

※1 目的地が設定されていないときは、色が反転して、タッチしても操作できません。

※2 メモリ地点が登録されていないときは使用できません。

2 設定画面について



(1) ナビメニュー (P.2-7参照) で **設定** にタッチします。

- 設定画面が表示されます。

設定画面から、以下の操作を行うことができます。

項目 (タッチスイッチ)	機 能	ページ
案内中止／案内再開※1	ルート案内の中止・再開	3-27
音量設定	音量設定	3-28
メモリ地点	メモリ地点の登録・修正・消去	4-19～4-31
	迂回メモリの登録・修正・消去	4-32～4-37
QQコール※2	QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードの表示・表示解除	4-55
VICS	VICS文字情報・図形情報の表示	4-45～4-46
	割り込み情報の表示	4-46～4-47
	VICS提供放送局の選択	4-47～4-48
ナビ設定	ナビゲーションの各種設定	4-1～4-16
新しく探すカスタマイズ	ナビメニューの新しく探すスイッチの選択	4-17
ショートカット設定	ショートカットスイッチの選択	4-18

※1 目的地が設定されていないときは、色が反転し、タッチしても操作できません。

※2 「QQコール」は、Honda販売店での入会登録手続きが必要です (P.4-54参照)。入会登録手続きをされていない場合は、タッチスイッチが表示されません。

現在地を表示するには

現在地（自車位置）周辺の地図を表示します。

現在地 を押すと、現在地画面が表示されます。

①方位マーク

表示している地図の向きを表示します。

②スケール表示

表示している地図の縮尺を表示します。

③GPSマーク

GPS衛星からの電波を受信し、測位可能な場合に表示します。

④地図

市区町村別で色が分かれて表示されます。

⑦時計表示

現在の時刻を表示します。

⑥自車マーク

自分の車の位置を表示します。

⑤VICSタイムスタンプ

VICS情報が提供された時刻を表示します。



お知らせ

- 納車時および長時間バッテリーをはずしておいた場合、現在地が異なった場所を表示することがあります。この場合、手動で現在地の修正を行う（P.4-51参照）か、GPSが受信され自動で位置の修正（10分程度かかる場合があります）が行われるまでお待ちください。
- 地図の色分けは、リアルワイドマップ（P.4-1参照）が「する」に設定されているときのみ表示されます。市街図、800mより広域な縮尺で地図を表示中は、色分けの表示はされません。
- 50m から 1.6k までの地図縮尺で均一区間の有料道路（都市高速を除く）の料金（**¥250**）が表示されます。



アドバイス

- 現在地画面で **現在地** を押すと現在地付近の地名や道路名称、道路番号が表示されます。
- 地図を表示させているときに、画面のタッチスイッチを表示させないようにすることができます。
 - ・ **OFF** にタッチすると、タッチスイッチのない表示になります。
 - ・ **ON** にタッチすると、タッチスイッチが再び表示されます。

OFF にタッチしたときの表示



ON にタッチしたときの表示



地図スクロールするには

現在地画面または地図画面から地図をスクロール（地図移動）させ、見たい場所の地図を探します。



(1) 現在地画面で地図にタッチします。



- タッチした地点が画面の中心となり、地図が移動します。移動後は地図画面となります。
- ナビ設定で「地図スクロール時の地名表示」を「する」に設定（P.4-1 参照）しているときは、地図の移動後に画面中心付近の地名や道路名称、道路番号が表示されます。



お知らせ

スクロール時に表示される地名は、**50m** から **6k** までの地図縮尺で表示されます。



(2) 地図にタッチしてそのまま押しつづけると、画面中央のマーク  の色が黄色に切り替わり、タッチした地点の方向に地図が移動します（連続スクロール）。

- 地図の中央付近にタッチしてそのまま押し続けた場合は、地図が低速で移動します。
- 地図の端にタッチしてそのまま押し続けた場合は、地図が高速で移動します。



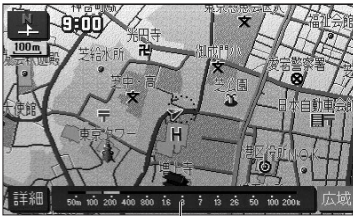
お知らせ

- 画面上のタッチスイッチがある場所にタッチしても地図は移動しません。
- 地図スクロール後は地図が固定され、車が移動しても地図は移動しません。 **現在地** を押してください。
- 地図画面とは地図を表示している画面で、画面中央に  マークが表示されます。
- 市街図（**25m**、**50m** の地図）で走行中は地図スクロールできません。
- 走行中は安全のため、連続スクロールはできません。
- 走行中は道路の表示量が制限されます。

地図の縮尺をかえるには

現在地画面（P.2-9参照）または地図画面（P.2-10参照）において、地図を1/5000から1/2048万までの希望の縮尺に切り替えることができます。

1 地図の縮尺をかえるには



縮尺バー

(1) 地図が表示されている画面で **広域** または **詳細** にタッチして希望する縮尺を選択します。

- 広域の地図に切り替えるには **広域** にタッチします。
- 詳細の地図に切り替えるには **詳細** にタッチします。
- 縮尺バーが表示され、選択された縮尺が **——**（黄色）で表示されます。



お知らせ

●スケール表示と地図縮尺について

現在地画面、または地図画面の左上に表示される **400m** の **——** の長さが約400mであり、表示されている地図縮尺が1/4万図縮尺であることを示しています。

mはメートル、kはキロメートルのことを示します。



スケール表示

400m

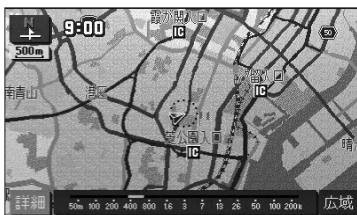
●スケール表示 **25m** は市街図（P.2-20参照）で表示されます。

スケール表示	地図縮尺	スケール表示	地図縮尺
25m	1/2500図	3k	1/32万図
50m	1/5000図	7k	1/64万図
100m	1/1万図	13k	1/128万図
200m	1/2万図	26k	1/256万図
400m	1/4万図	50k	1/512万図
800m	1/8万図	100k	1/1024万図
1.6k	1/16万図	200k	1/2048万図

●地図を3D表示（P.2-15参照）にしているときに **——** は表示されません。

2 フリーズーム機能を使うには

表示されているスケール表示以外の地図縮尺で地図を表示することができます。



(1) **広域** または **詳細** をタッチし続けます。

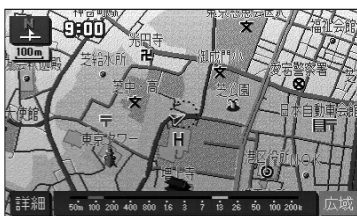
- **広域** をタッチし続けると広域な地図に、**詳細** をタッチし続けると詳細な地図に縮尺をかえていきます。
- タッチするのをやめると、そのときの地図縮尺が選択されます。



お知らせ

- 走行中は安全のため、フリーズーム機能は動作しません。
- 市街図（P.2-20参照）のフリーズームはできません。

3 ダイレクト縮尺切り替え機能を使うには



(1) **広域** または **詳細** にタッチしたあと、縮尺バーの目盛りにタッチすると、タッチした目盛りの縮尺の地図に切り替わります。



お知らせ

走行中は安全のため、ダイレクト縮尺切り替え機能は動作しません。

4 目的地表示縮尺切り替え機能を使うには

目的地を設定しているときに現在地から目的地までの地図を適切な地図縮尺で表示することができます。



- (1) **広域** または **詳細** にタッチしたあと、縮尺バーの左上に表示される  にタッチします。



お知らせ

目的地を設定（P.2-25）しているときのみ  が表示されます。

- 現在地から目的地までの地図が表示されます。



お知らせ

- 市街図（P.2-20参照）や3Dの地図（P.2-15参照）を表示しているときは、目的地表示縮尺切り替え機能は動作しません。
- 走行中は安全のため、目的地表示縮尺切り替え機能は動作しません。
- 2画面表示のときは左画面のみ目的地表示縮尺切り替えを行います。

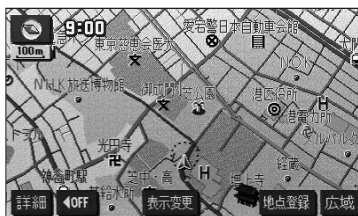
地図の向きをかえるには

現在地画面（P.2-9参照）や地図画面（P.2-10参照）の地図の向きをかえることができます。



- (1) （または ）が表示されているときに、（または ）にタッチすると、ヘディングアップ表示（またはノースアップ表示）に切り替えることができます。

- ノースアップ表示は画面の上方向を北に固定して地図を表示します。
- ヘディングアップ表示は、画面の上方向が自車の進行方向になるように地図を自動的に回転して表示します。



お知らせ

- 方位マークは次のように表示されます。

ノースアップ表示



ヘディングアップ表示



赤色が北向き、白色が南を示します。

- 地図画面ではヘディングアップ表示の時のみノースアップ表示に切り替えることができます。

- 以下のような場合、地図画面でヘディングアップ表示になります。

- ・ヘディングアップの現在地画面で地図スクロールした場合。
- ・ヘディングアップの現在地画面や地図画面を表示しているとき、新しく探す画面（P.2-27参照）などから **先程の地図** にタッチした場合。

3D表示にするには

地図に遠近感をもたせて表示することができます。また、地図を見る視点をある範囲内でかえることもできます。

1 3D表示にするには



- (1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。
- (2) **2D・3D・ツイン** にタッチします。
 - 強調表示されているタッチスイッチが現在の画面状態です。
- (3) **3D** にタッチすると3D表示に切り替わります。また、**3Dツイン** にタッチすると2画面表示 (P.2-17 参照) に切り替わり、左画面が3D表示となります。



お知らせ

- 代表的な地点 (交差点、IC) の名称が吹き出しで表示されます。地図の縮尺によって表示される代表地点は異なります。
- 3D表示は、ヘディングアップ・フロントワイド表示になります。

2 オールラウンドスクロールを使うには



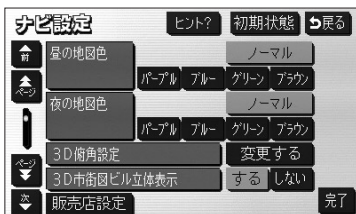
- (1) 3D表示時に、地図にタッチします。
- (2) または により、地図を回転させることができます。
 - にタッチすると、地図が時計まわりに回転します。
 - にタッチすると、地図が反時計まわりに回転します。
 - **現在地** を押して現在地画面にすると、回転前の状態に戻ります。



お知らせ

走行中は安全のため、オールラウンドスクロールを行うことはできません。

3 3D表示の視点角度を変更するには



- (1) 設定画面 (P.2-8参照) で **ナビ設定** にタッチします。
- (2) 3D俯角設定の **変更する** にタッチします。



- (3)  または  により視点角度を変更できます。
 -  にタッチすると、視点の角度を上げることができます。
 -  にタッチすると、視点の角度を下げるができます。
 - 視点角度は10段階に調整できます。
 - **初期状態** にタッチすると、角度が初期設定の状態 (下から4つ目の設定) に戻ります。
- (4) **セット** にタッチします。
 - 設定した視点角度で表示されます。

4 3D表示を解除するには



- (1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。
- (2) **2D・3D・ツイン** にタッチします。
- (3) **2D** にタッチすると2D表示に切り替わります。

また **2Dツイン** にタッチすると2画面表示(P.2-17参照)に切り替わり、左画面が2D表示となります。

2画面表示にするには

現在地画面（P.2-9参照）のときに異なる縮尺の地図を同時に表示させるなど、画面を左右に2分割して地図を表示させることができます。

1 2画面表示にするには



(1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

(2) **2D・3D・ツイン** にタッチします。



2Dツイン

(3) **2Dツイン** または **3Dツイン** にタッチすると2画面表示に切り替わります。

- 左画面は1画面の時と同じ方法で操作できます。
- 1画面表示に戻すには(2)の画面で **2D** (2D表示) または **3D** (3D表示) にタッチします。

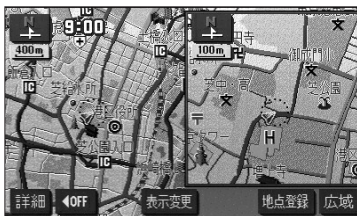


3Dツイン

！ アドバイス

再度2画面表示にしたときは、前回2画面表示にしていたときの縮尺で地図が表示されます。

2 右画面の操作



(1) 右画面内の地図にタッチします。



作動表示灯

(2) 次に表示された画面で、以下のことができます。

- **広域** または **詳細** にタッチすると、右画面の縮尺を切り替えることができます (P.2-11参照)。
- **↑** または **⬅** にタッチすると、右画面の地図向きを切り替えることができます (P.2-14参照)。
- **3D表示** にタッチするごとに、右画面を3D表示、または2D表示に切り替えることができます。(P.2-15参照)
右画面が3D表示のときは、作動表示灯が点灯します。
- **周辺施設表示** にタッチするごとに、右画面の施設ランドマークを表示、または消去することができます (P.3-46参照)。
右画面の施設ランドマークが表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- **VICS表示** にタッチするごとに、右画面のVICS情報を表示、または消去することができます (P.4-43参照)。
右画面のVICS情報が表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。

！ アドバイス

- 2画面表示のときは、左画面のみ地図スクロールすることができます。
- 右画面の **周辺施設表示** および **VICS表示** は、左画面の施設表示、およびVICS表示が表示状態になっているときに操作することができます。

地図・文字を拡大表示するには

地図や文字、施設マークを拡大して表示することができます。



- (1) 地図画面を表示させているときに **表示変更** にタッチします。



- (2) **拡大表示** にタッチすると地図・文字が拡大表示されます。

- 拡大表示しているときは、スケール表示と地図の大きさは異なります。
- 2画面表示しているときに拡大表示を行うと左右の画面の地図・文字がともに拡大して表示されます。



お知らせ

- 拡大表示したときは、地図・文字が通常表示のおよそ2倍に拡大して表示されます。
- 市街図 (P.2-20参照)、全ルート表示画面 (P.2-29参照)、乗降IC指定画面 (P.3-16参照) など、画面によって拡大表示が行われない画面もあります。



- (3) (1) の画面で、 **拡大解除** にタッチすると地図・文字の拡大表示が解除されます。



市街図を表示するには

市街図がある地域では、市街図表示に切り替えることができます。

1 市街図を表示するには



- (1) 2D表示時で、**50m** の縮尺の地図を表示しているときに **市街図** にタッチします。

- **50m** の縮尺の市街図が表示されます。
- 通常の地図に戻すには **広域** にタッチします。



お知らせ

- **市街図** は地図データ（市街図）が存在する場所でのみ表示されます。
- **50m** の縮尺の市街図を表示しているときに **詳細** にタッチすると **25m** の縮尺の市街図を表示できます。
- 地域によっては、道路などへの色表現ができない場合があります。

2 3D市街図ビル立体表示に切り替えるには

建物の形状が立体的に表現された地図を表示することができます。



- (1) 3D表示時で、**50m** の縮尺の市街図を表示しているときに **詳細** にタッチします。

- 3D市街図ビル立体表示に切り替わります。
- **広域** にタッチすると、**50m** の縮尺の市街図に戻ります。



お知らせ

- 3D市街図ビル立体表示（P.4-1参照）が「する」に設定されているときのみ表示されます。
- 3D市街図ビル立体表示では、視界の遮りを防ぐため手前のビルは半透明で表示されます。
- 地域によっては、道路などへの色表現ができない場合があります。

高速略図画面を表示するには

自車が高速道路や有料道路に進入すると、自動的に高速略図画面が表示されます。

1 高速略図画面について

2 基本編

高速略図画面を表示するには

①道路名称

選択した施設の存在する道路名称を表示します。

②施設名称

未通過の施設を表示します。

③設備マーク

選択した施設（SA・PAのみ）に設置されている設備をマークで表示します。

④通過予想時刻

選択した施設への到着予想時刻を表示します。

⑤施設までの距離

現在地からの距離を表示します。

表示される設備マーク		
レストラン	ドラッグストア	仮眠施設
お風呂	キャッシュコーナー	ハイウェイ情報ターミナル
郵便局・ポスト	F A X	ショッピングコーナー
休憩所	スナックコーナー	トイレ
ガソリンスタンド（企業マークを表示）		

お知らせ

高速略図画面の表示は常に2画面表示になります。（高速略図画面解除後は表示前の画面状態に戻ります）

2 高速略図画面の表示と解除

自車が高速道路や有料道路の本線上にあるときは、高速略図画面の解除と表示が行えます。



(1) 自車が高速道路の本線上にあるとき、**案内図替** にタッチします。

- 高速略図画面が解除されます。
- 高速略図画面を表示するには **案内図替** にタッチします。



お知らせ

- **案内図替** の詳細については、P.2-36を参照してください。
- 自車が出口ICに到達すると高速略図画面は自動的に解除されます。
- ルート案内中でないときは、都市高速道路（首都高速や名古屋高速など）や有料道路では高速略図画面を表示することはできません。

3 高速略図画面を使いこなす

未通過の施設の情報を確認することができます。



(1) 施設名称、または ▲ や ▼ にタッチすると、選択される施設が切り替わります。

- 選択された施設が強調表示されます。
- 施設を選択したときに **現区間** にタッチすると現在地から最寄りの施設が選択されます。

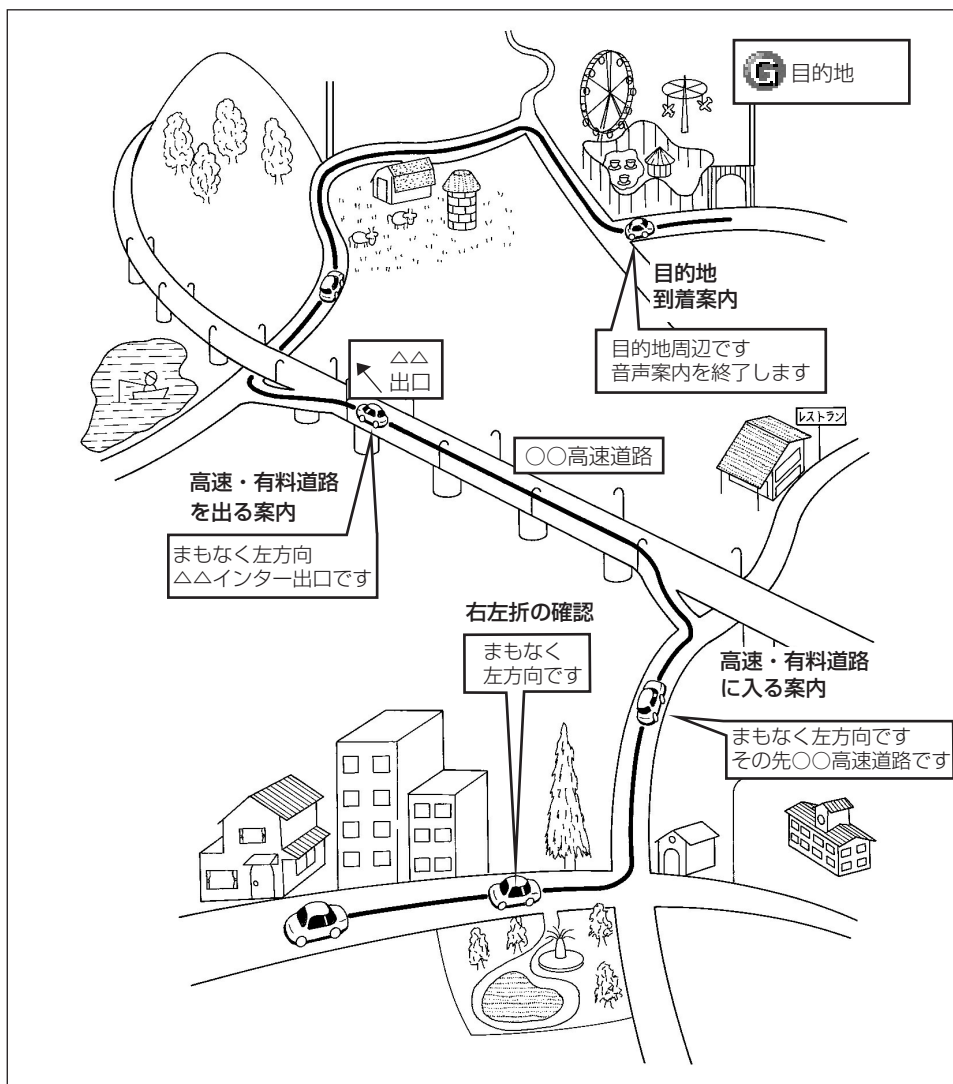


お知らせ

- 自車が都市間高速道路（東名高速や名神高速など）の本線上にあるときは、ルート案内中でなくても、未通過の施設を最大10施設まで表示します。
- ルート案内中は出口ICまでの施設を表示します。

ルート案内について

- 目的地を設定することによって、自動的に推奨ルートを表示します。
- ルートに沿って走行し、分岐点に接近すると音声と案内拡大図（交差点拡大図、3D高速分岐案内など）によりルート案内を行います。
音声案内は聞きたいときに聞くこともできます。



ルート案内は次の手順で案内され、目的地付近に到着すると終了します。

●以下に示す手順は基本的な流れです。

1. 目的地を設定する (P.2-25 目的地を設定しルートを探するには)

- 行きたい場所の地図上に目的地を設定します。



新しく探す画面



ルートが探索されます。

2. ルートを選択する (P.2-29 5ルートを確認・選択するには)

- 探索されたルートを確認します。
- 5ルート** にタッチすると5ルート選択画面を表示します。
- 5本あるルートから案内ルートを選びます。



5ルート選択画面



ルート上を走行すると案内が開始されます。

3. ルートを案内する (P.2-31 案内画面について)

- 様々な画面と音声による案内で目的地まで誘導します。

交差点拡大図



レーンリスト図画面



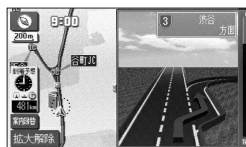
都市高マップ



ハイウェイ入口案内



3D高速分岐案内



目的地まで案内にしたがって走行します。

目的地に到着すると案内が終了します。

目的地を設定しルートを探索するには

目的地を設定するとルートを探索することができます。

1 目的地を任意地点にワンタッチで設定する



- (1) 地図スクロール、**詳細** または **広域** 操作により目的地を設定したい位置に  を合わせ、スケール表示が **800m** より詳細な地図で **目的地セット** にタッチします。



- (2)  にタッチすると、地図が移動して  の位置を変更することができます。

- (3) **目的地セット** にタッチすると  の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

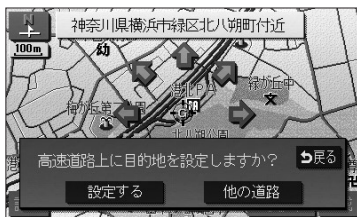


- (4) すでに目的地が設定されている場合は、**新規目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。

- **追加目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。P.3-6を参照してください。

！ アドバイス

- 目的地設定ができるのは、自転車から5000km以内の **800m** より詳細な地図のときです。
- **800m** より広域な地図で設定動作を行った場合は、自動的に **800m** の地図に切り替わります。



- (5) 高速道路や橋、トンネルが目的地付近に存在する場合は、**設定する** または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する場所を選択します。



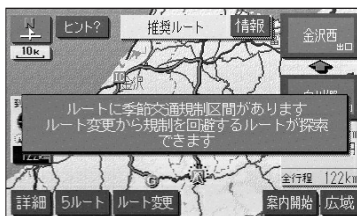
- (6) **案内開始** にタッチすると、音声と画面で案内します。

- 青色で表示されているのが案内対象ルートです。ルートの種類は画面上部に表示されます。
- **案内開始** にタッチしなくても、走行を開始してから約3秒後に自動的にルート案内を始めます。



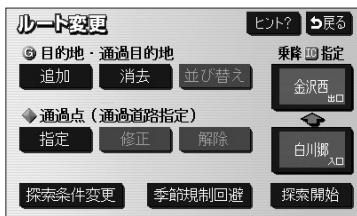
お知らせ

ルートの種類は最大で5種類表示されます。それぞれのルートの特徴については、P.2-30を参照してください。



- (7) ルート上に季節規制区間が存在するときは、規制区間の道路が橙色で表示されます。規制を回避したい場合は、**ルート変更** にタッチします。

- メッセージはナビ設定 (P.4-1 参照) で「季節規制メッセージ表示」が「する」に設定されているときのみ表示されます。



- (8) **季節規制回避** にタッチすると、季節規制を回避する探索を行います。

- 季節規制回避後は、**季節規制通過** になります。
- 季節規制区間を再度通るルートを探る場合は、**季節規制通過** にタッチします。



お知らせ

規制区間を含む道路以外に推奨できる道路がないときは、規制を回避できないことがあります。

2 地図索引機能を使って目的地を設定する



- (1) ナビメニュー（P.2-7参照）、またはナビメニューから**その他**にタッチして、新しく探す画面を表示します。
- (2) 地図の呼び出し方を選び、目的地周辺の地図を表示させます。

- **50音** P.3-29
- **施設** P.3-33
- **住所** P.3-39
- **電話番号** P.3-35
- **郵便番号** P.3-38
- **マップコード** P.3-43
- **メモリ地点** P.3-41
- **履歴** P.3-42
- **周辺施設** P.3-44

※ それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。



お知らせ

ナビメニューの「新しく探す」（P.2-7参照）に表示されている、地図を呼び出すスイッチを使用頻度の高いスイッチのみを表示して使いやすくなることができます（P.4-17参照）。



- (3)  にタッチすると、地図が移動して  の位置を変更することができます。
- (4) **目的地セット** にタッチします。



- (5) すでに目的地が設定されている場合は、**新規目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。P.2-26の**1**の(6)の操作を行ってください。

- **追加目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。P.3-7を参照してください。

- (6)  の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

3 自宅に帰る



- (1) ナビメニュー（P.2-7参照）で、よく行く場所の**自宅** にタッチします。

- そのまま自宅を目的地に設定してルート探索を開始します。
- すでに目的地が設定されている場合は、**2**の(5)の操作を行ってください。



お知らせ

自宅が登録（P.4-29参照）されていない場合は、自宅登録画面が表示されます。（P.2-2参照）

4 よく行く場所に設定する



- (1) ナビメニュー（P.2-7参照）で、登録済みのよく行く場所のいずれかにタッチします。

- そのままよく行く場所を目的地に設定してルート探索を開始します。
- すでに目的地が設定されている場合は、**2**の(5)の操作を行ってください。



お知らせ

よく行く場所が登録（P.4-29参照）されていない場合（「未登録」をタッチした場合）は、よく行く場所を登録する画面が表示されます。（P.2-3参照）

5ルートを確認・選択するには

案内を開始する前に、複数のルートから案内するルートを確認し選択することができます。

1 全ルート表示画面の表示

ルート探索が終了すると、自動的に全ルート表示画面が表示されます。

①**地図向き**
ノースアップで表示
されます。

②**地図縮尺**
現在地と目的地の
両方が表示される
縮尺で表示します。

③**到着予想時刻**
目的地に到着する
予想時刻を表示します。

④**目的地までの距離表示**
自転車から目的地までの距離を
表示します。

⑤**フェリー利用**
目的地までのルートで
フェリー航路を利用
する場合に表示します。

⑧**乗降 I C**
最初に利用する入口 I C と最後
に利用する出口 I C 名称を表示
します。
入口 I C と出口 I C は変更する
ことができます
(P.3-16参照)

⑦**主要利用道路情報**
ルートにおいて主に利用する
道路種別とその利用距離を表示
します。

⑥**合計料金表示**
最終目的地までにかかる有料
道路の料金の合計額を表示し
ます。



お知らせ

- **5ルート** は案内開始前のみ表示され、案内を開始すると表示されません。
また、目的地が2つ以上設定されている場合や、通過道路 (P.3-11参照) や乗降 I C (P.3-16参照) が指定されている場合も表示されません。
- 高速道路、有料道路を利用しない場合は、乗降 I C は表示されません。
- 目的地が2つ設定されているときは、目的地までの距離表示に、タッチされるごとに設定されている目的地までの距離に切り替わります。3つ以上設定されているときは、目的地までの距離表示にタッチして表示したい目的地を選択すると、選択した目的地までの距離の表示に切り替わります (P.2-33参照)。
- 案内開始後も、全ルート表示画面を表示することができます (P.2-32参照)。

2 複数の全ルート表示を確認し案内するルートを選択する



(1) 全ルート表示画面で **5ルート** にタッチします。

- 5つのルートを色分けして表示します。

各ルートは約1秒おきに順次一番上に表示が切り替わります。



(2) 案内に利用したいルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート表示画面になります。

(3) (2)の画面で **全行程一覧表** にタッチすると、5つのルートの距離、料金、所要時間が表示されます。

全行程一覧表					戻る
探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間	
推奨	173km	143km	4000円	2時間47分	
有料優先	173km	143km	4000円	2時間47分	
一般優先	82km	0m		2時間42分	
距離優先	80km	1.9km	不明	2時間35分	
別ルート	83km	22km	4000円	2時間23分	

(4) 案内に利用したいルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート表示画面になります。



お知らせ

- 案内するルートが同じ場合もあります。
- 5ルートを表示している画面では、地図のスクロールはできません。
- 料金は実際と異なる場合があります。
- 5つのルートの特徴

- ・ **推奨** 最も推奨できるルート
- ・ **有料優先** できるだけ有料道路を多く利用するルート
- ・ **一般優先** 有料道路の利用をかぎりなく少なくするルート
- ・ **距離優先** できるだけ道のり距離が短くなるようにしているルート
- ・ **別ルート** 最初に選ばれたルートとは別の道を利用するルート

案内画面について

ルート案内中は状況に応じて様々な案内画面が表示されます。

1 案内中の現在地画面

①案内ポイントマーク

車線案内、通過交差点名称、案内拡大図が表示される地点にマークを表示します。

②到着予想時刻

目的地に到着する予想時刻を表示します。

③目的地までの距離表示

自転車位置から目的地までの距離を表示します。

④案内ルート

目的地までの案内ルートを青色で表示します。
(目的地が複数設定されているときは、次の目的地までの案内ルートを青色で表示し、それ以降の案内ルートは白色の線が入った青色で表示します。)

⑥車線案内

交差点における各車線の分岐方向を矢印で表示します。
車線情報のある一部の交差点で表示されます。

⑤道路名称、 通過交差点名称表示

現在走行中の道路名称、またはルート上で次に通過する交差点の名称を表示します。



お知らせ

- 案内ポイントマークは、案内されるポイントの種類によって異なるマークを表示します。
 - ・ 通過交差点名称、または車線案内が表示されている交差点
 - ・ (灰色) 通過交差点名称、または車線案内が表示されていて、信号機がない交差点
 - ・ (赤色) 案内拡大図が表示される交差点
- 車線案内は案内ルートの方向によって色分けして表示します。
ルート案内上、走行を推奨する車線は、青色で表示します。それ以外の車線は、灰色で表示します。
- 車線案内、および料金案内は実際と異なる場合があります。
- 細街路（道幅が3m以上5.5m未満の細い道路）における案内ルートは水色で表示します。細街路ルート走行中は音声分岐案内および案内拡大図表示は行いません。
- ナビ設定の「目的地直線表示」を「する」に設定すると、現在地画面で目的地への方向を直線で表示します（P.4-1参照）。

2 全ルート表示画面

案内開始後に目的地までの全行程ルートを表示することができます。



(1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

(2) **全ルート** にタッチします。



- 全ルート表示画面が表示されます。
全ルート表示画面の詳細については、P.2-29を参照してください。



お知らせ

- 案内開始後は **案内開始**、**5ルート** は表示されません。
- 表示変更画面から呼び出した全ルート表示画面は、案内開始前の全ルート表示画面（P.2-29参照）と違い、走行を開始してから3秒を経過しても表示は解除されません。
- 到着予想時刻と目的地までの距離表示は、自車がルート上に存在しないときは表示されません。
この場合は目的地の方向を示す矢印と、目的地までの直線距離を表示します。

自車がルート上にないときの地図

目的地方向矢印

目的地までの直線距離





お知らせ

目的地が3つ以上設定されているときは、目的地までの距離表示（自車がルート上に存在しないときは目的地までの直線距離）にタッチすると、それぞれの目的地までの到着予想時刻と距離が一覧表示されます。表示したい目的地を選択すると、選択した目的地までの到着予想時刻と距離の表示に切り替わります。◀ にタッチすると一覧表示は解除されます。



目的地までの
距離表示に
タッチ

◀ にタッチ



3 案内拡大図表示

分岐点に接近すると自動的に案内分岐点の拡大図が表示されます。また、解除したあとでも再表示することができます。

●交差点拡大図

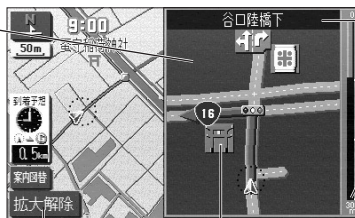
一般道路（高速道路、有料道路以外）で案内を必要とする交差点におよ300mまで接近すると、交差点周辺の地図を拡大表示します。

①交差点の拡大図

交差点付近の地図を拡大表示します。拡大図は3Dまたは2Dに切り替えることができます（P.4-1参照）。また、一部の交差点では立体描画した立体交差点拡大図を表示します。

②拡大解除スイッチ

拡大解除 にタッチすると、交差点拡大図の表示を解除します。再表示するには **現在地** を押します。



⑤交差点名称

案内する交差点に名称を表示します。

④分岐点までの距離

自車から分岐点までの残距離を表示します。

③施設マーク

分岐点周辺に存在する施設のマークを表示します。

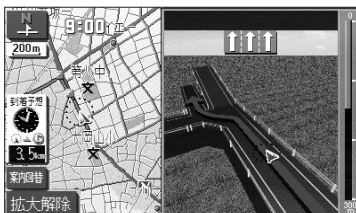


お知らせ

- 交差点拡大図の自動表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。
- 拡大図の再表示は、分岐点を通過する前に行うことができます。
- 名称のない交差点では、交差点名称は表示されません。

●立体交差点拡大図

立体交差点情報のある交差点では、立体交差点拡大図を表示します。

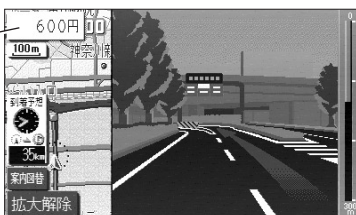


●ハイウェイ入口案内画面

ルート案内中、都市高速道路の入口付近に接近するとハイウェイ入口案内画面を表示します。

①料金案内

料金所（入口、出口、本線上）に接近すると通行料金を表示します。



●レーンリスト図画面

一般道路（高速道路、有料道路以外）で案内を必要とする交差点におよそ700mまで接近すると、案内分岐点までに存在する交差点の車線情報をリスト形式で表示します。

①案内ポイントマーク

車線情報を表示している交差点にマークを表示します。



②通過交差点名称

車線情報を表示している交差点の名称を表示します。

③車線案内

ルート上で、案内分岐点までに通過する交差点の車線情報を表示します。



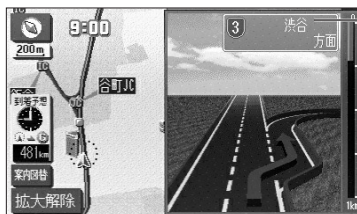
お知らせ

- 料金案内の表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。
- レーンリスト図画面の自動表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。
- 案内分岐点に300mまで接近したあとに **現在地** を押した場合は、交差点拡大図が再表示されます。
- 案内ポイントマークは、車線情報を表示する交差点ごとに色分けして表示されます。

- ・ （赤色） 案内拡大図が表示される交差点
- ・ （橙色／桃色／緑色） 車線案内される交差点

●3D高速分岐案内画面

ルート案内中、高速道路のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると3Dの案内拡大図を表示し、走行する車線を案内します。

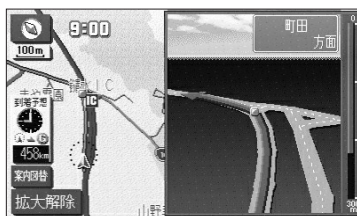


①方面名称案内

I Cの出口名称やJCTでの進行方向、進行方向の路線番号を表示します。

S A・P Aに接近した場合は施設の名称を表示します。

有料道路、および高速道路の一部のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点で簡易的な拡大図が表示されます。

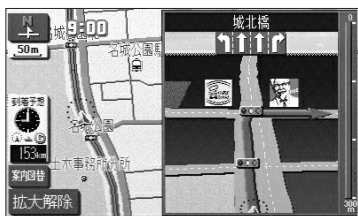


お知らせ

- 方面名称案内は、高速道路上の看板の表示とは必ずしも一致しない場合があります。
- 3D高速分岐案内画面は、ナビ設定の「高速分岐模式図自動表示」で「する」または「しない」の設定を行うことができます (P.4-1参照)。

●案内図の切り替え

一般道路を走行中に交差点拡大図とレーンリスト図の表示の切り替えや、高速道路を走行中に高速分岐案内画面と高速略図画面（P.2-21参照）の表示の切り替えを行うことができます。



- (1) 案内図が表示されているときに **案内図替** にタッチします。

- 案内図を切り替える画面が表示されます。



お知らせ

案内図が表示されないときは、**案内図替** は表示されません。また、表示される案内図が1つのみの場合は、**案内図替** にタッチするごとに案内図の表示・解除を行うことができます。



- (2) 表示したい案内図のスイッチにタッチします。

■一般道路を走行しているとき

- **拡大図** にタッチすると交差点拡大図を表示します。
- **レーンリスト** にタッチするとレーンリスト図を表示します。

■高速道路を走行しているとき

- **分岐図** にタッチすると高速分岐案内画面を表示します。
- **高速略図** にタッチすると高速略図画面を表示します。
- 案内図を解除して、地図を表示する場合は、**地図** にタッチします。



お知らせ

表示することが可能な場合にのみ、(2) の画面に案内図のスイッチが表示されます。

4 都市高マップ

ルート案内中、自車が都市高速道路（首都高速や名古屋高速など）の本線上を走行すると都市高マップを表示することができます。一般道路を表示しないため、複雑な都市高速道路をわかりやすく表示します。



- (1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。
- (2) **都市高マップ表示** にタッチします。



- ナビ設定で都市高マップ自動表示を「する」に設定（P.4-1参照）している場合、自車が都市高速道路に進入すると自動で都市高マップが表示されます。（**200m** から **1.6k** の地図表示時）
ただし、案内ルート上を走行していない場合は表示されません。
- **都市高マップ解除** にタッチすると、都市高マップが解除されます。



お知らせ

- 都市高マップが表示されるのは、地図縮尺が **200m** から **1.6k** までの間のみです。
それ以外の地図縮尺を表示している場合や、縮尺切り替えにより **200m** より詳細な縮尺、または **1.6k** より広域な縮尺に切り替えた場合は通常の地図が表示されます。
- 一般道路、都市間高速道路、有料道路に進入した場合、都市高マップは自動的に解除され、通常の地図を表示します。
- ジャンクション、出入ランプ全ての名称が表示されるわけではありません。
- 都市高マップの表示設定は、次回のルート案内でも前回と同じ設定になります。
- 都市高マップが自動で解除されても、設定は変更されません。

案内をもう一度聞きたいときは

ルート案内中に案内がよく聞きとれなかった場合や、次の分岐点までの情報を聞きたい場合、再び音声案内を聞くことができます。

また、交差点拡大図などの案内拡大図を解除したあとに再び案内拡大図を見たい場合、再表示することができます。



(1) 現在地画面 (P.2-9参照) から **現在地** を押します。

- 現在の自転車位置に相当した距離で音声案内を行います。
- 案内分岐点の手前約300m以内で **現在地** を押すと音声案内とともに案内拡大図 (P.2-33参照) が表示されます。



お知らせ

- ルート上を走行していないときは、音声・案内拡大図は表示されません。
- 案内音量が **消音** では **現在地** を押しても音声は発声されません。
「案内の音量を調節するには」(P.3-28参照) を参考に、聞きやすい音量に調節してください。
- 案内拡大図は、案内分岐点を通過すると再表示できません。
- 自動的に行われる音声案内と **現在地** 押下による音声案内では、距離の案内が一致しない場合があります。

どこでも確認ボタンについて

どこでも確認ボタン（）を押すと確認画面が表示され、現在のオーディオやナビゲーション、接続されているナビ対応ETCユニットの設定状態がひと目でわかる画面を表示することができます。

また、目的地を設定していれば走行中の道路名称や次の案内、VICIS情報を音声でご案内します。

1 確認画面を表示するには

を押すと確認画面が表示されます。

①オーディオ設定状態

オーディオの設定状態を表示します。

②ETC接続状態

現在のETCシステムの状態を表示します。

③現在日時

現在の日付と時刻を表示します。

④ルート矢印

ルート案内中は青色で案内ルートから外れている場合は灰色で表示します。

⑤目的地名称

目的地の名称を表示します。

⑥到着予想時刻

目的地に到着する予想時刻を表示します。

⑦目的地までの距離表示

自車位置から目的地までの距離を表示します。

⑧次の案内

次に分岐する交差点の名称、分岐までの距離、分岐する方向を表示します。

⑨現在地名

現在地付近の地名や道路名称、道路番号を表示します。



● 目的地までの案内ルート上を走行している場合は以下の音声案内が出力されます。

- ・ 現在走行中の道路名称
- ・ 次の分岐までの案内
- ・ 案内ルート上にある渋滞・規制情報

● ETC接続状態には、以下の状態が表示されます。

- ・ 「ETCカード挿入済み」 : ETCカードが挿入された状態
- ・ 「ETCカード未挿入」 : ETCカードが挿入されていない
: ETCカードを読み込み中
: ETCがセットアップ完了している状態
- ・ 「ETCが使えません」 : ETCカードが読み込めない
: ETCシステムに異常発生
- ・ 「未セットアップ」 : ETCがセットアップされていない状態



お知らせ

- 確認画面は一定時間経過すると自動的に消去されます。
- 案内ルート上に渋滞・規制がない場合（案内される情報は自転車前方およそ10kmまでの情報です）は渋滞・規制情報は案内されません。
- 音声案内はあくまでも参考としてください。
- 複数の目的地を設定している場合は、次の目的地（自転車から一番手前の目的地）までの案内を表示します。
- ETC接続状態は、別売のナビ対応のETCユニットを接続した場合に表示されます。

2 確認画面の表示時間設定をするには

確認画面を表示してから、もとの画面に戻るまでの時間を調整することができます。

(1) ナビメニュー（P.2-7参照）で **情報** にタッチします。

- 情報のメニュー画面が表示されます。

(2) **設定** にタッチします。

- 画面設定の画面が表示されます。



(3) 確認画面の表示時間設定の ◀ または ▶ にタッチして調整します。

- 表示時間を長くするときは ▶、短くするときには ◀ にタッチします。（タッチするたびに、5秒ずつ変更されます）

(4) **完了** にタッチします。



お知らせ

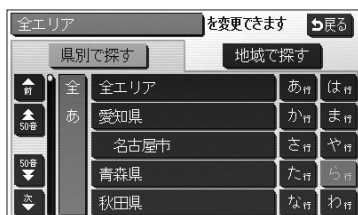
最長（20秒）にすると ▶、最短（10秒）にすると ◀ の色が反転して、タッチしても操作できません。

リスト画面の切り替え方



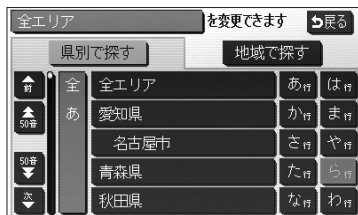
▲・▼の切り替え表示

▲、▼にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



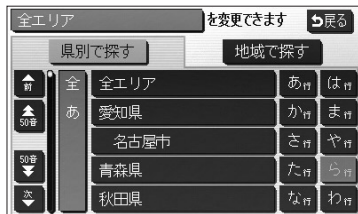
前・次の切り替え表示

▲前、▼次にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



50音順の切り替え表示

▲50音、▼50音にタッチすると、「あ→い」というように次の音に飛ばしてリストが動きます。



行の切り替え表示

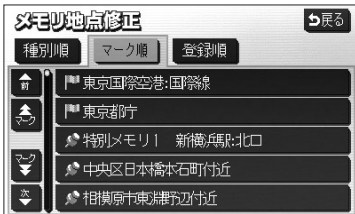
あ行、か行、さ行、た行、な行、は行、ま行、や行、ら行、わ行にタッチすると、「あ行→か行」というようにタッチした行に飛ばしてリストが動きます。

- リストがない行のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。



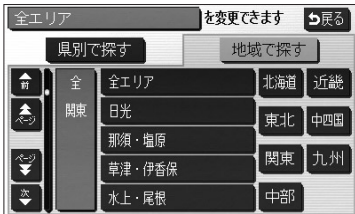
ページの切り替え表示

▲ページ、▼ページ にタッチすると、1 ページずつリストが動きます。



マークの切り替え表示

▲マーク、▼マーク (▲種類、▼種類) にタッチすると、次のマークに飛ばしてリストが動きます。



地域の切り替え表示

北海道、東北、関東、中部、近畿、中四国、九州 にタッチすると、タッチした地域に飛ばしてリストが動きます。



施設項目切り替え表示

食事、店、車、宿泊、遊び、公共、交通、文化、他 にタッチすると、タッチした施設項目に飛ばしてリストが動きます。

- リストがない施設項目のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。
- ○○全て にタッチすると、その項目のすべての施設が選択されます。
- 全ジャンル にタッチすると、すべての施設が選択されます。

スイッチの意味がわからないときには

画面に表示されているスイッチの機能について、使い方や機能などのヒント（説明）を表示することができます。

（音量設定の場合の例）



- (1) **ヒント?** が表示されている画面で、**ヒント?** にタッチするとヒントモードになります。



お知らせ

画面によっては **ヒント?** が表示されないものもあります。

- ヒントが表示されるスイッチが青色の枠で囲まれます。
- 青色の枠で囲まれるスイッチのみヒントを表示することができます。



- (2) **音量設定** にタッチします。

- **音量設定** のヒントが表示されます。
- ヒント表示中のスイッチは強調表示されます。
- ヒントが表示されるスイッチが反転している場合もヒントは表示されます。



- (3) **解除?** にタッチします。

- ヒントモードが解除され、(1) の画面に戻ります。
- **解除?** はヒントモード中のみ表示されます。



お知らせ

- ヒントモード中に他の画面を表示した場合、ヒントモードは解除されます。
- ヒント表示中に走行を開始するとヒントは消去されます。

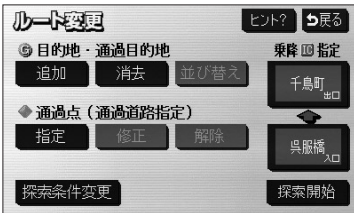
目的地を追加・並び替え・消去するには

目的地を設定したあとに、さらに目的地を追加することができます。また、目的地の順序を並び替えたり、消去することができます。

1 目的地を追加するには



- (1) 現在地画面で **再探索** にタッチしたあとの画面、または全ルート表示画面で **ルート変更** にタッチします。



- (2) 目的地・通過目的地の **追加** にタッチします。



- (3) 地図の呼び出し方を選び、目的地周辺の地図を表示させます。

- **50音** P.3-29
- **施設** P.3-33
- **住所** P.3-39
- **電話番号** P.3-35
- **郵便番号** P.3-38
- **マップコード** P.3-43
- **メモリ地点** P.3-41
- **履歴** P.3-42
- **周辺施設** P.3-44

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。



- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。

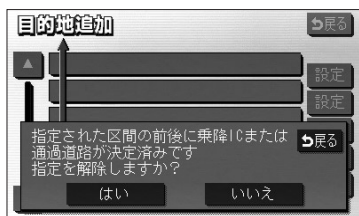
(4) ↑ にタッチすると、地図が移動して ④ の位置を変更することができます。

(5) **目的地セット** にタッチすると ④ の位置に目的地が設定されます。

- 目的地は最大5カ所まで設定することができます。
- すでに目的地が5カ所設定されている場合は、設定されている目的地を消去してから設定しなおしてください (P.3-9参照)。

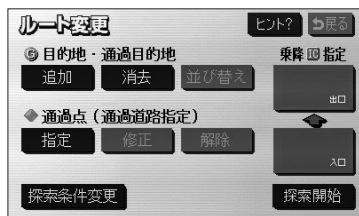


(6) 追加する区間の **設定** にタッチすると、ルート探索が開始されます。



(7) 乗降IC (P.3-16参照) または通過道路 (P.3-11参照) が指定されている場合は、乗降ICまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、指定されているICまたは通過道路を解除して目的地の追加を行います。
- **いいえ** にタッチすると、指定されているICまたは通過道路は解除しないで目的地の追加を行います (適正なルートが探索できない場合があります)。



- (8) **探索開始** にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。目的地をさらに追加する場合はP.3-4の(2)の操作を行ってください。

- 設定した目的地が **G1** ~ **G5** の記号で表示されます。



お知らせ

複数の目的地を設定した場合の全ルート表示画面に **5ルート** は表示されません。

2 目的地を任意地点にワンタッチで追加する



- (1) 目的地が設定されているときに、地図スクロール、**広域** または **詳細** 操作により目的地を設定したい位置に  を合わせ、スケール表示が **800m** より詳細な地図で **目的地セット** にタッチします。



- (2)  にタッチすると、地図が移動して  の位置を変更することができます。
- (3) **追加目的地** にタッチすると  の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

- 探索終了後、全ルート表示画面が表示されます。
- **新規目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。P.2-25を参照してください。



お知らせ

- ワンタッチで追加した目的地は、**G1** として（一番手前の目的地）設定されます。
目的地の順番を変更したい場合は、P.3-8の「**目的地の順序を並び替えるには**」を参照してください。
- 乗降 | C が指定されているときは（P.3-16参照）、適正なルートを探るため、指定されている | C が自動的に解除される場合があります。

3 地図索引機能を使って目的地を追加する



(1) ナビメニュー (P.2-7参照)、またはナビメニューから**その他**にタッチして、新しく探す画面を表示します。

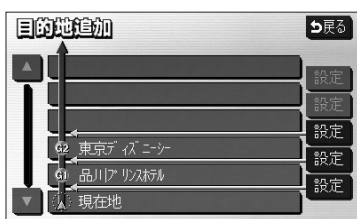


(2) P.3-4の**1**の(3)～(4)の操作を行います。

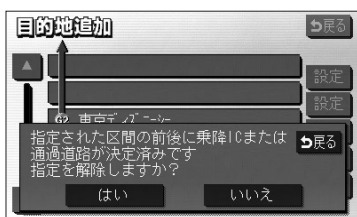


(3) **追加目的地**にタッチすると、の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

- **新規目的地**にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。P.2-28を参照してください。



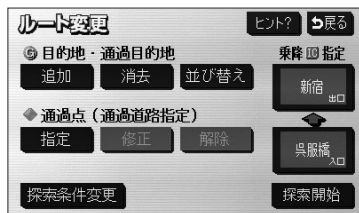
(4) 追加する区間の**設定**にタッチすると、ルート探索が開始され、全ルート表示画面が表示されます。



(5) 乗降IC (P.3-16参照) または通過道路 (P.3-11参照) が指定されている場合は、乗降ICまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい**にタッチすると、指定されているICまたは通過道路を解除して目的地の追加を行います。
- **いいえ**にタッチすると、指定されているICまたは通過道路は解除しないで目的地の追加を行います (適正なルートが探索できない場合があります)。

4 目的地の順序を並び替えるには

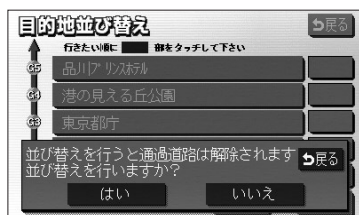


- (1) 目的地を追加後、P.3-4の **1** の(2)の画面で目的地・通過目的地の **並び替え** にタッチします。



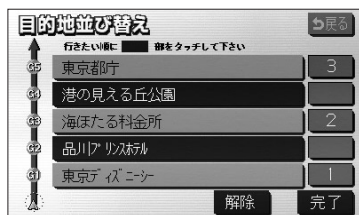
お知らせ

目的地が複数設定されていないと使用できません。



- (2) 乗降IC (P.3-16参照) または通過道路 (P.3-11参照) が指定されている場合は、乗降ICまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、指定されているICまたは通過道路を解除して目的地の並び替えを行います。
- **いいえ** にタッチすると、目的地の並び替えを中止して、前の画面に戻ります。

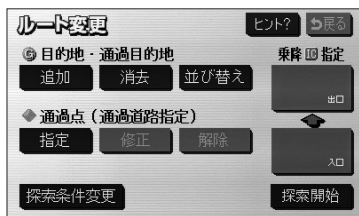


- (3) 目的地の名称を通過したい順にタッチします。
- タッチした目的地の名称が強調表示され、通過順序が番号で表示されます。
 - 設定を解除するには、**解除** にタッチするか、解除したい目的地の名称にタッチします。
- (4) 設定が良ければ **完了** にタッチします



お知らせ

目的地の通過順序が確定してから3秒間無操作状態が続いたときは、自動的にP.3-9の(5)の画面が表示されます。

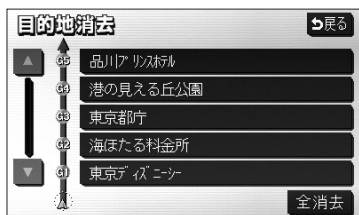


- (5) **探索開始** にタッチすると、全ルート表示画面が表示されます。

5 目的地を指定して消去するには

3 応用編

目的地を追加・並び替え・消去するには



- (1) ナビメニュー（P.2-7参照）で **目的地消去** にタッチします。

あるいは、P.3-4の **1** の(2)の画面で、目的地・通過目的地の **消去** にタッチします。

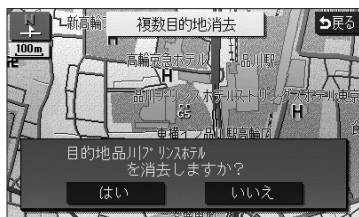
- (2) 消去したい目的地の名称にタッチします。

- 全ての目的地を消去するときは **全消去** にタッチします。

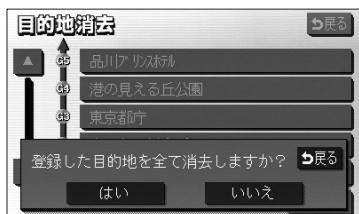


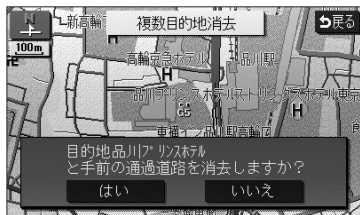
お知らせ

目的地が複数設定されていないと、目的地を選択する(2)の画面は表示されません。



- (3) **はい** にタッチすると目的地が消去されます。
いいえ にタッチすると目的地の消去を中止して、前の画面に戻ります。





(4) 乗降 | C (P.3-16参照) または通過道路 (P.3-11参照) が指定されている場合は、乗降 | C または通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、指定されている | C または通過道路を解除して目的地の消去を行います。
- **いいえ** にタッチすると、目的地の消去を中止して、前の画面に戻ります。

6 次に通過する予定の目的地をワンタッチで消去するには



(1) 現在地画面(P.2-31参照)で **再探索** にタッチします。



(2) **次の G 消去** にタッチします。

- 探索が開始され、新しいルートが表示されます。



お知らせ

目的地が複数設定されていないときは使用できません。

通過道路を指定・修正・解除するには

目的地が設定されているときに、通りたい道路を指定することができます。
また、指定した通過道路の位置を修正したり、解除することができます。

1 通過道路を指定するには



- (1) 現在地画面で **再探索** にタッチしたあとの画面、または全ルート表示画面で **ルート変更** にタッチします。

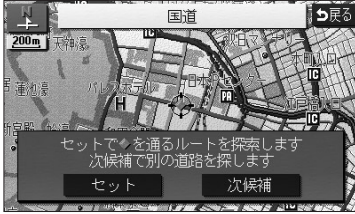


- (2) 通過点（通過道路指定）の **指定** にタッチします。

- 通過道路は2カ所まで設定することができます。
- すでに通過道路が2カ所設定されている場合は、設定されている通過道路を解除してから設定しなおしてください（P.3-14参照）。



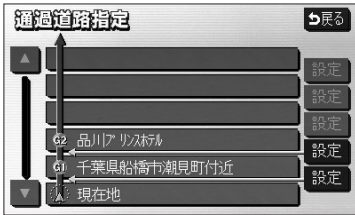
- (3) 地図スクロール、**広域** または **詳細** 操作により通過道路を設定したい位置に  を合わせ、スケール表示が **800m** より詳細な地図で **通過道路セット** にタッチします。



- (4) **次候補** にタッチして マークの位置を切り替え、通過したい道路の上に マークが移動したら **セット** にタッチします。

お知らせ

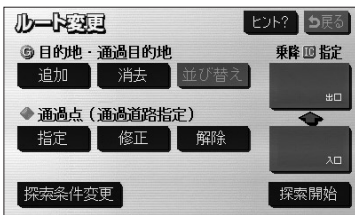
表示されている地図に道路の表示が少ない場合は、**次候補** にタッチしても マークの位置が切り替わらないことがあります。



- (5) 設定したい区間の **設定** にタッチします。

お知らせ

- 1カ所目の通過道路で、複数の目的地および乗降ICが設定されていない場合は、区間を設定する画面は表示されません。
- 乗降ICが指定されているときに (P.3-16参照)、乗降ICの直前または直後の **設定** にタッチすると、適切なルートを探するため、指定されているICは自動的に解除されます。



- (6) **探索開始** にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。2カ所設定する場合は (1) の操作を行ってください。

- 設定した通過道路が または の記号で表示されます。

2 全ルート表示画面から通過道路を指定するには

全ルート表示画面から通過道路を指定することができます。

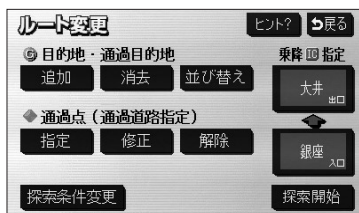


(1) 全ルート表示画面(P.2-29参照)で地図スクロール、**広域** または **詳細** 操作により通過道路を設定したい位置に  を合わせ、スケール表示が **800m** より詳細な地図で **通過道路指定** にタッチします。

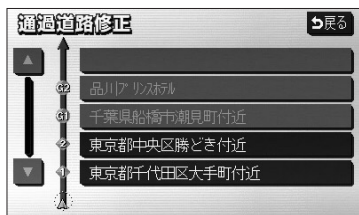
(2) P.3-12の **1** の (4)、(5) の操作を行います。

- 探索終了後、全ルート表示画面が表示されます。
2カ所設定する場合は (1) の操作を行ってください。

3 通過道路の位置を修正するには



(1) 通過道路指定後、P.3-11の **1** の (2) の画面で、通過点 (通過道路指定) の **修正** にタッチします。



(2) 修正したい通過道路の名称にタッチします。



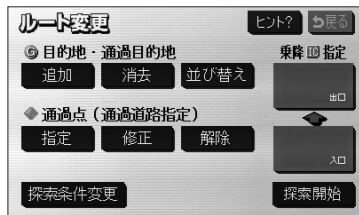
お知らせ

通過道路が2カ所設定されていないときは、通過道路を選択する画面は表示されません。



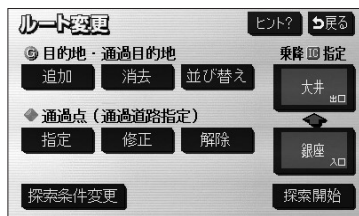
(3) 修正したい位置に  を合わせ、スケール表示が **800m** より詳細な地図で **通過道路セット** にタッチします。

(4) P.3-12の **1** の (4) の操作を行います。

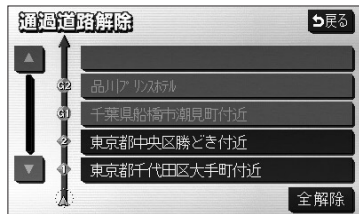


- (5) **探索開始** にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。

4 通過道路を解除するには



- (1) 通過道路指定後、P.3-11の**1**の(2)の画面で、通過点(通過道路指定)の**解除**にタッチします。



- (2) 解除したい通過道路の名称にタッチします。
- 全ての通過道路を解除するときは **全解除** にタッチします。

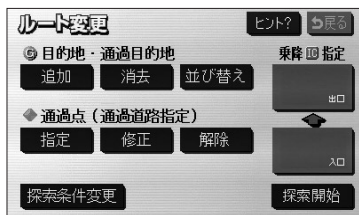
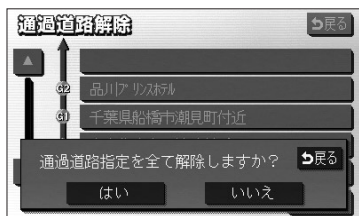


お知らせ

通過道路が2カ所設定されていないときは、通過道路を選択する(2)の画面は表示されません。



- (3) **はい** にタッチすると通過道路が解除されます。
いいえ にタッチすると通過道路の解除を中止して、前の画面に戻ります。



- (4) **探索開始** にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。

5 次に通過する予定の通過道路をワンタッチで解除するには



- (1) 現在地画面(P.2-31 参照)で **再探索** にタッチします。
- (2) **次の◆解除** にタッチします。
- 探索が開始され、新しいルートが表示されます。

！ アドバイス

- 次に通過するのがP.3-16で設定した乗降！Cの場合は **IC指定解除** が表示され、次に通過する！Cを解除することができます。
- 目的地が複数設定されているときは **次のG消去** が表示され、次の目的地を消去することができます。

乗降 I C を指定するには

全ルート表示画面に表示されている乗降 I C を変更することができます。



- (1) 全ルート表示画面(P.2-29参照)またはP.3-4の **1** の
(2) 画面で、変更する乗降 I C 名称にタッチします。



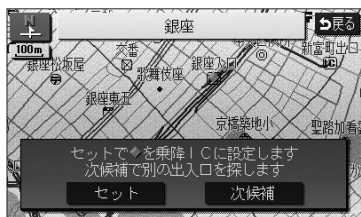
- I C を指定する画面が表示されます。現在指定されている I C 付近の地図が左画面に表示され、IC 名称のスイッチが右画面に表示されます。



- (2) 右画面に表示されている I C の路線から指定したい I C 名称にタッチします。

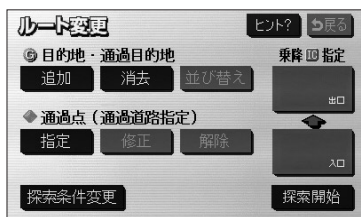
- ▲・▼、**次路線** にタッチすると現在設定されている I C 付近の I C を検索することができます。
 - I C 名称にタッチすると、タッチした I C 名称付近の地図が左画面に表示されます。
 - 左画面の地図にタッチして地図を移動すると、地図の中心付近の I C 名称が右画面に表示されます。
- (3) **探索開始** にタッチします。

- すでに乗降 I C を設定している場合は、**入口解除** または **出口解除** にタッチすると設定が解除されます。
- (1) で全ルート表示画面の乗降 I C 名称にタッチして設定を行ったときは、探索完了後に全ルート表示画面が表示されます。



- (4) 指定したICに複数の出入口が存在する場合は、出入口を選択する画面が表示されます。

次候補 にタッチしてマークの位置を切り替え、指定したい出入口にマークが移動したら **セット** にタッチします。



- (5) **探索開始** にタッチすると、全ルート表示画面が表示されます。

● 指定した乗降IC名称が表示されます。

ルートの再探索

ルート案内中（ルートからはずれたときも含む）現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索を行うことができます。

1 案内ルートの種類を変更するには

現在、案内されているルート種類と違うルート種類に変更して次の地点（目的地、通過道路）まで探索することができます。



(1) 現在地画面(P.2-31 参照)で **再探索** にタッチします。



(2) 変更したい探索条件にタッチします。

- 探索が開始され、新しいルートが表示されます。

！ アドバイス

別ルート は、表示されているルートと異なるルートを、探索条件を変えずに探索したいときにタッチします。

2 迂回するルートを探るには

自転車前方のルートを迂回したルートを探ることができます。



(1) 現在地画面(P.2-31 参照)で **再探索** にタッチします。

(2) **周辺迂回** にタッチします。



お知らせ

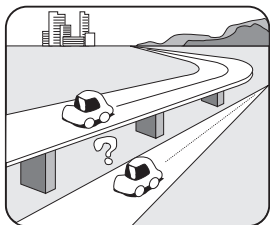
ルート上を走行しているときのみ利用可能です。迂回しないルートが表示されるときもあります。

3 案内される道路種別が違ったら

高速道路と一般道路が上下あるいは並行のまましばらく続くような道路を走行中に、高速道路を走行しているのに一般道路の方が案内ルートになっている、またはその逆の場合は次の方法で探索をやり直してください。



- (1) 現在地画面(P.2-31 参照)で **再探索** にタッチします。
- (2) **一般道から探索** にタッチすると、一般道路からルートが探索されます。
有料道から探索 にタッチすると、高速道路からルートが探索されます。

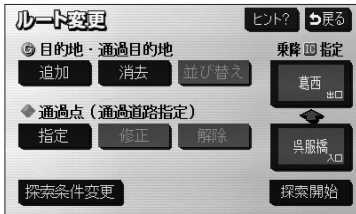


お知らせ

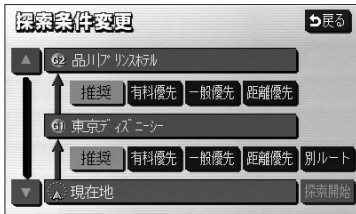
道路形状により、機能しない場合もあります。

区間ごとの探索条件を設定するには

目的地、通過道路、乗降 I C の区間ごとに、探索条件を設定することができます。



- (1) P.3-4の **1** の (2) 画面で、**探索条件変更** にタッチします。



- (2) それぞれの区間の探索条件にタッチします。
- 設定された探索条件が強調表示されます。
- (3) **探索開始** にタッチすると探索が開始され、全ルート表示画面が表示されます。

ルートの詳細情報を確認するには

目的地までのルートで使用する道路の名称、高速道路の I C、料金所などの一覧を表示させることができます。



(1) 全ルート表示画面(P.2-29参照)で **情報** にタッチします。



(2) ルート情報画面が表示されます。

- 道路種別の変わり目、目的地、料金所などでルートを分割し、それぞれの地点で通過予想時刻、料金などが表示されます。
- 各区間のルートには、道路名称、区間距離が表示されます。
- **地図** にタッチすると、設定したそれぞれの地点の地図が表示されます。



お知らせ

- ルート情報画面のまま走行を開始しても、自車マークの位置は更新されません。
- 料金所の種類によって表示されるマークは異なります。

- ・  料金所
- ・  検札所
- ・  発券所

デモでルートを確認するには

目的地に到着するまでのルート案内デモを行うことができます。



- (1) 目的地を設定し、ルート探索終了後に表示される全ルート表示画面(P.2-29参照)で **案内開始** をピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
目的地に到着するまでのルート案内のデモを行います。



- (2) **現在地** を押すとデモを終了します。
● 以下のボタンを押した場合にもデモを終了します。



お知らせ

- 表示変更画面から呼び出した全ルート表示画面(P.2-32参照)からはデモは行えません。
- ルート案内デモ中に走行を開始した場合、デモは終了しルート案内を開始します。

オンルートスクロールを使うには

ルート案内中に、画面に表示されているルートに沿って目的地や出発地までの連続地図スクロールを行ってルートを確認することができます。また、ルート沿いに存在する施設を検索し情報を見ることができます。

1 目的地または出発地までのオンルートスクロールを行うには



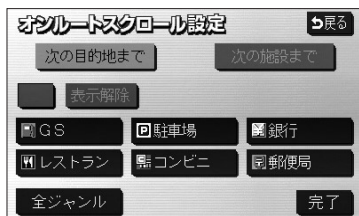
(1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

(2) **オンルートスクロール** にタッチします。



● オンルートスクロール画面が表示されます。

(3) **設定** にタッチしてオンルートスクロール設定画面を表示します。



(4) **次の目的地まで** にタッチし、**完了** にタッチします。

● 初期設定は、「次の目的地まで」に設定されています。

● 一度設定すると次回設定が変更されるまで保持されます。



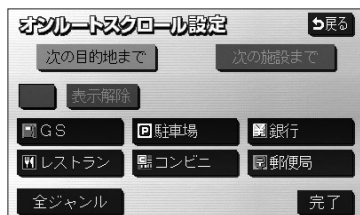
- (5) ● **▶ G** にタッチすると、目的地方向へ低速で連続地図スクロールが行われます。
- **S ◀** にタッチすると、出発地方向へ低速で連続地図スクロールが行われます。
- **▶▶ G** にタッチすると、目的地方向へ高速で連続地図スクロールが行われます。
- **S ◀◀** にタッチすると、出発地方向へ高速で連続地図スクロールが行われます。
- **▶|G** にタッチすると、次の目的地へスクロールがジャンプします。
- **S|◀** にタッチすると、出発地または出発地方向に存在する目的地（目的地を複数設定している場合）へスクロールがジャンプします。
- **||** にタッチすると、連続地図スクロールを停止することができます。



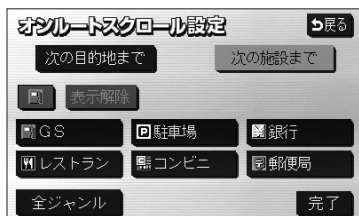
お知らせ

- 画面内に案内ルートが表示されていない場合は連続地図スクロールできません。
- 走行中はスクロールジャンプのみ行うことができます。
- 地図縮尺、地図向きを切り替えた場合は連続地図スクロールが停止します。

2 次の施設までのルートを確認するには



- (1) **1** の (4) の画面で希望の施設にタッチします。
- **全ジャンル** にタッチすると施設ジャンルのリスト画面が表示されます。
- 施設にタッチすると **次の施設まで** のタッチスイッチが選択できるようになります。



(2) **次の施設まで** にタッチし、**完了** にタッチします。

- **▶ G** にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設まで低速で連続地図スクロールが行われます。
- **S ◀** にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設まで低速で連続地図スクロールが行われます。
- **▶▶ G** にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設まで高速で連続地図スクロールが行われます。
- **S ◀◀** にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設まで高速で連続地図スクロールが行われます。
- **▶ I G** にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設へスクロールがジャンプします。
- **S ◀◀** にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設へスクロールがジャンプします。
- **||** にタッチすると、連続地図スクロールを停止することができます。
- 次の施設までのスクロールが行われ、施設に到着すると施設名称が表示されます。



お知らせ

- P.3-23の **1** の(4)の画面に表示される6つの施設ジャンルは変更することができます (P.4-3参照)。
- 次の施設までのオンルートスクロール、およびジャンプスクロールは、**800m** より詳細の地図表示のときに行うことができます。

走行軌跡について

1 走行軌跡の表示

走行した道路を約200 km分保存し、軌跡を表示することができます。



(1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

(2) **走行軌跡表示** にタッチします。

- 走行軌跡が表示されます。
- 初期設定はOFF(非表示)になっています。



走行軌跡



お知らせ

- 保存できる距離を越えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 25 m～50 kの縮尺で表示させることができます。
- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

3 応用編

走行軌跡について

2 走行軌跡の消去



(1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

(2) **走行軌跡解除** にタッチします。

- **はい** にタッチすると、地図に表示されている走行軌跡と保存されている軌跡の情報が消去されます。
- **いいえ** にタッチすると、地図に表示されている走行軌跡は消去されますが、保存されている軌跡の情報は消去されません。

保存されている軌跡の情報を再表示するには、「**1** 走行軌跡の表示」をご覧ください。



ルート案内を中止・再開するには

設定されているルートの案内が不要の場合、ルート案内を一時中断することができます。
再びルート案内を必要とする場合は、案内を再開することができます。



(1) 設定画面（P.2-8参照）を表示します。

- 案内中は **案内中止** が表示され、案内中止状態のときは **案内再開** が表示されます。

(2) **案内中止** にタッチすると案内を中止します。

- 案内を再開するときは **案内再開** にタッチします。

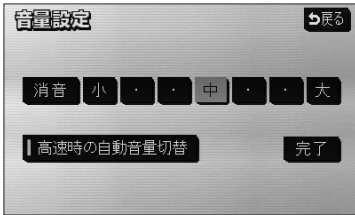
！ アドバイス

- 案内中止状態のときはルート表示は行われません。
- 設定した目的地や通過道路は消去されないで、裏道を使うときや道に詳しい地域を走行するときに利用すると便利です。
- 音声による案内のみが不要の場合は、ナビ設定（P.4-1参照）の「自動音声案内」を「しない」に設定してください。

案内の音量を調節するには

音声案内の音量を7段階に調節することができます。案内音声を一時的に消すこともできます。

1 案内の音量を調節するには



- (1) 設定画面（P.2-8参照）で **音量設定** にタッチします。
- (2) **小**、**・**、**・**、**中**、**・**、**・**、**大** のいずれかにタッチすることにより、案内音量の設定を変更することができます。
 - 設定された音量で「この音量でご案内します」の音声が発声されます。
 - タッチしたタッチスイッチが強調表示されます。
 - **消音** にタッチすると、案内音量OFFになります。

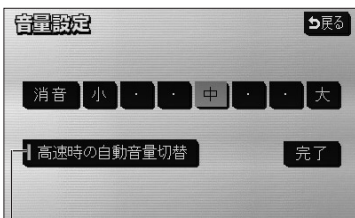


お知らせ

案内音量を **消音** にタッチすると、「この音量でご案内します」の音声は発声されません。

2 自動音量切り替え機能を使うには

自車が80km以上で走行時に、案内音声を自動的に1段階上の音量で発声させることができます。



作動表示灯

- (1) 設定画面（P.2-8参照）で **音量設定** にタッチします。
- (2) **高速時の自動音量切替** にタッチすると、自動音量切替を「設定する」または「設定しない」に切り替えることができます。
 - 「設定する」にしたときは、作動表示灯が点灯し、設定ONになります。



お知らせ

- 案内音量の設定値は変更されません。
- 案内音量が **消音** のとき、または案内音量が **大** に設定されているときは音量は切り替わりません。

50音で地図を表示するには

施設名称の読み仮名を入力して位置を検索し、該当の地図を表示します。
読み仮名入力で検索したあとに、さらにジャンル別、都道府県別、地域別に検索することもできます。

▼ 以下に新しく探すを50音で地図を表示して行う場合について説明します。

1 50音で地図を表示するには



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）から **その他** にタッチして新しく探す画面を表示させ、**50音** にタッチします。

- ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして **50音** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。（P.4-17参照）

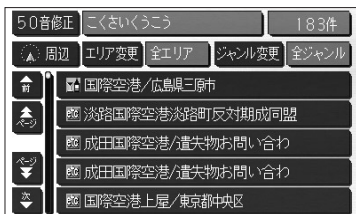


(2) 施設名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 修正するときは **修正** にタッチすると1文字ずつ消去されます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても入力することができません。
- 1文字ずつタッチすることにより、検索される施設名称の件数が表示されます。

(3) **完了** にタッチすると、その時点で入力した文字から検索された施設名称がリストで表示されます。

- **完了** にタッチしなくても、検索される施設の件数が5件以下で、10秒間無操作状態が続いたときは自動的に施設名称のリストを表示します。



(4) 表示したい施設名称にタッチします。

- **50音修正** にタッチすると、(2) の画面に戻ります。



- 周辺の地図をノースアップで表示します。
- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は **提携P** が表示されます。

(5) 施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示するには **提携P** にタッチします。

！ アドバイス

情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。**情報** にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-48を参照してください。



(6) 入庫可能な駐車場が存在すると、駐車場名称がリスト表示されます。

- 施設の専用駐車場には **P**（青色）で、提携駐車場には **F**（緑色）の記号で表示します。
- 駐車場名称にタッチすると、駐車場の詳細情報が表示されます。
- 各駐車場の **地図** にタッチすると、駐車場周辺の地図を表示します。

！ アドバイス

- 入庫可能な駐車場の検索は、P.4-15で設定した車両情報に基づいて行われます。
- 車両の長さ、幅、高さを設定することで、入庫可能な駐車場を検索することができます。

2 ジャンル別検索をするには



(1) P.3-29の**1**の(4)の画面で **ジャンル変更** にタッチします。

(2) 表示したい施設のジャンルにタッチします。

- **全ジャンル** にタッチすると、P.3-29の**1**の(4)の画面を表示します。この場合、ジャンルの指定は行われていません。

！ アドバイス

表示したいジャンルとして **住所** を選択して周辺の地図を表示すると **住所一覧** が表示されます。**住所一覧** にタッチすると周辺の住所から地図を表示することができます。P.3-36を参照してください。

3 エリア別検索をするには



(1) P.3-29の**1**の(4)の画面で **エリア変更** にタッチします。

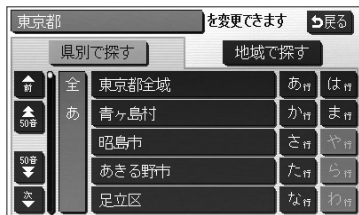
(2) **県別で探す** または **地域で探す** により、検索する種類を選択できます。

- 選択されている種類のタッチスイッチは強調表示されます。

(3) 都道府県から検索するには **県別で探す** にタッチします。

(4) 施設のある都道府県名にタッチします。

- **全エリア** にタッチすると、P.3-29の**1**の(4)の画面を表示します。この場合、都道府県の指定は行われていません。



(5) 施設のある市区町村名にタッチします。

- **〇〇全域** にタッチすると、P.3-29の**1**の(4)の画面を表示します。この場合、都道府県レベルで検索することができます。

(6) 主な地域から検索するには**3**の(2)の画面で**地域で探す**にタッチします。

(7) 施設のある地域名にタッチします。

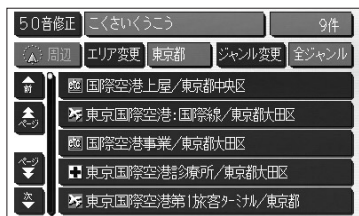


- **全エリア** にタッチすると、P.3-29の**1**の(4)の画面を表示します。この場合、地域の指定は行われていません。

3
応用編

50音で地図を表示するには

4 自転車周辺の施設に絞り込むには



(1) P.3-29の**1**の(4)の画面で**周辺**にタッチします。

- 自転車位置の都道府県のエリアに存在する施設名称がリスト表示されます。

施設で地図を表示するには

ゴルフ場、スキー場、キャンプ場などの施設名称から周辺の地図を表示することができます。

▼ 以下に新しく探す施設（空港）から地図を表示して行う場合について説明します。



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）、またはナビメニューから **その他** にタッチして、新しく探す画面を表示します。

(2) **施設** にタッチします。



(3) 表示したい施設のジャンルにタッチします。

（ここでは **空港** にタッチします）

● 表示されている施設以外のジャンルは **その他** にタッチすると表示され、表示したい施設ジャンルを選択することができます。



(4) 施設のある都道府県名にタッチします。

● 選択したジャンルによっては、**全国** が表示されます。

全国 にタッチすると全国の施設名称を50音順でリスト表示することができます。





(5) 表示したい施設にタッチします。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。

！ アドバイス

- **情報** は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。**情報** にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-48を参照してください。
- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は **提携 P** が表示されます。**提携 P** にタッチすると施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示することができます。P.3-30を参照してください。

電話番号で地図を表示するには

市外局番とそれに続く加入者番号によって該当地点の周辺の地図を表示します。
また、相手先の電話番号を入力することによって、個人宅を検索することもできます。



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）、またはナビメニューから **その他** にタッチして、新しく探す画面を表示します。

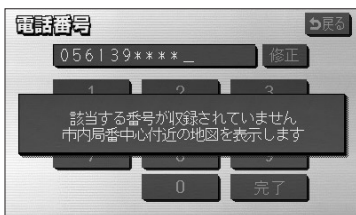


(2) **電話番号** にタッチします。



(3) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。
- 市外局番と市内局番を入力しただけでも周辺の地図を表示できます。



(4) **完了** にタッチすると検索を開始します。

- 入力した番号に
 - ・ 該当する施設があるときは、その施設周辺の地図が表示されます。
 - ・ 該当する個人宅があるときは、相手先の名字を入力する画面が表示されます。(7) の操作を行ってください。
 - ・ 該当する施設・個人宅がないときは、入力した市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 周辺の地図をノースアップで表示します。

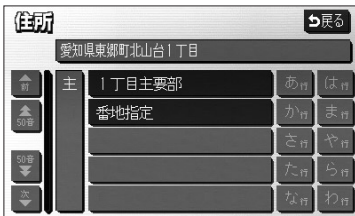


！ アドバイス

- **情報** は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。**情報** にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-48を参照してください。
- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は **提携 P** が表示されます。**提携 P** にタッチすると施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示することができます。P.3-30を参照してください。

- 該当する施設・個人宅がない場合（市内局番周辺の地図が表示されたとき）は **住所一覧** が表示されます。

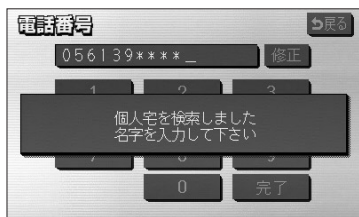
(5) 周辺の住所から地図を表示するには **住所一覧** にタッチします。



(6) 表示させたい地名にタッチします。

- **〇〇主要部** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- **番地指定** にタッチすると番地を指定することができます（P.3-40参照）。
- 周辺の地図をノースアップで表示します。





- (7) P.3-35の(4)で個人宅の電話番号が検索された場合は、相手先の名字を入力する画面が表示されます。



- (8) 相手先の名字を1文字ずつタッチして入力します。

- 修正するときは **修正** にタッチすると1文字ずつ消去されます。

お知らせ

相手先の名字のみ入力してください。
名前の入力はありません。



- (9) 入力が終わったら **完了** にタッチします。

- 入力した名字が
 - ・ 電話番号に登録されている加入者名と一致したときは、加入者宅周辺の地図が表示されます。
 - ・ 電話番号に登録されている加入者と一致しないときは、入力した電話番号の市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。



お知らせ

この地図ディスクで使用している個人宅電話番号・名称データについては、別紙の「地図データベースについて」をご覧ください。

個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/ACCESS/>

郵便番号で地図を表示するには

郵便番号によって該当地点の周辺の地図を表示します。

▼ 以下に新しく探すを郵便番号（460-0000）から地図を表示して行う場合について説明します。



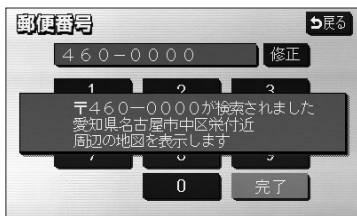
(1) ナビメニュー（P.2-7参照）から **その他** にタッチして新しく探す画面を表示させ、**郵便番号** にタッチします。

- ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして **郵便番号** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。（P.4-17参照）



(2) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 7桁全ての郵便番号を入力します。
- 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。



(3) **完了** にタッチすると検索を開始します。

- 検索が成功すると周辺の地図を表示します。



- 周辺の地図をノースアップで表示します。
- 周辺の住所から地図を表示するには **住所一覧** にタッチします。P.3-36を参照してください。



お知らせ

超高層ビル、事業所などの個別に割り当てられた郵便番号から地図を表示した場合は、**住所一覧** は表示されません。

住所で地図を表示するには

住所から周辺の地図を表示することができます。番地を指定することにより、詳細な住所の検索ができます。

▼ 以下に新しく探すを住所から地図を表示して行う場合について説明します。

1 住所で地図を表示するには



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）、またはナビメニューから **その他** にタッチして、新しく探す画面を表示します。



(2) **住所** にタッチします。



(3) 都道府県名、市区町村名、大字名、小字名の順で表示させたい地名をタッチします。

● **○○主要部** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。



2 番地を指定して地図を表示する



- (1) **1** の (3) で、小字名にタッチしたあと、**番地指定** にタッチすると番地を指定することができます。



- (2) 数字とーを1つずつタッチして番地を入力します。

- 123番地45号を入力する場合、「123-45」と入力してください。
- 修正するときは **修正** にタッチすると1つずつ消去されます。

- (3) **完了** にタッチすると周辺の地図を表示します。



- 周辺の地図をノースアップで表示します。
- 複数の番地が存在する場合は **周辺住所** が表示されます。

- (4) **周辺住所** にタッチすると番地の候補がリスト表示されます。



- リスト最上部の番地（矢印で表示）の位置が、右画面の地図上に  のマークで表示されます。
- 表示したい番地にタッチすると、周辺の地図を表示します。

メモリ地点で地図を表示するには

すでに登録済みのメモリ地点から、周辺の地図を表示することができます。

▼ 以下に新しく探すをメモリ地点から地図を表示して行う場合について説明します。



(1) ナビメニューから **メモリ地点** にタッチします。

- または、ナビメニュー（P.2-7参照）から **その他** にタッチして新しく探す画面を表示させ、**メモリ地点** にタッチします。



お知らせ

- メモリ地点が登録されていないときは使用できません。
- ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして **メモリ地点** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。（P.4-17参照）



(2) 表示したいメモリ地点にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
 - ・ **種別順** にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並びかわります。
 - ・ **マーク順** にタッチすると記号の種類別に並びかわります。
 - ・ **登録順** にタッチするとメモリ地点の登録順に並びかわります。



- 周辺の地図をノースアップで表示します。

履歴で地図を表示するには

一度設定した目的地は20件分まで自動的に記憶され、その履歴から地図を表示することができます。

▼ 以下に新しく探すを履歴から地図を表示して行う場合について説明します。



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）から **その他** にタッチして新しく探す画面を表示させ、**履歴** にタッチします。

- ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして **履歴** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。（P.4-17参照）



(2) 過去の目的地から、表示したい目的地の名称をタッチします。

- **前回出発地** にタッチすると、前回出発地の地図が表示されます。
- 周辺の地図をノースアップで表示します。



お知らせ

- 履歴は最近設定した目的地を20件まで記憶しています。
20件を超えると古い順に消去されます。必要な地点はメモリ地点に登録（P.4-19参照）してください。
- 履歴で地図を表示したあと、同一地点に目的地を設定した場合は、設定した日付のみが更新されます。
- 履歴を消去する場合はP.4-16を参照してください。

マップコードで地図を表示するには

最大13桁（*を含む）のマップコードから地図を表示することができます。

▼ 以下に新しく探すをマップコード（6151454*##）から地図を表示して行う場合について説明します。



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）から**その他**にタッチして新しく探す画面を表示させ、**マップコード**にタッチします。

● ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして**マップコード**を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。（P.4-17参照）

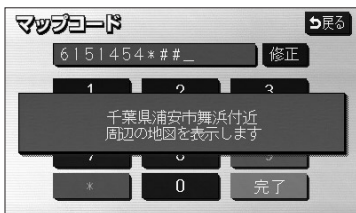
(2) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 修正するときは**修正**にタッチすると1番号ずつ消去されます。



(3) **完了**にタッチすると検索を開始します。

● 検索が成功すると周辺の地図を表示します。



● 周辺の地図をノースアップで表示します。



！ アドバイス

マップコードは、メモリ地点修正画面（P.4-21参照）の位置名称の下にも表示されます。

お知らせ

- マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号（標準マップコードの場合）でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定しにくいところも特定できるようになります。
- 標準マップコード（6～10桁）のあとに*を入力し、高分解能マップコード（1～2桁）を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。
- マップコードについては、<http://www.e-mapcode.com>で紹介されています。そちらをご覧ください。
- マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

周辺施設で地図を表示するには

現在地や目的地周辺に存在する施設の地図を表示することができます。



(1) ナビメニュー (P.2-7参照) から **その他** にタッチして新しく探す画面を表示させ、**周辺施設** にタッチします。

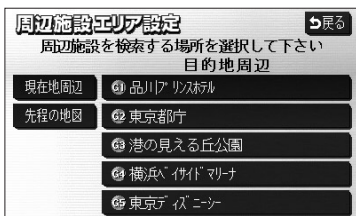
- ナビメニューの「新しく探す」をカスタマイズして **周辺施設** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-17参照)



(2) 検索したい施設のジャンルにタッチします。

- 施設のジャンルは5つまで選択することができます。
- 間違えたときは **選択解除** にタッチすると、1ジャンルずつ解除されます。
- 選択したジャンルにタッチすると、選択したジャンルが解除されます。

(3) **エリア** にタッチすると、周辺施設を検索するエリアを選択する画面が表示されます。



- すでに設定している目的地の周辺施設を検索したい場合は、リストの中から検索したい目的地にタッチします。
- **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。



お知らせ

目的地を設定している場合にのみ、目的地のタッチスイッチが表示されます。



(4) ↑ にタッチすると、地図が移動して ↑ の位置を変更することができます。

(5) **セット** にタッチします。

● 周辺施設のジャンル選択画面が表示されます。



(6) **完了** にタッチすると、検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、選択したエリアから施設までの方角と直線距離が表示されます。



● **種類順** にタッチするとリストが種類順に表示され、**距離順** にタッチすると選択したエリアから近い順に表示されます。

● **ルート沿い考慮** にタッチするとルートの進行方向に向かって存在する施設の位置、および現在地からの道なり距離が表示されます (P.3-50参照)。



(7) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称が表示されます。



● **情報** にタッチすると施設情報画面が表示されます (P.3-48参照)。

施設ランドマークを地図に表示するには

地図上にGS（ガソリンスタンド）やレストランなどの施設のランドマークを表示することができます。また、表示している施設ランドマークの詳細情報を表示することもできます。

1 施設ランドマークを表示するには

表示させたい施設ランドマークを簡易操作で表示することができます。



- (1) 現在地画面(P.2-9参照)、または地図画面(P.2-10参照)から **表示変更** にタッチします。

- (2) **周辺施設** にタッチします。

- 6つの施設ジャンルが表示されます。



- (3) 表示させたい施設にタッチすると、タッチした施設ランドマークが表示されます。

- 表示されている6つの施設ジャンルは、走行中に選択（解除）・追加することができます。

- 6つの施設ジャンルを変更することができます。変更方法の詳細については、P.4-3を参照してください。

- 6つの施設ジャンル以外の施設ランドマークを表示する場合は、**全ジャンル** にタッチして、次に表示された画面で複数ジャンルの施設の表示を設定することができます。

- 5種類まで施設ランドマークを表示させることができます。

- 間違えたときは **選択解除** にタッチすると、1施設ずつ消去されます。

- 選択されている施設にタッチすると、選択されていた施設が消去されます。

- **完了** にタッチすると、選択した施設ランドマークが表示されます。





お知らせ

施設ランドマークは、**800m** よりも広域な地図には表示されません。

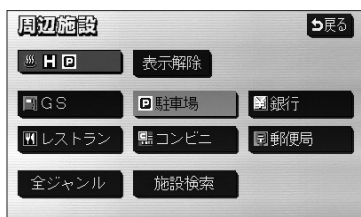
2 施設ランドマークを消去するには

地図上に表示されている施設ランドマークを消去します。



- (1) 現在地画面(P.2-9参照)、または地図画面(P.2-10参照)から **表示変更** にタッチします。

- (2) **周辺施設** にタッチします。



- (3) 現在選択している施設ジャンルにタッチにします。

- 走行中は、P.3-46の **1** の(3)の画面に表示されている6つの施設ジャンルのみ解除（消去）できます。
- 複数ジャンルの施設ランドマークを選択しているときに **表示解除** にタッチすると、すべて解除（消去）されます。

3 施設ランドマークの詳細情報を表示するには

地図上に表示されている施設ランドマークの名称や施設情報を表示します。



- (1) 現在地画面(P.2-9参照)、または地図画面(P.2-10参照)で表示されている施設ランドマークにタッチします。

- 枠が点滅している施設ランドマークの施設名称が表示されます。



(2) **情報** にタッチすると、施設情報画面が表示されます。

- 施設の個別情報（名称、住所、電話番号など）が表示されます。

施設情報		戻る
名称	中央区役所	
住所	東京都中央区築地1丁目	
TEL	03-3543-0211	
地点登録	目的地セット	

(3) **目的地セット** にタッチすると施設に目的地を設定することができます。

- **地点登録** にタッチすると、施設にメモリ地点を登録することができます。
- すでに目的地が設定されている場合は、**新規目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定することができます。P.2-28を参照してください。
- **追加目的地** にタッチすると、施設を現在設定されている目的地に追加して設定することができます。P.3-6を参照してください。

3 応用編

施設ランドマークを地図に表示するには



お知らせ

- 施設名称の表示は、約6秒間表示されると自動的に消去されます。
- 同一の建物に複数の施設が存在し、地図上の施設ランドマークが重なることがあります。その場合、施設ランドマークにタッチするごとに順番に施設名称が表示されます。
- 同一施設の部署・部門が別の施設として、個別にランドマーク表示されることがあります。
- **現在地** を押して現在地画面を表示した場合、P.3-46の **1** の (3) で選択した施設ジャンルすべての施設ランドマークが地図上に表示されます。



アドバイス

メモリ地点設定、販売店設定で表示した地図より (2) の操作を行ったときの施設情報画面には **セット** が表示されます。 **セット** にタッチすると、それぞれの地点の設定を行うことができます。

近くの施設を検索するには

選択したジャンルの施設位置を検索し、表示することができます。また、案内中のルート沿いに存在する施設のみを検索し、表示することができます。

1 近くの施設を検索するには



(1) 施設ランドマークが選択されている (P.3-46参照) とき、現在地(P.2-9参照)または地図画面(P.2-10参照)で **表示変更** にタッチします。

(2) **周辺施設** にタッチします。



(3) **施設検索** にタッチします。

- 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、現在地またはマークから施設までの直線距離が表示されます。

- 現在地から表示した場合は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを表示します。

- **種類順** にタッチするとリストが記号別に表示され、**距離順** にタッチすると現在地またはマークから近い順に表示されます。

(4) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

- **情報** にタッチすると施設情報画面が表示されます。(P.3-48参照)



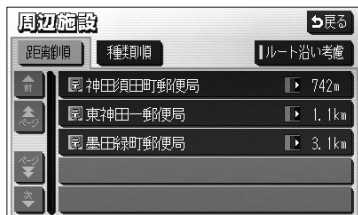
お知らせ

- 距離表示は、自車位置からの直線距離（現在地画面から近くの施設を検索した場合）またはマークからの直線距離（地図画面から近くの施設を検索した場合）です。
- 検索可能なのは、現在地またはマークから半径10km以内に存在する施設で、現在地またはマークから近い順に200件までです。
- 同一名称で複数の電話番号が登録されている場合、それぞれがリスト表示されます。

2 ルート沿いの施設を検索するには

- (1) **1**の(2)で **施設検索** にタッチして検索されたりスト画面で、**ルート沿い考慮** にタッチします。

- 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、ルートの進行方向に向かって存在する施設の位置および現在地からの道なり距離が表示されます。
- **種類順** にタッチするとリストが種類順に表示され、**距離順** にタッチすると現在地から近い順に表示されます。



- (2) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称と現在地からの道なり距離が表示されます。

- **情報** にタッチすると施設情報画面が表示されます。(P.3-48参照)



お知らせ

- 現在地画面、または地図画面上にルートが表示されていないときは、ルート沿いの施設検索は行われません。
- ルート沿いを考慮した施設リストに表示されるマークは、ルートの進行方向に向かった位置を示しています。
 - ▶ …… ルートの進行方向に向かって右側に施設が位置していることを示しています。
 - ◀ …… ルートの進行方向に向かって左側に施設が位置していることを示しています。
 - ⬇ …… ルートの進行方向に向かって後ろに施設が位置していることを示しています。

建物の情報を表示するには

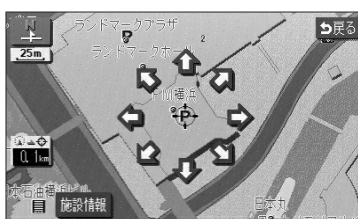
市街図を表示させたとき、建物単位での施設情報を見ることができます。



(1) 市街図を表示させます。

- 詳細は、P.2-20の「市街図を表示するには」を参照してください。

(2) 建物に  を合わせて **情報** にタッチします。



(3) **施設情報** にタッチします。

- 施設情報が表示されない場合や別の施設情報を表示させる場合は、 にタッチして  を移動させます。



- 右画面の市街図上に建物が立体的に表示され、施設情報が左画面に表示されます。

- 施設件数が複数存在する場合は、建物の名称や階数、建物に存在する施設件数が表示され、施設がリスト表示されます。

- 建物に複数階数がある場合は、建物内に存在するリスト最上部の施設（矢印で表示）の位置を、右画面の建物に青色で表示します。



(4) リスト表示されている施設にタッチすると左画面に施設情報画面が表示されます。施設情報画面の詳細はP.3-48の(3)を参照してください。



お知らせ

- 建物の情報は、市街図を表示させているときのみご覧になれます。
- 同一名称で複数の電話番号が登録されている場合、それぞれがリスト表示されます。

メモ

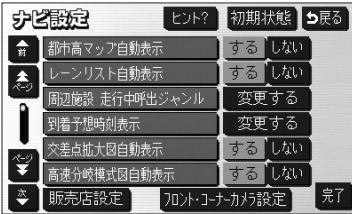
3
応用編

メモ

ナビ設定を行うには

利用状況に応じてナビゲーションの各種の設定を変えることができます。
よく使う機能を設定しておくくと便利です。

1 ナビ設定を行うには



- (1) 設定画面（P.2-8参照）で **ナビ設定** にタッチします。
- (2) リストの項目を動かして（P.3-1参照）各機能の設定を行います。
 - 各項目の設定内容については、**2**を参照してください。
 - **初期状態** にタッチすると、全ての項目が初期設定値に戻ります（下記**2**参照）。
- (3) 全ての設定が良ければ **完了** にタッチします。



お願い

販売店設定 にタッチしないでください。このスイッチは、本機をお車に取り付ける際に使用する販売店専用のスイッチです。販売店以外では操作しないでください。

2 ナビ設定の項目について（——は初期値を示します）

機能名	選択項目	機能名	選択項目
都市高マップ自動表示	<u>する</u> ／しない	3D俯角設定	変更する
レーンリスト自動表示	<u>する</u> ／しない	3D市街図ビル立体表示	<u>する</u> ／しない
周辺施設 走行中呼出ジャンル	変更する	立体ランドマーク表示	<u>する</u> ／しない
到着予想時刻表示	変更する	シーズンレジャーランドマーク表示	<u>する</u> ／しない
交差点拡大図自動表示	<u>する</u> ／しない	地図スクロール時の地名表示	<u>する</u> ／しない
高速分岐模式図自動表示	<u>する</u> ／しない	目的地直線表示	<u>する</u> ／ <u>しない</u>
3D交差点拡大図	<u>する</u> ／ <u>しない</u>	リアルワイドマップ表示	<u>する</u> ／ <u>しない</u>
2D 時フロントワイド	<u>する</u> ／ <u>しない</u>	交通事故多発地点マーク表示	<u>する</u> ／ <u>しない</u>
2D 時フロントワイド	<u>する</u> ／ <u>しない</u>	時計表示	<u>する</u> ／ <u>しない</u>
右画面の地図で表示	<u>する</u> ／ <u>しない</u>	自転車マーク	
3D 時のルート方向アップ	<u>する</u> ／ <u>しない</u>	料金案内	<u>する</u> ／ <u>しない</u>
昼の地図色	<u>ノーマル</u> ／ ハートフル／ブルー／グリーン／アタラシ	VICS渋滞・規制音声自動発声	<u>する</u> ／ <u>しない</u>
夜の地図色	<u>ノーマル</u> ／ ハートフル／ブルー／グリーン／アタラシ	自動音声案内	<u>する</u> ／ <u>しない</u>

機能名	選択項目	機能名	選択項目
県境案内	<u>する</u> ／しない	居眠り防止案内	<u>する</u> ／しない
踏切警告	<u>する</u> ／しない	自動再探索	<u>する</u> ／しない
合流警告	<u>する</u> ／しない	季節規制メッセージ表示	<u>する</u> ／しない
カーブ警告	<u>する</u> ／しない	車両情報設定	変更する
他モード時の案内	<u>する</u> ／しない	目的地履歴の消去	消去する
操作説明音声	<u>する</u> ／しない	ナビ補正	補正する
ハートフル音声	<u>する</u> ／しない	フロント・コーナーカメラ設定※1	

※1 別売のフロントカメラ（P.6-4参照）またはコーナーカメラ（P.6-9参照）を装着している場合に操作できます。選択項目の詳細については、P.6-5またはP.6-10を参照してください。

●都市高マップ自動表示

ルート案内中、自車が都市高速道路に進入すると自動で都市高マップ（P.2-37参照）を表示することができます。

都市高マップ



お知らせ

都市高マップは、200m から 1.6k までの地図縮尺で表示されます。

●レーンリスト自動表示

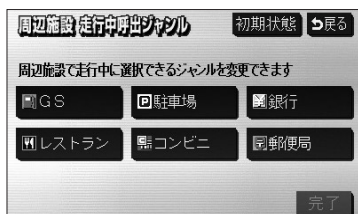
ルート案内中、案内分岐点に接近するとレーンリスト（P.2-34参照）を自動で表示することができます。

レーンリスト



●周辺施設 走行中呼出ジャンル

周辺施設（P.3-46参照）で走行中に選択できるジャンルを変更することができます。



(1) ジャンルを変更する場合は、P.4-1の **1** の (2) の画面で **変更する** にタッチします。

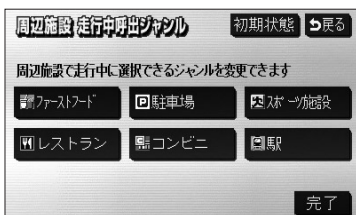
● 現在設定中のジャンルスイッチが表示されます。

(2) 変更したいジャンルのスイッチにタッチします。



● ジャンルリストが表示されます。

● 現在設定中のジャンルスイッチは、強調表示されます。



● **初期状態** にタッチすると走行中に選択できるジャンルの設定が初期状態に戻ります。

(3) 設定が良ければ **完了** にタッチします。

●到着予想時刻表示

ルート上を走行しているときに、目的地への到着予想時刻（P.2-31参照）を表示することができます。この到着予想時刻を計算する基準として、高速道路、有料道路（都市高速含む）、一般道路の各平均車速を設定することができます。



(1) 平均車速を設定するには、P.4-1の **1** の (2) の画面で **変更する** にタッチします。

(2) 設定したい道路種別の ◀ または ▶ にタッチすると平均車速を変更できます。

- ・ ◀ にタッチすると設定速度が遅くなります。
- ・ ▶ にタッチすると設定速度が速くなります。
- ・ 初期状態 にタッチすると、全ての平均車速設定が初期設定値（一般道30km/h、有料道路60km/h、高速道80km/h）に戻ります。

(3) 設定が良ければ 完了 にタッチします。



お知らせ

- 案内ルート上を走行していないときは、到着予想時刻の表示は行われません。
- 到着予想時刻の表示は自車の走行と時間の経過により随時更新されます。

●交差点拡大図自動表示

ルート案内中、分岐点に接近すると案内分岐点の拡大図（P.2-33参照）を自動で表示することができます。

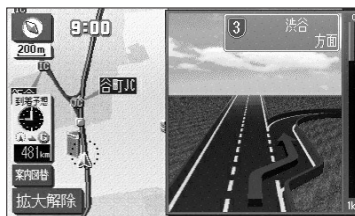
交差点拡大図



●高速分岐模式図自動表示

ルート案内中、高速道路のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると高速分岐案内図（P.2-35参照）を自動で表示することができます。

高速分岐模式図



●3D交差点拡大図

交差点拡大図の表示を2Dまたは3Dに切り替えることができます。

3Dの交差点拡大図



2Dの交差点拡大図



お知らせ

立体交差点拡大図、3D高速分岐拡大画面、ハイウェイ入口案内画面は、交差点拡大図の表示設定に関わらず常に3Dで表示されます。

●2D 時フロントワイド

ノースアップ (P.2-14参照) のとき、自車マークをフロントワイド (進行方向の地図を広く) 表示するか、しない (画面中央表示) が設定ができます。

する



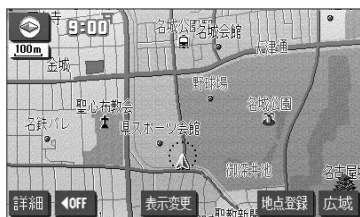
しない



●2D 時フロントワイド

ヘディングアップ (P.2-14参照) のとき、自車マークをフロントワイド表示するか、しない (画面中央表示) が設定ができます。

する



しない



●2D 時フロントワイド 右画面の地図で表示

2画面表示で右画面がヘディングアップ（P.2-18参照）のとき、自車マークをフロントワイド表示するか、しない（画面中央表示）が設定ができます。

する



しない



●3D 時のルート方向アップ

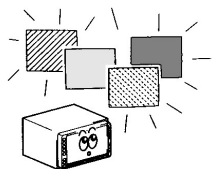
3D表示で案内ルート上を走行中に、地図向きをルート方向アップ（ルートの進行方向が画面上方となるような地図）表示に切り替えることができます。

ルート方向アップ表示



●昼の地図色／夜の地図色

昼画面（ライトスイッチOFF時のナビゲーション画面色）または夜画面（ライトスイッチON時のナビゲーション画面色）の地図表示色を変更することができます。



- **ノーマル**・**パープル**・**ブルー**・**グリーン**・**ブラウン** にタッチすると地図表示色を変更できます。

●3D俯角設定

3D表示（P.2-15参照）の視点角度を変更することができます。



- (1) 3D表示の視点角度を変更するには、P.4-1の **1** の (2) の画面で **変更する** にタッチします。

- (2) または により視点角度を変更できます。

- にタッチすると、視点の角度を上げることができます。

- にタッチすると、視点の角度を下げるすることができます。

- 視点角度は10段階に調整できます。

- **初期状態** にタッチすると、角度が初期設定の状態（下から4つ目の設定）に戻ります。

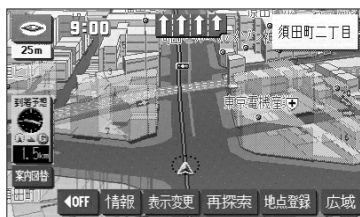
- (3) **セット** にタッチします。

- 設定した視点角度で表示されます。

●3D市街図ビル立体表示

3D表示で、25m の縮尺の市街図（P.2-20参照）を表示しているとき、建物の形状が立体的に表示された地図を表示することができます。

する



しない



●立体ランドマーク表示

地図上に特定施設の立体ランドマークを表示することができます。



- 800m より詳細の地図に立体ランドマークを表示します。
- 表示された立体ランドマークにタッチすると、施設が赤枠で強調され施設名称が表示されます。



●シーズンレジャーランドマーク表示

季節的に観光スポットとなる場所をマークで表示することができます。

シーズンレジャー
ランドマーク



お知らせ

- 季節によっては表示されないマークがあります。
- 地域によって季節に誤差があるため、マークが表示される時期と観光スポットの実際の観光シーズンが異なる場合があります。
- 地図の縮尺によって表示されない場合があります。

●地図スクロール時の地名表示

地図にタッチして地図を移動（スクロール）したときに、画面の中心付近の地名や道路名称、道路番号を表示することができます。

地名表示



お知らせ

地名表示は、**50m** から **6k** までの地図縮尺で表示されます。

●目的地直線表示

ルート案内中に現在地画面で、目的地方向への直線を表示します。

目的地直線表示



お知らせ

- 直線表示は、すべての地図縮尺で表示されます。
- 目的地が複数設定されている場合は、次の目的地の方向への直線を表示します。

●リアルワイドマップ表示

リアルワイドマップ（道幅を考慮した地図）を表示することができます。



しない



お知らせ

リアルワイドマップを表示しているときは、市区町村別で地図の色が分かれて表示されます。
(P.2-9参照)

●交通事故多発地点マーク表示

交通事故が多発する地点を地図上にマークで表示することができます。



—— 交通事故多発地点マーク



お知らせ

地図の縮尺によって表示されない場合があります。

●時計表示

地図を表示している画面に時計を表示することができます。

時計表示



お知らせ

GPSが受信されるまで表示時間がずれる場合があります。また、時計が表示されるまで時間がかかる場合があります。

●自車マーク

5種類のなかから好みの自車マークを変更することができます。

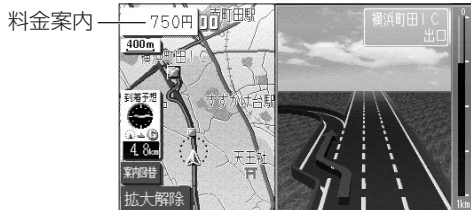


お知らせ

自車の方位修正画面（P.4-51参照）を表示しているときは、自車マークが  で表示されます。

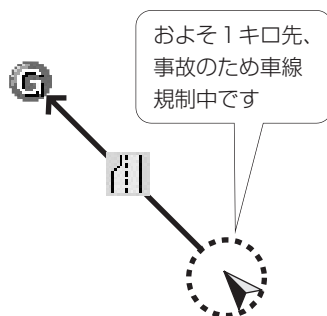
●料金案内

ルート案内中、料金所に接近すると料金案内（P.2-34参照）を表示することができます。



● VICS 渋滞・規制音声自動発声

案内ルート上に渋滞・規制が発生したときに、発生した **VICS** 情報の音声案内を自動で行うことができます。



4 設定編

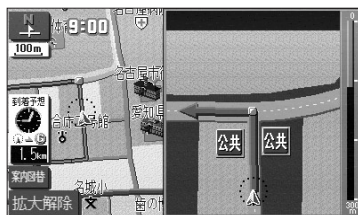


お知らせ

- **VICS** 情報の音声案内は、**VICS** 情報が消去されているときは案内されません。
- 案内される情報は、自車前方およそ10 kmまでの情報です。
- **VICS** の表示設定（P.4-43参照）が高速道だけに設定されていても、一般道の情報も案内されます（一般道だけに設定されているときも高速道の情報が案内されます）。

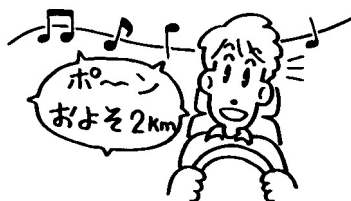
● 自動音声案内

ルート案内中、分岐点に接近したときなどに音声案内を自動で行うことができます。



●他モード時の案内

ラジオやテレビ画面を表示し、その音声を聞いているときにもナビゲーションの音声案内を聞くことができます。



●操作説明音声

画面の説明や誤った操作を行ったときの説明音声を音声案内させることができます。

ナビのいろいろな機能の設定ができます。



●ハートフル音声

その日初めてナビゲーションが立ち上がったときに「今日は6月3日火曜日です」、目的地に到着したときに「お疲れさまでした」などの気のきいた音声案内をさせることができます。

今日は6月3日
火曜日です。



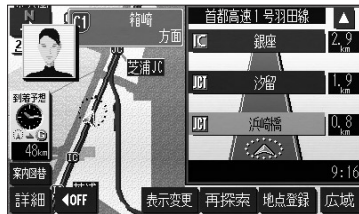
お知らせ

上記のハートフル音声は一般的なものであり、状況などにより異なった音声が出力されたり、出力されない場合があります。

●居眠り防止案内

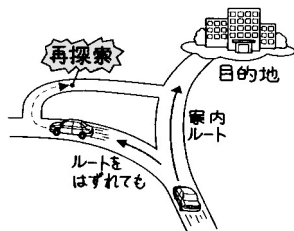
長時間のドライブ時などに音声案内を行い、注意を促します。

長時間の運転、
お疲れ様です。
安全運転を心掛
けましょう。



●自動再探索

案内ルートから自車が外れてしまった場合でも、自動で再探索を行い現在地から新しいルートを表示することができます。



お知らせ

自動再探索は、公園の敷地など探索対象の道路がないところでは動作しません。探索対象の道を自車が走行していると判断されたときのみ自動再探索を開始します。

●季節規制メッセージ表示

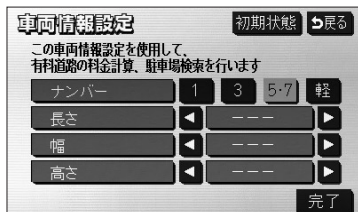
探索されたルートに季節規制区間（冬季通行止めなど）が含まれる場合、メッセージを表示することができます。規制区間を回避するルートを探索する方法については、P.2-26を参照してください。

季節規制メッセージ表示



●車両情報設定

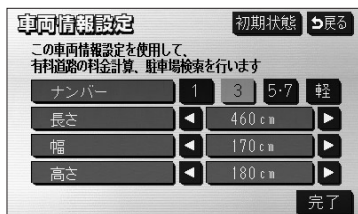
入庫可能な駐車場を検索するときの条件、および有料道路の料金を計算するときの基準となる車両情報を設定します。目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。



(1) 車両情報を設定するには、P.4-1の**1**の(2)の画面で **変更する** にタッチします。

(2) **1**、**3**、**5・7**、**軽** にタッチして、お使いの車両のナンバーを設定します。

● 初期設定は、**5・7** に設定されています。



(3) **◀**、**▶** にタッチして、車両の長さ、幅、高さを設定します。

● **初期状態** にタッチすると、車両情報設定が初期状態に戻ります。

(4) **完了** にタッチします。



お知らせ

車両情報の設定は、次の機能が行われるときの基準となります。

- ・ 入庫可能な駐車場の検索 (P.3-30参照)
- ・ 均一区間の料金表示 (P.2-9参照)
- ・ 現在地画面の料金案内 (P.4-10参照)
- ・ ルート情報画面の料金表示 (P.3-21参照)
- ・ 全ルート表示画面の合計料金表示 (P.2-29の**1**の画面、P.2-30の**2**の(4)の画面)

●目的地履歴の消去

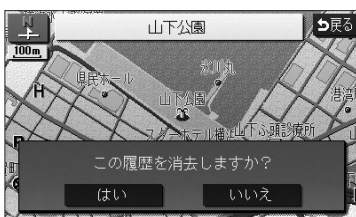
過去に設定した目的地の履歴（P.3-42参照）を消去することができます。



(1) 目的地履歴を消去するには、P.4-1の**1**の(2)の画面で **消去する** にタッチします。

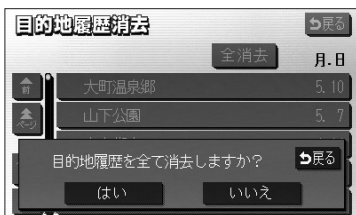
(2) 消去したい目的地履歴の名称にタッチします。

- すべての目的地履歴を消去するときは **全消去** にタッチします。



(3) **はい** にタッチすると目的地履歴が消去されます。

いいえ にタッチすると目的地履歴の消去を中止して、(2)の画面に戻ります。



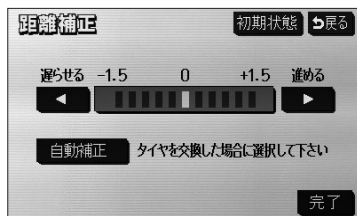
●ナビ補正

地図上の自車表示位置や方位と実際の自車位置がズレているときや、地図上の自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときに、これらのズレを修正することができます。

現在地の修正（P.4-51参照）



距離の補正（P.4-52参照）



ナビメニュー「新しく探す」をカスタマイズするには

ナビメニューの「新しく探す」(P.2-7参照)に表示されている、地図を呼び出すスイッチを、3種類選んで表示させることができます。使用頻度の高いスイッチを設定しておく、ナビメニューから簡単に検索方法を選べます。



(1) 設定画面 (P.2-8参照) で

新しく探すカスタマイズ にタッチします。



(2) ナビメニューに表示させたいスイッチにタッチします。

- 表示させたいスイッチを3つ選んでください。
- 選択されたスイッチに再びタッチすると選択を解除することができます。
- 設定済みのときに **初期設定** にタッチすると選択されたスイッチが初期状態(「施設」「住所」「電話番号」が選択された状態)に戻ります。



(3) 設定がよければ **完了** にタッチします。

(4) **戻る** にタッチします。

- ナビメニューに選択したスイッチが表示されます。

(5) **その他** にタッチすると、地図を呼び出す全てのスイッチを表示した画面(新しく探す画面 P.2-27参照)を表示します。

- (2)、(3) で選択したスイッチ以外でも目的地の設定を行うことができます。

ショートカットスイッチを設定するには

複数の操作によって表示される画面をショートカットスイッチとして設定することができます。ショートカットスイッチに設定しておくこと、地図上にスイッチが表示されワンタッチで表示したい画面を呼び出すことができます。



- (1) 設定画面（P.2-8参照）で **ショートカット設定** にタッチします。



- (2) ショートカットに設定したいスイッチにタッチします。
ここでは **音量設定** にタッチします。

- 設定済みのときに **設定解除** にタッチするとショートカットの設定が解除されます。



- **音量設定** がショートカットに設定されました。



- 地図画面上にショートカットスイッチが表示されます。

ショートカットスイッチ



お知らせ

全ルート をショートカットに設定したときは、ルート案内中のときのみ動作します。

メモリ地点を登録・修正・消去するには

忘れたくない地点を地図帳にマークするように、最大106ヵ所までマーキングできる機能です。

メモリ地点を登録しておく、登録地点周辺の地図を簡単に表示できます。

また、登録したメモリ地点は位置変更したり消去することができます。

1 現在地を登録する



(1) 現在地画面(P.2-9参照)で **地点登録** にタッチします。

- その時点での自車マークの位置がそのまま登録されます。
- この場合は地点記号が  となります。



お知らせ

高速道路上のルートを案内中にメモリ地点を現在地に登録した場合は、地点記号が  と（方向付き登録記号）となります。

2 地図画面から登録する

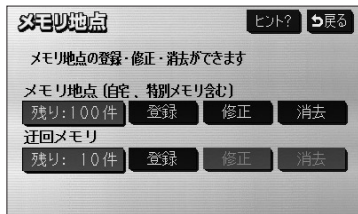


(1) 地図スクロール、**詳細** または **広域** 操作によりメモリ地点を登録したい位置に  を合わせ、スケール表示が **800m** より詳細な地図で **地点登録** にタッチします。

- この場合は地点記号が  となります。

3 地図索引機能を使ってメモリ地点を登録する

(1) 設定画面（P.2-8参照）で **メモリ地点** にタッチします。



(2) メモリ地点の **登録** にタッチします。



(3) 地図の呼び出し方を選択します。

- **50音** P.3-29
- **施設** P.3-33
- **住所** P.3-39
- **電話番号** P.3-35
- **郵便番号** P.3-38
- **マップコード** P.3-43
- **メモリ地点** P.3-41
- **履歴** P.3-42
- **周辺施設** P.3-44

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。



- (4)  にタッチすると、地図が移動して  の位置を変更することができます。
- (5) スケール表示が **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチします。

(6) **完了** にタッチします。

- 修正・入力をするときは、それぞれの項目にタッチします。

- **マーク** P.4-22
- **名称** P.4-25
- **する** / **しない** (地図上の名称表示) P.4-28
- **位置** P.4-24
- **電話番号** P.4-24

4 メモリ地点を修正するには

(1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-20の **3** の
(2) の画面でメモリ地点の **修正** にタッチします。

(2) メモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。

- ・ **種別順** にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並び替わります。
- ・ **マーク順** にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
- ・ **登録順** にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。

(3) 修正・入力する項目にタッチします。

- **マーク** P.4-22
- **名称** P.4-25
- **する** / **しない** (地図上の名称表示) P.4-28
- **位置** P.4-24
- **電話番号** P.4-24

5 地図画面からメモリ地点を修正するには



メモリ地点情報 戻る

名称 東京ディズニーランド

住所 千葉県浦安市舞浜付近

TEL 0456833333

修正 目的地セット

(1) 地図上に表示されているメモリ地点マークにタッチして **情報** にタッチします。

(2) **修正** にタッチすると、**4** の (3) を表示します。

- **目的地セット** にタッチすると、目的地に設定することができます。
- すでに目的地が設定されている場合は、**新規目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され新たな目的地として設定されます。P.2-28を参照してください。
- **追加目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。P.3-6を参照してください。

6 メモリ地点の記号を変更するには

登録したメモリ地点の記号を、お好みの記号に変更することができます。

メモリ地点修正 戻る

種別順 マーク順 登録順

↑ 前

↓ 次

↓ ページ

↑ 前

↓ 次

大黒ふ頭中央公園

東京ジョイフル

東京都港区赤坂付近

愛知県庁

東京国際空港・国際線

(1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-20の **3** の (2) の画面でメモリ地点の **修正** にタッチします。

(2) メモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
 - ・ **種別順** にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並び替わります。
 - ・ **マーク順** にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
 - ・ **登録順** にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。

(3) **マーク** にタッチします。

メモリ地点修正 戻る

マーク 種別 自宅・特別メモリに種別変更

名称 愛知県庁

地図に名称表示する する しない

位置 名古屋市中区三の丸付近

マップコード (4349214×56)

電話番号 0529612111

完了



(4) お好きな登録記号にタッチすると、メモリ地点の記号が変更されます。

- **マーク2** にタッチすると、別の記号の画面に切り替わり、お好きな記号を選択することができます。
- マーク2の**マーク無し**にタッチすると、記号の登録をしないでメモリ地点が登録されます。



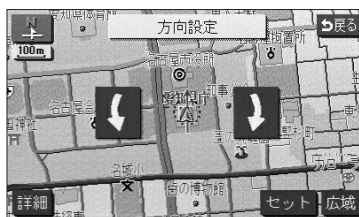
(5) **音声付き** にタッチして **方向付きメモリ** にタッチすると、自車が指定した方向からメモリ地点に約500mまで接近したときのみ音が鳴るようにすることができます。

4 設定編

メモリ地点を登録・修正・消去するには



- **音確認** にタッチすると、音声付き登録記号の音を確認することができます。



- **↓** または **↓** にタッチして **↑** を設定する方向に合せます。
- **セット** にタッチすると、**↑** の位置にメモリ地点が **↑** の記号で登録されます。

7 メモリ地点の位置を修正するには

登録したメモリ地点の位置を変更することができます。

- (1) P.4-21の**4**の(2)の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。
- (2) **位置** にタッチします。



お知らせ

メモリ地点を登録すると、登録した地点のマップコードがメモリ地点の位置に表示されます。



- (3) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。
- (4) スケール表示が **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチすると の位置にメモリ地点が登録されます。

8 メモリ地点に電話番号を登録するには

登録したメモリ地点に電話番号を登録することができます。電話番号を登録すると、電話番号で地図を表示する (P.3-35参照) ことができます。

- (1) P.4-21の**4**の(2)の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。
- (2) **電話番号** にタッチします。

(3) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。

(4) **完了** にタッチします。



お知らせ

P.4-20の**3**の(3)で **50音**、**施設**、**電話番号** から表示した施設をメモリ地点に登録した場合は、表示した施設の電話番号がメモリ地点の電話番号として自動的に登録されます。

9 メモリ地点に名称を付けるには

(1) P.4-21の**4**の(2)の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。

(2) **名称** にタッチします。

(3) 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法はP.4-26～4-27を参照してください。

(4) 文字を入力したあと **完了** にタッチします。



お知らせ

- メモリ地点の名称は、最大12文字（半角24文字）まで文字を入力することができます。
- P.4-20の**3**の(3)で **50音**、**施設**、**電話番号**、**郵便番号** から表示した施設をメモリ地点に登録した場合は、表示した施設の名称がメモリ地点の名称として自動的に登録されます。

ひらがな、漢字を入力するとき



- (1) **かな** にタッチして入力画面を切り替えます。
- (2) 名称を1文字ずつタッチして入力します。
 - 修正するときは **修正** にタッチすると1文字ずつ消去されます。
 - 空白の文字を入れるには **スペース** にタッチします。
 - 文字を入力したあと、**変換** にタッチすると文字を漢字変換することができます。漢字変換しないときは **無変換** にタッチします。
- (3) **変換** にタッチすると、変換する漢字の候補がリスト表示されます。
- (4) **◀** または **▶** にタッチすると、漢字変換する文字の範囲を変更することができます。現在変換されている文字で設定するには **全確定** にタッチします。
- (5) 変換したい漢字にタッチします。

カタカナを入力するとき



- (1) **カナ** (カタカナ) にタッチして入力画面を切り替えます。
- (2) 名称を1文字ずつタッチして入力します。
 - **半角** (または **全角**) にタッチすると、入力文字を半角文字 (または全角文字) に切り替えることができます。
 - 修正するときは **修正** にタッチすると1文字ずつ消去されます。
 - 空白の文字を入れるには **スペース** にタッチします。

英字、数字を入力するとき



(1) **英数字**（英字、数字）にタッチして入力画面を切り替えます。

(2) 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- **小文字**（または **大文字**）にタッチすると、入力文字を小文字（または大文字）に切り替えることができます。
- **半角**（または **全角**）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは **修正** にタッチすると1文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには **スペース** にタッチします。

数字、記号を入力するとき



(1) **数記号**（数字・記号）にタッチして入力画面を切り替えます。

(2) 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 他のページを見たいときは、▼または▲にタッチします。
- **半角**（または **全角**）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは **修正** にタッチすると1文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには **スペース** にタッチします。

10 メモリ地点の名称を地図上に表示するには

登録したメモリ地点の名称を地図画面上に表示することができます。

(1) P.4-21の**4**の(2)の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。

(2) 「地図に名称表示する」の **する** または **しない** にタッチします。



お知らせ

メモリ地点の名称は、**800m** より詳細な地図で表示することができます。

11 登録したメモリ地点を自宅やよく行く場所(特別メモリ)に変更するには

自宅やよく行く場所(特別メモリ)に登録すると、ナビメニュー（P.2-7参照）からワンタッチで目的地までのルートを設定することができます。

(1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-20の **3** の(2)の画面で、**修正** にタッチします。

(2) 種別を変更したいメモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並び方をさせることができます。

- ・ **種別順** にタッチすると、自宅、よく行く場所(特別メモリ)、メモリ地点の順に並び替わります。

- ・ **マーク順** にタッチすると記号の種類別に並び替わります。

- ・ **登録順** にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。

(3) **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。

(4) 自宅またはよく行く場所(特別メモリ)1、2のいずれかにタッチします。

- すでに自宅またはよく行く場所(特別メモリ)が登録されているときはメッセージが表示されます。現在の登録地点を種別なしに変更して登録するときは **はい** にタッチします。現在の登録地点を種別なしに変更しないときは **いいえ** にタッチしてください。

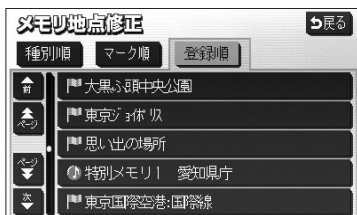


お知らせ

自宅1カ所、よく行く場所(特別メモリ)2カ所はメモリ地点登録数106カ所に含まれます。すでに106カ所登録されているときはメモリ地点を消去してから登録してください。

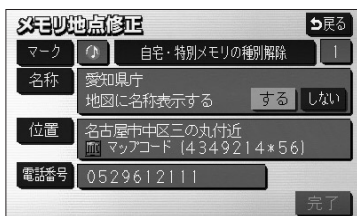
12 自宅やよく行く場所(特別メモリ)を解除するには

自宅やよく行く場所(特別メモリ)に登録した地点をメモリ地点に変更することができます。



(1) P.4-20の **3** の(2)の画面で、**修正** にタッチします。

(2) 自宅・よく行く場所(特別メモリ)を解除したい地点の名称にタッチします。



(3) **自宅・特別メモリの種別解除** にタッチします。



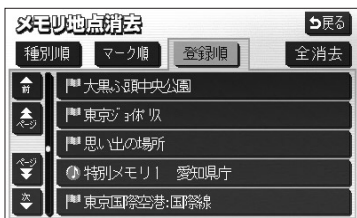
(4) **はい** にタッチします。

● **いいえ** にタッチすると(3)の画面に戻ります。

13 メモリ地点を消去するには

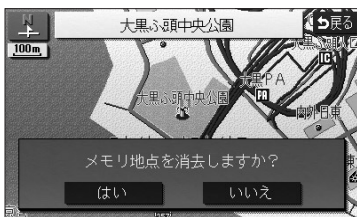
登録したメモリ地点を消去することができます。

- (1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-20の **3** の
- (2) の画面でメモリ地点の **消去** にタッチします。

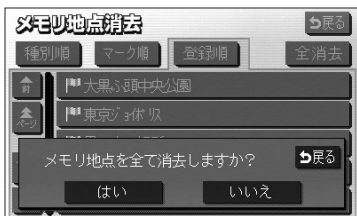


- (2) 消去したいメモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
 - ・ **種類順** にタッチすると、自宅、よく行く場所(特別メモリ)、メモリ地点の順に並び替わります。
 - ・ **マーク順** にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
 - ・ **登録順** にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。
- 全てのメモリ地点を消去するには **全消去** にタッチします。



- (3) **はい** にタッチするとメモリ地点が消去されます。
いいえ にタッチすると、メモリ地点の消去を中止して (2) の画面に戻ります。

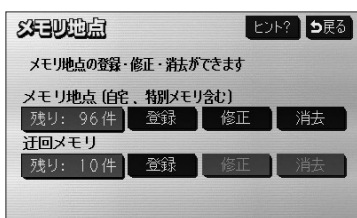


迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには

目的地までのルートで、迂回したい地点およびエリアを登録することができます。
迂回メモリを登録しておくと、登録した地点またはエリアを回避するルートを探索することができます。また、登録した迂回メモリは位置修正したり消去することができます。

1 迂回メモリを登録するには

(1) 設定画面（P.2-8参照）で **メモリ地点** にタッチします。



(2) 迂回メモリの **登録** にタッチします。



(3) 地図の呼び出し方を選択します。

- **50音** P.3-29
- **施設** P.3-33
- **住所** P.3-39
- **電話番号** P.3-35
- **郵便番号** P.3-38
- **マップコード** P.3-43
- **メモリ地点** P.3-41
- **履歴** P.3-42
- **周辺施設** P.3-44

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。



(4) ↑ にタッチすると、地図が移動して ➊ の位置を変更することができます。

(5) スケール表示が **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチします。



(6) ▲ または ▼ にタッチして、迂回メモリのエリアを選択します。

- 最下段の **×** を選択すると、(5) で **セット** にタッチした地点が迂回メモリとして登録されます。



お知らせ

詳細 または **広域** 操作により地図縮尺を切り替えると、エリアを示す正方形枠の大きさが固定したまま地図が切り替わります。

(7) スケール表示が **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチします。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。
- 登録した迂回メモリは、地図画面上に **■** または **□** (範囲) で表示されます。



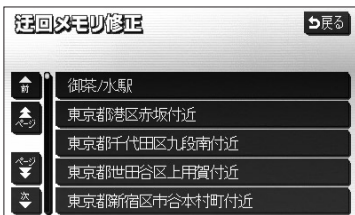
お知らせ

- 迂回メモリは10カ所まで登録することができます。
- 次のような場合は、迂回エリア内を通るルートが探索されることがあります。
 - ・ 迂回エリア内に自車または目的地（通過道路も含む）が存在する場合。
 - ・ 自車位置から目的地（通過道路も含む）までが一本道であるなどの理由により、迂回エリアを回避するルートが探索できない場合。
- 迂回エリア内に存在する高速道路は、迂回する対象にはなりません。
高速道路を迂回するルートを探するには、**1**の（6）で迂回メモリのエリアを  に設定してください。

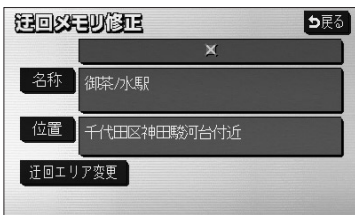
2 迂回メモリに名称を付けるには

登録した迂回メモリの名称を変更することができます。

- （1） 迂回メモリが登録されているとき、P.4-32の **1** の（2）の画面で迂回メモリの **修正** にタッチします。



- （2） 迂回メモリの名称にタッチします。



- （3） **名称** にタッチします。



- （4） 名称を1文字ずつタッチして入力します。
 - 文字の入力方法はP.4-26～4-27を参照してください。
- （5） 文字を入力したあと **完了** にタッチします。



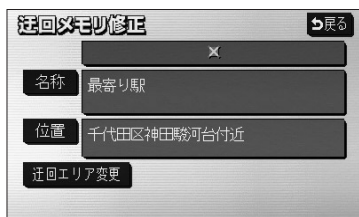
お知らせ

迂回メモリの名称は、最大12文字（半角24文字）まで文字を入力することができます。

3 迂回メモリの位置を修正するには

登録した迂回メモリの位置を変更することができます。

- (1) P.4-34の **2** の (2) の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。



- (2) **位置** にタッチします。

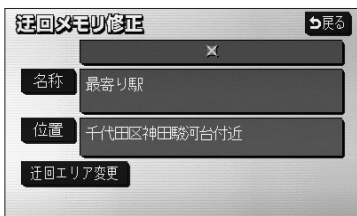


- (3)  にタッチして、迂回メモ리를登録する位置に地図を動かします。
- (4) スケール表示 **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチすると、 の位置に迂回メモ리가登録されます。

4 迂回メモリのエリアを変更するには

登録した迂回メモリのエリアを変更することができます。

- (1) P.4-34の2の(2)の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。



- (2) **迂回エリア変更** にタッチします。



- (3) ▲ または ▼ にタッチして迂回メモリのエリアを選択します。

- 現在登録されている迂回メモリは  または  (範囲) で表示されます。

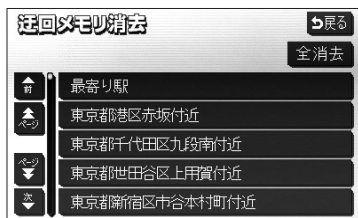
- (4) **セット** にタッチします。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。

5 迂回メモリを消去するには

登録した迂回メモリを消去することができます。

- (1) 迂回メモリが登録されているとき、P.4-32の **1** の
(2) の画面で迂回メモリの **消去** にタッチします。



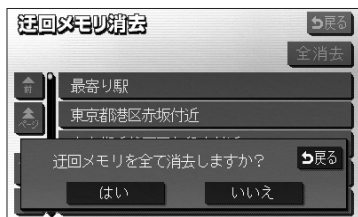
- (2) 消去したい迂回メモリにタッチします。

- 全ての迂回メモリを消去するには **全消去** にタッチします。



- (3) **はい** にタッチすると迂回メモリが消去されます。
いいえ にタッチすると、迂回メモリの消去を中止して (2) の画面に戻ります。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。



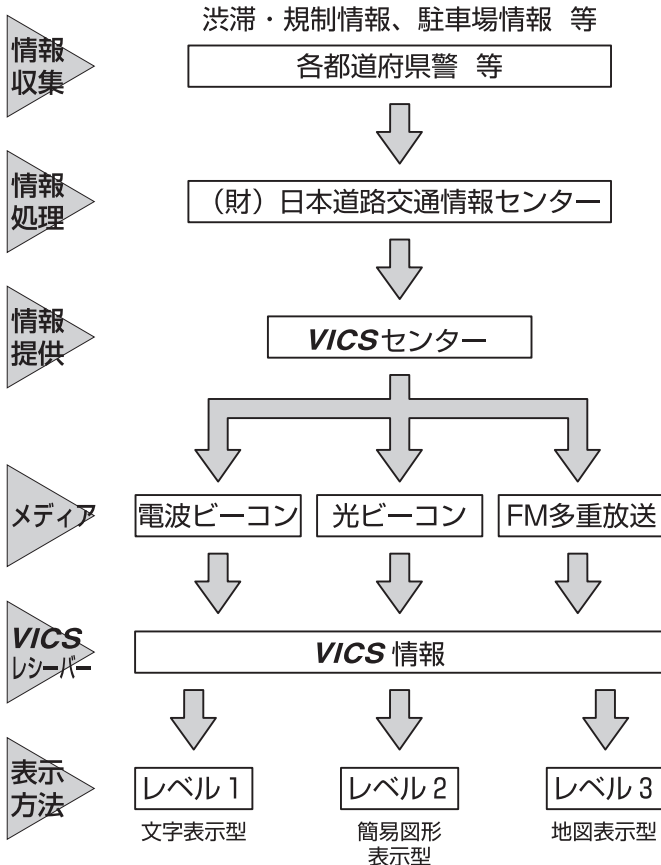
VICSを使うには

●VICSについて

VICS (Vehicle Information and Communication System : 道路交通情報通信システム)は、渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に表示するシステムです。また道路交通情報の提供を通して、安全性の向上、交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

本機に付与された  **vics** のロゴマークは、財団法人 道路交通情報通信システムセンター (**VICS** センター) の登録商標です。

●VICSサービスのしくみ



●VICIS 情報の表示



VICIS 情報は、走行中も表示されますが注視しないでください。
ハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。



文字による **VICIS** 情報を表示します（レベル1）。



図形による **VICIS** 情報を表示します（レベル2）。



地図上に **VICIS** 情報を重ねて表示します（レベル3）。

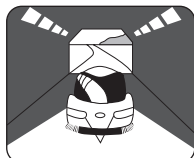


お知らせ

- 本機は、FM多重放送の **VICIS** 情報を受信できます。
- FM多重の電波の弱い地点では、**VICIS** 情報を受信するのに時間がかかる、または受信できないことがあります。
- 本機は、電波ビーコン、光ビーコンによる **VICIS** 情報の受信には対応していません。

FM多重放送の受信について

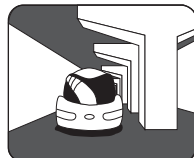
- FM多重放送は、放送局からの電波が届く広い範囲の車両に情報の提供をおこないます。
- 次のような場所では受信できないことがあります。



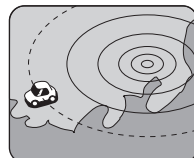
トンネルの中



密接するビルなどの間



高架道路の下



サービスエリア外

注：FM多重の場合、一定周期で情報が更新されますので揃うのに時間がかかる場合があります。
(約3分程度)

30分以上経過した古い情報は自動的に消去されますのでご注意ください。

●VICSサービスエリアと地図ディスクについて

- ・VICSサービスエリア
 - ・VICSのサービスエリアの詳細については、別紙の「地図データベースについて」をご覧ください。
- ・VICSによる交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は、毎年、追加・更新・削除されます。削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。より正確に情報を表示するためには、最新の地図ディスクをご使用いただく必要があります。地図ディスクに関しては、最寄りの販売店にご相談ください。

●VICSの運用時間

情報提供時間 ・ FM多重：24時間（但し、第1、第3月曜日の午前1時から5時までは、保守の為に放送を休止いたします。時間につきましては、あらかじめVICS FM多重放送の「お知らせ」メニューでご案内いたします）

※ 運用時間は予告なく変更されることがあります。

●VICSの問い合わせ先

- ・VICSサービスエリアに関するもの
 - ・その他、上記に類するもの
- これらの内容の問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- ・VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは（財）VICSセンターへお問い合わせください。（但し、地図表示型の表示内容は除く）

（財）VICSセンター

電話受付 <受付時間 09：30～17：45（土曜、日曜、祝祭日を除く）>

電話番号 0570 - 00 - 8831（全国）

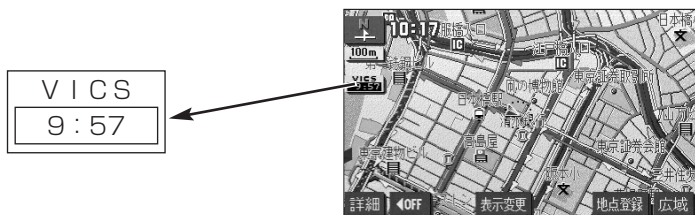
携帯・PHS専用 03 - 3592 - 2033（東京）

06 - 6209 - 2033（大阪）

FAX 受付 <受付時間24時間>

FAX 番号 03 - 3592 - 5494

●VICSタイムスタンプ表示について



- ・ **VICS** 情報を表示するように設定してください。
(P.4-43の「**VICS** 情報を地図に表示・消去するには」を参照してください)
- ・ タイムスタンプは**VICS** 情報を受信すると自動的に現在地画面・地図画面の左中央に情報提供時刻が表示されます。また、**VICS** 情報が継続受信できないと約30分で自動的に消去され、表示が「--:--」になります。
- ・ **VICS** 情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が「--:--」になります。
- ・ ルート上に渋滞情報が存在する場合、**VICS** の渋滞情報にしたがってタイムスタンプ内の時刻表示の背景色が切り替わります。手動による再探索が行われたあとのルート上に、**VICS** の渋滞情報が存在しなくなるとタイムスタンプ内の時刻表示の背景色は無色になります。
- ・ タイムスタンプ内の時刻表示の背景色とスイッチ表示については以下のとおり。
 赤色・・・ルート上に渋滞情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示となり、タッチすると渋滞情報を音声で案内します。
 橙色・・・ルート上に混雑情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示になりません。タッチすると地図が移動します。
 黄色・・・ルート上に規制情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示となり、タッチすると規制情報を音声で案内します。
- ・ タイムスタンプの時刻表示は、**VICS** 情報が提供された時刻を表しており、**VICS** 情報を受信した時刻ではありません。
- ・ 本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や長時間バッテリーを外しておいた場合などは、「**VICS** 情報を地図に表示・消去するには」(P.4-43)を確認して新しい**VICS** 情報を再度受信するまでお待ちください。

●地図上に表示されるVICS情報について

1 渋滞情報

渋滞度	表 示	内 容	表示縮尺
渋滞	 赤色	交通の流れが非常に悪い状態	25m ~800m
混雑	 橙色	交通の流れがやや悪い状態	
渋滞なし	 水色	交通の流れが良い状態	

※スケール表示が **800m** の地図を表示しているときは、渋滞情報は全て「」（矢印なし）で表示します。

2 事象・規制情報

①代表的な VICS マーク

マーク	規制内容	表示縮尺
	通行止め・閉鎖	25m~800m
	入口閉鎖	25m~800m
	事 故	25m~200m
	工 事	25m~200m

※上記以外のVICSマークの種類については、右表を参照してください。

②規制範囲

マーク	内 容	表示縮尺
	通行止めの区間	25m~800m

3 駐車場・PA情報

渋滞度	表 示	内 容	表示縮尺
空車	 青色	利用が可能な状態	25m ~800m
満車	 赤色	ほぼ満車の状態	
混雑	 橙色	利用率が高い状態	
不明	 黒色	駐車場情報がない状態	25m ~400m
閉鎖		閉鎖されている状態	

参考：VICS マークの種類

マーク	内 容
	故障車
	路上障害
	凍結
	作業
	大型通行止め
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面交通
	車線規制
	徐行
	入り口制限
	オフランプ規制
	速度規制 (10km/h)
	イベント (行事など)
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	火災
	雨
	雪
	駐車場
	パーキングエリア
	注意

1 VICS情報を地図に表示・消去するには

表示している地図に渋滞情報や規制情報を表示・消去することができます。



(1) 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

(2) **VICS** にタッチします。



(3) **VICS** 情報を表示させたい道路のタッチスイッチにタッチします。

- **一般道のみ** にタッチすると、一般道路に関する **VICS** 情報のみを表示します。
- **高速道のみ** にタッチすると、高速道路に関する **VICS** 情報のみを表示します。
- **全て** にタッチすると、一般道路と高速道路に関する **VICS** 情報を表示します。
- 初期設定では、**全て** が強調表示されています。
- 渋滞情報、規制情報、駐車場情報のマークが表示されます。(P.4-42を参照してください)
- **VICS** 情報が画面に表示されているときは、その **VICS** 情報が提供された時間を示すタイムスタンプが表示されます。



お知らせ

VICS 情報は **800m** よりも広域な地図には表示されません。



- (4) **VICS** 情報を消去する場合は **非表示** にタッチします。



- 「**VICS**の情報を消去します」のメッセージが表示され渋滞情報、規制情報、駐車場情報のマークが消去されます。

2 **VICS** 情報の詳細情報を表示するには

地図上に表示されている **VICS** マークの詳細情報を確認することができます。



- (1) **VICS** 情報が表示されている現在地画面(P.2-9参照)または地図画面(P.2-10参照)で、**VICS** マークにタッチします。



- 規制情報、駐車場マークの詳細情報が表示されます。



お知らせ

- 詳細情報は一定時間後、自動的に消去されます。
- 施設マークが表示されている場合、施設の詳細情報も表示されます。
- 駐車場情報は一部のエリアでしか提供されていません。

3 高速路図画面にVICS情報を表示するには

高速路図画面に渋滞情報や規制情報を表示することができます。



- (1) 高速路図画面表示中(P.2-21 参照)にP.4-43の **1** の (3) の画面で、**VICS** 情報を表示させたい道路にタッチします。

- 高速路図画面には、どの道路にタッチしても高速道路の**VICS** 情報が表示されます。

- 渋滞情報、規制情報マークが表示されます。(P.4-42を参照してください)



4 VICS文字情報を表示するには



- (1) 設定画面 (P.2-8参照) で **VICS** にタッチします。

- (2) **FM文字** にタッチして、文字情報メニュー画面を表示させます。

- 表示させたい内容の番号にタッチすると選択した番号の文字情報が表示されます。

- (3) 文字情報を複数ページ受信したときは、**▲**・**▼** にタッチすることでページを送ることができます。

- **自動送り** にタッチすると一定時間表示後、自動的に次のページを表示します。中止するときは、**停止** にタッチします。

- **目次** にタッチすると文字情報メニュー画面が表示されます。



お知らせ

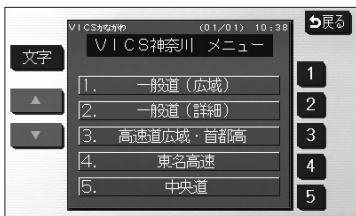
- 走行中に自動送りを行うことはできません。
- **図形** にタッチすると図形情報メニュー画面が表示されます。

5 VICS 図形情報を表示するには



(1) 設定画面 (P.2-8参照) で **VICS** にタッチします。

(2) **FM 図形** にタッチして、図形情報メニュー画面を表示させます。



● 表示させたい内容の番号にタッチすると選択した番号の図形情報が表示されます。

(3) 図形情報を複数ページ受信したときは、**▲**・**▼** にタッチすることでページを送ることができます。

● **自動送り** にタッチすると一定時間表示後、自動的に次のページを表示します。

● **目次** を押すと図形情報メニュー画面を表示します。



お知らせ

- 走行中に自動送りを行うことはできません。
- **文字** にタッチすると文字情報メニュー画面が表示されます。



注意

VICS 文字・図形情報は、走行中も表示されますが注視しないでください。
ハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

6 割込情報（緊急情報）受信したときには



(1) 割込情報を受信するとピープ音が鳴り、直ちに画面が表示されます。

● **表示消** にタッチするとメッセージは消去されます。

● **文字** または **図形** にタッチすると、文字情報または図形情報に表示を切り替えます。



アドバイス

割込情報を複数ページ受信したときは、▲・▼ にタッチするとページを変えることができます。

7 割込情報（緊急情報）を再表示するには



(1) P.4-45の **4** の (2) の画面で **割込情報** にタッチします。

- P.4-46の **6** で受信した割込情報が再表示されます。



お知らせ

再表示させた場合の割込情報画面には **表示消** スイッチは表示されません。



アドバイス

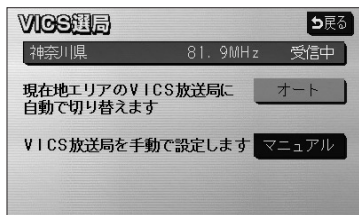
割込情報が複数ページあるときは、▲・▼ にタッチするとページを変えることができます。

8 自動選局するには

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると自動的に放送局が切り替わります。



(1) P.4-45の **4** の (2) の画面で **VICS選局** にタッチします。



(2) **オート** にタッチします。

- 初期設定は、オート（自動選局）に設定されています。

9 エリア選択で選局するには

選択した都道府県の放送局が受信されます。受信状態が変わると、選択した都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。



(1) P.4-45の **4** の(2)の画面で **VIC S選局** にタッチします。

(2) **マニュアル** にタッチします。



● 選局できる放送局エリアがリスト表示されます。

(3) 受信したい放送局のあるエリアにタッチします。

● **▲**・**▼** にタッチして希望する放送局エリアを選択します。

10 周波数を指定して選局するには

選択した周波数の放送局が受信されます。受信状態が変わっても放送局は切り替わりません。



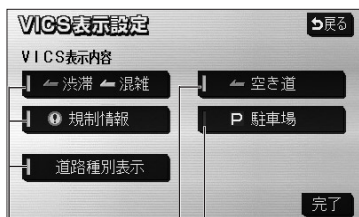
(1) P.4-45の **4** の(2)の画面で **VIC S選局** にタッチします。

(2) **マニュアル** にタッチします。



(3) **▼TUNE**・**▲TUNE** にタッチして希望する周波数を指定します。

11 地図に表示するVICS情報を設定するには



作動表示灯
点灯 (黄色)

作動表示灯
非点灯 (灰色)

(1) P.4-43の 1 の (3) の画面で **表示設定** にタッチします。

(2) それぞれの項目に対してタッチします。

- タッチすると作動表示灯が点灯し (黄色)、表示設定ONになります。
- 初期設定では、駐車場の表示設定のみOFFになっています。
- それぞれの情報については、P.4-42を参照してください。

(3) **完了** にタッチします。

● VICS 情報表示中の道路色について (道路種別表示)

VICS レベル 3 情報表示中に、VICS 表示対象道路と非対象道路を色分けして表示する (道路種別表示「OFF」) か、VICS 情報非表示時と同様に、道路の種類 (国道、高速道路、主要地方道、一般都道府県道など) で色分けして表示する (道路種別表示「ON」) かを設定できます。



お知らせ

道路種別表示「OFF」時は、VICS情報表示時、地図上の高速道路は紫色、VICS情報提供対象道路は緑色、それ以外の道路は灰色で表示されています。

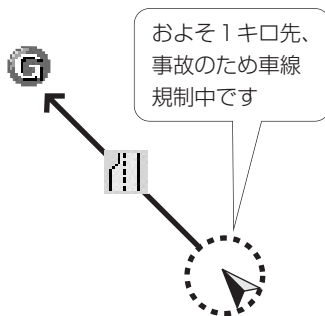
12 **VICS** 情報の音声案内をもう一度聞きたいときは

案内ルート上に渋滞や規制が発生したときに発声される **VICS** 情報の音声案内を再び聞くことができます。



- (1) **VICS** 情報を表示しているときに、 を押す、または、タイムスタンプ (P.4-41 参照) にタッチします。

- **VICS** 情報の音声案内が発声されます。



お知らせ

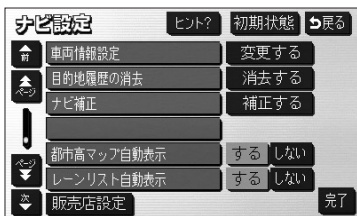
- 案内ルート上に渋滞・規制が発生したときに、発生した **VICS** 情報を自動で音声案内することができます (P.4-1 参照)。
- **VICS** 情報の音声案内は、**VICS** 情報が消去されているときは案内されません。
- 案内される情報は、自車前方およそ10 kmまでの情報です。
- **VICS** の表示設定 (P.4-43) が高速道だけに設定されていても、一般道の情報も音声案内されます。(一般道だけに設定されているときも高速道の情報が音声案内されます)

補正機能

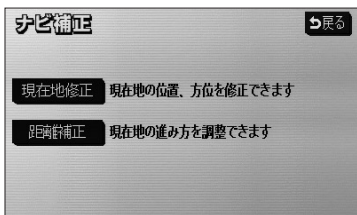
1 現在地を修正するには

地図上の自転車表示位置や方位と実際の自転車位置がズレているとき、このズレを修正することができます。

(1) 設定画面 (P.2-8参照) で **ナビ設定** にタッチします。



(2) ナビ補正の **補正する** にタッチします。



(3) **現在地修正** にタッチします。



(4) ↑ にタッチして ⬇ マークを修正したい位置に移動させます。

● スケール表示が **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチします。



(5) ⬇ ・ ⬇ にタッチして自転車マークの方向を修正します。

● ⬇ にタッチすると反時計回りに、⬇ にタッチすると時計回りに自転車マークが回転します。

● スケール表示が **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチします。



お知らせ

GPS電波を受信すると修正された位置、方位とは関係なく、正しい位置および方位に修正されます。

2 タイヤを交換したときには

タイヤを交換した際などには自車位置の表示がズれる場合があります。また、地図上の自車位置と実際の現在地がズれているとき、このズレを自動補正し、精度よくお使いいただくことができます。



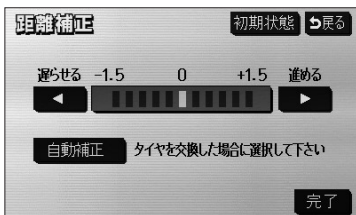
(1) **1** の (3) の画面で **距離補正** にタッチします。

(2) **自動補正** にタッチします。

- 自動補正のときは、タッチスイッチが強調表示されます。

3 自車マークの進み方と実際の進み方がズれているときには

走行中、地図上の自車マークの進み方と実際の進み方がズれているときにこのズレを手動で調節することができます。



(1) **1** の (3) の画面で **距離補正** にタッチします。

(2) 地図上の自車マークが実際の進み方よりも進みすぎのときは **◀** にタッチし、遅れすぎのときは **▶** にタッチして調節します。

(3) **完了** にタッチします。

- **初期状態** にタッチすると初期設定の状態に戻ります。



お知らせ

- GPS電波を良好に受信している場合には、常に最適化するように距離補正係数を自動的に修正していますので、距離補正係数の調節は不要です。人工衛星の保守・点検などの影響で、GPS電波の受信が良好でない場合などにお使いください。
- GPS電波を受信すると自動的に距離補正係数を修正します。
- **2** で **自動補正** にタッチしたあとは、しばらくの間 **◀** ・ **▶** を操作することはできません。

地図ディスクについて

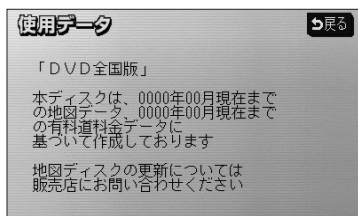
ご使用の地図ディスクの情報を確認することができます。

1 使用地図ディスクの情報を確認するには



(1) 設定画面（P.2-8参照）を表示します。

(2) **使用データ** にタッチします。



- ご利用になられている地図ディスク情報（地図ディスクのバージョンなど）の画面が表示されます。



お知らせ

- 地図ディスクの作成時期・種類などによって表示内容が異なります。
- このナビゲーションシステムの1回目のバージョンアップキット（地図更新版）の発売は2008年12月頃を予定しております。それ以降、年1回の更新を計画しております。地図の更新は予告なく終了する場合があります。

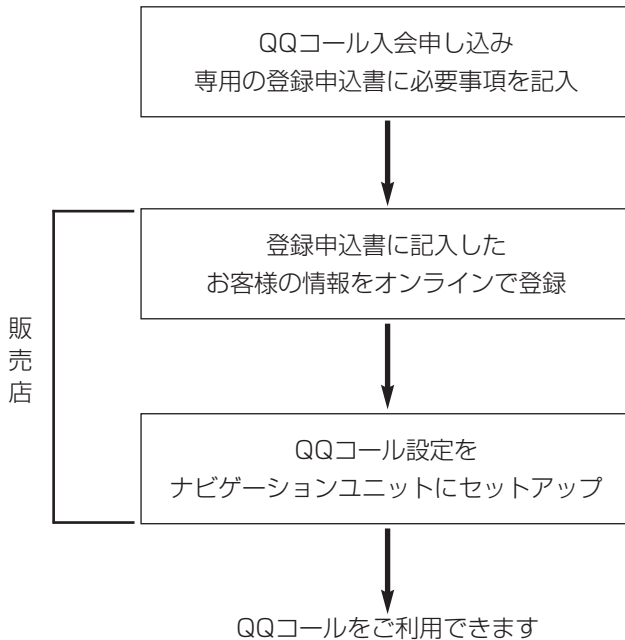
QQコールについて

「QQコール」とは、QQコール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHondaディーラーやサービス工場など、Hondaのネットワークでお客様をサポートするシステムです。

お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。

「QQコール」は、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。詳しくは、QQコールの紹介ページ<http://premium-club.jp/qqcall>をご覧ください。

1 QQコール（有料オプションサービス）を開始するまでの流れ



2 QQコールを表示するには



- (1) 設定画面（P.2-8参照）で **QQコール** にタッチします。



- (2) 現在地画面にQQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。



- (3) (1) の画面で **QQコール** にタッチするとQQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードの表示が解除されます。



お知らせ

- 走行中はQQコールセンターの電話番号とマップコードは表示されません。
- QQコールセンターの電話番号とマップコードを表示中にエンジンスイッチをOFFにすると表示が解除されます。

メモ

情報画面について

情報機能には、「FM多重放送」、「メンテナンス」、「TEL」、「カレンダー」、「設定」があります。

「ETC」はオプションのETC機器を接続すると、設定・操作することができます。

1 情報画面を表示するには



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）で **情報** にタッチして、情報画面を表示します。



(2) 操作したい機能のタッチスイッチにタッチします。

●情報画面から下記の操作を行うことができます。

タッチスイッチ	機能	ページ
設定	画面切り替え時の動画表現の設定、画面の表示設定、 操作音の設定 確認画面の表示時間設定	1-24 2-40
FM多重	FM多重放送の表示	5-2
メンテナンス	消耗部品のメンテナンス案内時期設定・更新、販売店の設定	5-6
TEL	電話帳の表示	5-16
カレンダー	カレンダーの表示	5-17
ETC※1	ETCの設定	6-1

※1 機器が接続されていない場合は、タッチスイッチが表示されません。

FM多重放送を見るには

■ FM多重放送の番組について

FM多重放送は1つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

●連動情報番組

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号などの音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

●独立情報番組

FM音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

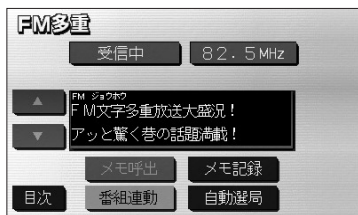
1 FM多重放送を表示するには



(1) ナビメニュー（P.2-7参照）で **情報** にタッチして、情報画面を表示します。



(2) **FM多重** にタッチします。



- FM多重画面が表示されます。
- 走行中表示できない情報があり、放送局によって異なります。



お知らせ

- FM多重放送を表示中にFM多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。
- FM多重放送を表示中のFM音声は、受信している放送局の番組の音声になります。
- テレビの音声を聞いているときに、FM多重放送を受信すると雑音が入ることがあります。

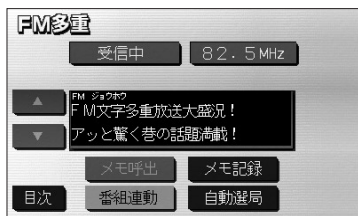
2 放送局を切り替えるには



(1) **自動選局** にタッチします。

- FM音声を聞いているときは、 を押しても選局できます。

3 番組を切り替えるには



(1) **目次** にタッチします。

- **番組連動** にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。(連動情報番組を表示中はタッチスイッチが強調表示されます)



(2) 表示させたい番組の番号にタッチします。



アドバイス

  が表示されたときは   にタッチしてページを送ることができます。

4 独立情報番組のページ送りのしかた

連動情報番組の文字情報のページは情報が受信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の受信で何ページにもわたる情報（▲・▼が表示されます）が送られる独立情報番組はページを送ってご覧ください。



(1) ▲ または ▼ にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- ▲ または ▼ にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが**停止**に切り替わります）、文字情報が自動（約9秒おき）で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。
- 文字情報の自動送りを中止するときは、**停止** にタッチします（タッチスイッチが**自動送り**に切り替わります）。また、自動送り中に ▲ または ▼ をタッチして文字情報を送ったときも、自動送りは中止されます。

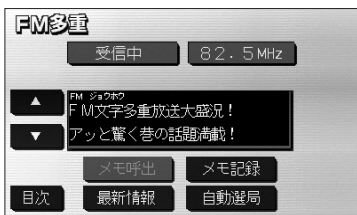


お知らせ

緊急情報を受信しているときは自動送りはできません。

5 連動情報番組の文字情報を繰り返し見るには

連動情報番組の文字情報のページは情報が受信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときやもう一度みたいときは ▲ にタッチすると過去に受信した情報を見ることができます。



(1) ▲ または ▼ にタッチして見たい文字情報をさがします。

- 文字情報の自動切り替えが中止され **最新情報** が表示されます。
- 最新の文字情報に戻すには、**最新情報** にタッチすると、もとの状態（文字情報が受信されるたびに自動的に切り替わる）になります。

6 文字情報の記録のしかた



- (1) 記録したい文字情報を表示させ、**メモ記録** にタッチします。

- 記録できる項目は最大20件です。



お知らせ

- 記録する内容によっては、20件記録できない場合があります。
- バッテリーやヒューズの交換などで、ナビゲーションとバッテリーの接続が断たれたときは、記録されていた文字情報はすべて消去されます。

7 記録した文字情報の呼び出し・消去



- (1) **メモ呼出** にタッチします。

- 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。



- (2) **▲** または **▼** にタッチすると記録した文字情報のページを送ることができます。

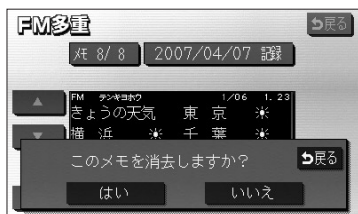
- **目次** にタッチするとP.5-3の**3**の(2)の画面を表示します。

- (3) **消去** にタッチすると、呼びだした文字情報を消去することができます。

- すべての文字情報を消去するときは、**全消去** にタッチします。

- (4) 消去するときは **はい** にタッチします。

- 消去を中止するときは、**いいえ** にタッチします。



メンテナンスを使うには

車の消耗部品（エンジンオイル、タイヤなど）の交換時期や各種点検時期などのイベント時期を案内することができます。

1 メンテナンス時期を設定するには

情報画面（P.5-1 参照）で **メンテナンス** にタッチするとメンテナンスメニュー画面が表示されます。

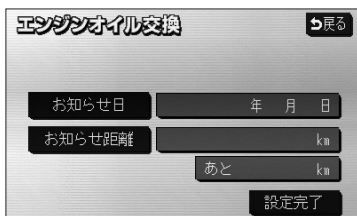


(1) メンテナンスメニュー画面で、設定する項目にタッチします。

- （パーソナル項目未設定）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。
- （パーソナル項目未設定）以外にタッチしたときは、(3) の画面が表示されます。
- 設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正することができます。

(2) （パーソナル項目未設定）にタッチすると、メンテナンス案内（P.5-9の **3** 参照）が行われるときに表示される名称やマークの設定を行うことができます。

P.5-8の **2** を参照してください。



(3) **お知らせ日** または **お知らせ距離** にタッチします。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

エンジンオイル交換 戻る

お知らせ日 2007年10月1日 修正

1	2	3	年
4	5	6	月
7	8	9	日
0			完了

(4) 日付および距離を1文字ずつタッチして入力します。

- **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。
- **年**・**月**・**日** にタッチすると入力した文字を確定します。

(5) **完了** にタッチします。

エンジンオイル交換 戻る

お知らせ距離 3000 km 修正

1	2	3
4	5	6
7	8	9
0		完了



お知らせ

メンテナンス時期を設定しても、メンテナンス案内の自動通知設定を「する」にしないとメンテナンス案内は行われません(P.5-9の**3** 参照)。

エンジンオイル交換 戻る

お知らせ日 2007年10月1日

お知らせ距離 3000 km

あと 3000 km

設定消去 設定完了

(6) 入力が完了したら **設定完了** にタッチします。

- 複数のメンテナンス項目を設定するときは、P.5-6～P.5-7の**1**の(1)～(6)を繰り返します。

2 パーソナル項目を設定するには

パーソナル項目（マーク）に、お好きな名称やマークを設定することができます。パーソナル項目を設定しておく、メンテナンス案内が行われるときに設定した名称やマークが表示されます。



- (1) P.5-6の **1** の(1)の画面で （パーソナル項目）にタッチします。
- (2) メンテナンス案内（P.5-9の **3** 参照）が行われるときに表示したいマークにタッチします。



- (3) 名称を1文字ずつタッチして入力します。
 - 文字の入力方法は、P.4-26～4-27を参照してください。
- (4) **完了** にタッチします。



- (5) お知らせ日、またはお知らせ距離をP.5-6の **1** の(3)にしたがって設定します。



- (6) 入力が完了したら **設定完了** にタッチします。



お知らせ

- **修正** にタッチすると、名称を変更することができます。(3)、(4)の操作を行ってください。
- **マーク** にタッチすると、マークを変更することができます。(2)の操作を行ってください。

3 メンテナンス案内を設定するには

案内の自動通知設定を「する」にすると、時期を設定した項目の案内が行われます。



- メンテナンスメニュー画面 (P.5-6 参照) で、**する** にタッチします。
- 案内の自動通知設定を解除する場合は、**しない** にタッチします。
- 初期設定は「する」に設定されています。



お知らせ

- すでに設定されている項目は「緑色」、案内時期を過ぎている項目は「オレンジ色」で表示されます。
- 車の使用状況などにより、設定した時期と実際の案内が行われる時期に誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離に誤差が生じることがあります。

4 メンテナンス案内を表示するには

エンジンスイッチをONにし、ナビゲーションが立ち上がったあとに同時に4つまで表示されます。

メンテナンスお知らせ案内



- 5つ以上の項目の案内があるときは、**その他** (その他) が表示されます。



お知らせ

P.5-8の2の(3)で設定した名称は案内画面の中央部に表示されます。

- **次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときに案内が表示されません。

5 メンテナンス設定を消去するには

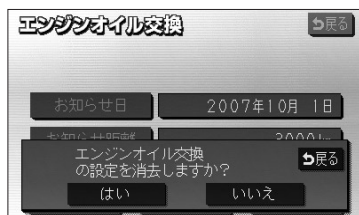


(1) メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で、設定を消去する項目にタッチします。

- **設定全消去** にタッチすると、すべての設定を解除します。



(2) **設定消去** にタッチします。



(3) **はい** にタッチすると設定が消去されます。

- 消去を中止するときは **いいえ** にタッチします。

6 メンテナンス設定を更新するには

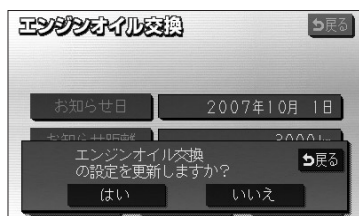


(1) メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で、案内時期を過ぎていている項目にタッチします。

- 案内時期を過ぎていているすべての項目を更新するときは、**自動全更新** にタッチします。



(2) **自動更新** にタッチします。



(3) **はい** にタッチすると前回設定された日付けや距離が更新され、新しい日付・距離に変更されます。

- 更新を中止するときは **いいえ** にタッチします。



お知らせ

- 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算され変更されます。(項目により、計算方法は異なります)
- 案内時期を過ぎていている項目がないときは、**自動全更新** は表示されません。

メンテナンスマーク一覧				
 ENGINE OIL	エンジンオイル交換	 BRAKE PAD	ブレーキパッド交換	
 OIL FILTER	オイルフィルタ交換	 車検 INSPECTION	車検	
 ROTATION	タイヤローテーション (タイヤ位置交換)	 LLC	冷却水 (LLC) 交換	
 TIRE	タイヤ交換	 BRAKE OIL	ブレーキフルード交換	
 AIR CLEANER	エアクリーナー交換	 ATF	ATF (オートマチックトランス ミッションフルード) 交換	
パーソナルマーク一覧				
				
				
その他のマーク				
	案内項目が5つ以上の場合			

7 利用する販売店を設定するには

メンテナンス機能でご利用される販売店を設定できます。



- (1) メンテナンスメニュー画面 (P.5-6 参照) で **販売店設定** にタッチします。



- (2) 地図の呼び出し方を選択します。

- **50音** P.3-29
- **施設** P.3-33
- **住所** P.3-39
- **電話番号** P.3-35
- **郵便番号** P.3-38
- **マップコード** P.3-43
- **メモリ地点** P.3-41
- **履歴** P.3-42
- **周辺施設** P.3-44

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- **現在地周辺** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。



- (3) **↑** にタッチすると、地図が移動して **↑** の位置を変更することができます。
- (4) スケール表示が **800m** より詳細な地図で **セット** にタッチします。

販売店設定 戻る

販売店名

位置

電話番号

販売店の消去 販売店に行く 完了

(5) 販売店名を入力する場合は **販売店名** にタッチします。入力後、**完了** にタッチします。

- 文字の入力方法については、P.4-26～4-27を参照してください。

(6) 電話番号を入力する場合は、電話番号の横にある **電話番号** にタッチします。

電話番号 戻る

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 修正

1	2	3
4	5	6
7	8	9
	0	完了

(7) 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。

(8) **完了** にタッチします。

販売店設定 戻る

販売店名

位置

電話番号

販売店の消去 販売店に行く 完了

(9) **販売店に行く** にタッチすると、そのまま目的地を販売店に設定することができます。

- すでに目的地が設定されている場合は、**新規目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定することができます。P.2-28を参照してください。
- **追加目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定することができます。P.3-7を参照してください。

8 利用する販売店を修正・消去するには



(1) 販売店設定後、メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で **販売店設定** にタッチします。



(2) 修正したい項目の横にあるスイッチにタッチします。

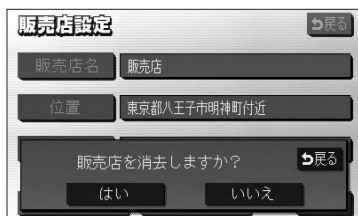
- 販売店名を修正する場合は **販売店名** にタッチします。

P.5-14の **7** の (5) の操作を行ってください。

- 販売店の位置を修正する場合は、 **位置** にタッチします。P.5-13の **7** の (3) ~ (4) の操作を行ってください。

- 電話番号を修正する場合は、 **電話番号** にタッチします。P.5-14の **7** の (7) ~ (8) の操作を行ってください。

(3) 販売店を消去するときは **販売店の消去** にタッチします。



(4) **はい** にタッチすると販売店が消去されます。

- 消去を中止するときは **いいえ** にタッチします。

電話帳を見るには

JAFや道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、設定・登録した地点に電話番号が登録されていれば、メモリ地点、目的地の電話番号を表示することができます。



(1) 情報画面 (P.5-1 参照) で **TEL** にタッチします。

(2) 見たい項目にタッチします。

- **目的地** にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます。(複数の目的地が設定されているときは設定されている目的地がリスト表示されます。この場合、見たい目的地にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます)
- **メモリ地点** にタッチしたときは、登録済みのメモリ地点がリスト表示されます。この場合、見たいメモリ地点にタッチすると、メモリ地点の名称と電話番号が表示されます。



(3) 見たい施設の所在する都道府県にタッチします。



(4) 見たい施設名称にタッチすると、施設の名称と電話番号が表示されます。



お知らせ

- メモリ地点に登録された電話番号に“－”（ハイフン）は表示されません。
- 目的地、メモリ地点の電話番号は、9桁以上の電話番号が存在する場合にのみ表示されます。



カレンダーを見るには

カレンダーを表示することができます。



(1) 情報画面 (P.5-1 参照) を表示します。

(2) **カレンダー** にタッチします。



- 現在の日付のカレンダー画面が表示されます。
- **▲月**・**▼月** または **▲年**・**▼年** にタッチすると、過去の年月、未来の年月を表示することができます。過去の年月、未来の年月を表示したときは **今月** にタッチして現在月を表示することができます。

メモ

メモ

ETCシステムの操作

1 ETCシステムの概要

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

本機能は別売のナビ対応のETCユニットを接続した場合に表示・操作できます。

詳しくはETCユニットの取扱説明書をご覧ください。

- ・ ETCユニット …………… ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
- ・ ETCカード …………… ICチップを搭載した、ETCユニット用カードのことです。
ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。
- ・ 車線表示板 …………… 料金所のETC車線に必要に応じて設定されています。料金所の車線運行状況（ETC車線・混在車線・一般車線の区別）が表示されます。
- ・ 発進制御装置（ゲート） …… 料金精算を確実にするために、料金所のETC車線に必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
- ・ 路側表示器 …………… 料金所のETC車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。
- ・ 路側無線装置 …………… 料金所のETC車線に設置されています。料金精算のため、ETCユニットとの通信を行うためのアンテナです。

●情報画面（P.5-1参照）で、**ETC** にタッチすると、ETCメニュー画面になります。



① ETCカードメッセージ

現在のETCシステムの状態が表示されます。

- 「ETCカード未挿入」 …………… ETCカードが挿入されていません。
- 「認証中」 …………… ETCカードを読み込んでいます。
- 「ETCカード異常」 …………… ETCカードを読み込むことができません。
- 「ETCカード認証完了」 …… ETCカードが挿入された状態です。
- 「システム異常」 …………… ETCシステムに何らかの異常が発生しています。
(含む、ETCアンテナ外れ検知時)
- 「未セットアップ」 …………… ETCがセットアップされていない状態。
- 「セットアップ完了」 …………… ETCがセットアップ完了している状態。

2 履歴表示

ETC履歴情報			戻る
最新	利用日	料金	
▲前	2006年10月10日	480円	詳細
	2006年10月10日	560円	詳細
	2006年10月 9日	500円	詳細
	2006年10月 9日	250円	詳細
▼次	2006年10月 9日	560円	詳細

(1) ETCメニュー画面で、**履歴情報表示** にタッチします。

(2) 次に表示された画面で、**▲前**・**▼次** にタッチして表示させる履歴を切り替えます。

- 履歴を切り替えたとき **最新** にタッチすると、最も新しい履歴に戻ります。

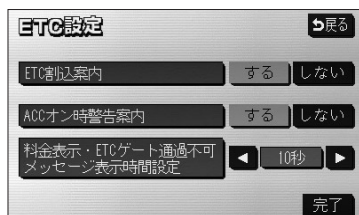
(3) **詳細** にタッチすると、利用区間が表示されます。



お知らせ

- 表示させることができる履歴は、最大100件までです。
- ETCゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。

3 ETCの設定



ETC割込案内



ACCオン時警告案内



- (1) ETCメニュー画面で、**設定** にタッチします。
- (2) 次に表示された画面で、**する** または **しない** にタッチしてETCの項目を設定します。

● ETC割込案内

有料道路にあるETCゲートを通ったときや、エラーが発生したときに、割り込み情報の表示や音声が発声されます。

● ACCオン時警告案内

エンジンスイッチをLOCKからI(ACC)の位置にしたとき、カードの差し忘れを画面表示と音声で警告します。

- (3) **◀** または **▶** にタッチすると、ETCゲート通過時に表示される徴収料金の案内メッセージとETCゲートが通過できないときに表示される通過不可案内メッセージの表示時間を調整することができます。

- 表示時間を長くするときは **▶**、短くするときは **◀** にタッチします。(タッチするたびに、5秒ずつ変更されます)

- (3) 設定が終わったら**完了** にタッチします。



お知らせ

- ETC割込案内は、表示させている画面により割り込み情報が表示されず音声のみの案内となることがあります。また、ETCゲートを通っても表示されないことがあります。
- 本機は料金表示の最小単位は1円ですが、音声案内の最小単位は10円となります(料金が257円の場合、250円と音声案内されますが実際に徴収される料金は257円です)。
- メッセージの表示時間の調整で最長(30秒)にすると **▶**、最短(5秒)にすると **◀** の色が反転して、タッチしても操作できません。

フロントカメラからの映像を見るには

別売のフロントカメラを装着した場合、停車時または低速走行時に本機のモニター画面に自動で前方のカメラ映像を映すことができます。



注意

- 広角レンズを使用しているため、ナビ画面上に表示される映像は、実際の距離感とは異なります。
- 本機（フロントカメラシステム）は障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- カメラ使用時も目視による安全確認を行いながら運転してください。
- 雨滴などがレンズ前面カバーに付着時、夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。

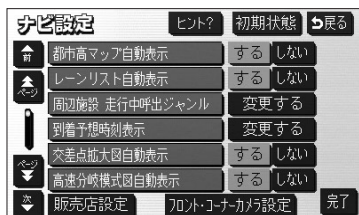


お知らせ

- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
[CCD素子特有の現象（スミア現象）です。強い光が無くなると消えます。]
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きますが故障ではありません。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因になります。
- カメラ本体をケーブルでぶら下げたり、ケーブルを引張ったり等は、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線等、故障の原因になります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 寒いときにお湯をかける等、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。
- 夜間または暗所ではフロントカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。

1 フロントカメラの設定をするには

(1) 設定画面（P.2-8参照）で **ナビ設定** にタッチします。



(2) **フロント・コーナーカメラ設定** にタッチします。



(3) **する** または **しない** にタッチしてフロントカメラの項目を設定します。

- フロントカメラの設定画面が表示されます。
- フロント・コーナーカメラ自動表示
停車時または低速走行時にフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。
- 登録地点検知
自車が、指定した地点（P.6-7参照）から半径100m以内に存在し、停車または低速走行するとフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。
- カメラインジケータ表示
現在地画面にカメラインジケータを表示します。カメラインジケータが点灯している場合は、停車時または低速走行時にフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ることを示しています。



カメラインジケータ

(4) 設定が終わったら **完了** にタッチします。



お知らせ

フロント・コーナカメラ自動表示および登録地点検知がどちらも「する」に設定されている場合は、フロント・コーナカメラ自動表示の設定が優先されるため自車が存在する場所に関わらず停車時または低速走行時にフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

2 前方の映像を映すには



直接確認しながら運転してください

(1) 停車または低速走行します。

- フロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。
- 映像表示が可能な走行速度を超えると通常画面に戻ります。
-  を“ピッ”という音が鳴るまで押しても通常画面に戻ります。再度、 を“ピッ”という音が鳴るまで押すとフロントカメラの映像に切り替わります。



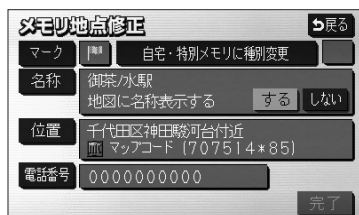
お知らせ

- 前方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。
(P.1-22参照)

3 フロントカメラの映像を表示する地点を指定するには

(1) 指定したい地点をメモリ地点に登録します。

- メモリ地点の登録方法については、P.4-19を参照してください。



(2) 登録したメモリ地点の修正画面 (P.4-21 参照) で **マーク** にタッチします。



カメラマーク

(3) **マーク2** にタッチして、カメラマークを選択します。

- P.6-5の **1** の (3) の画面で登録地点検知を「する」に設定しているとき、カメラマークで登録したメモリ地点の半径100m以内で停車または低速走行するとフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

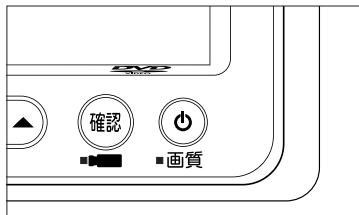


お知らせ

- 指定した地点の半径100m以内でのみカメラ映像を自動で表示させたい場合は、P.6-5の **1** の (3) の画面でフロント・コーナーカメラ自動表示を「しない」、登録地点検知を「する」に設定してください。
- 指定する地点はメモリ地点で登録するため、最大106件まで登録することができます。

4 予約モードに設定するには

P.6-5の1の(3)の画面でフロント・コーナカメラ自動表示を「しない」に設定しているとき1度だけ、停車時または低速走行時にフロントカメラの映像に切り替えることができます。



(1) **確認** を“ピッ”という音が鳴るまで押します。

- 予約モードに設定され、停車時または低速走行時に1度だけ自動でフロントカメラの映像に切り替えます。



- 再度、**確認** を“ピッ”という音が鳴るまで押すと予約モードを解除します。

! アドバイス

- 予約モードは、次に停車するときフロントカメラの映像に自動で切り替えたいなど、必要なときだけ自動で切り替えたいときに利用すると便利です。
- 停車中または低速走行中に **確認** を“ピッ”という音が鳴るまで押した場合は、予約モードに設定せず、その場でフロントカメラの映像に切り替わります。

コーナーカメラからの映像を見るには

別売のコーナーカメラを装着した場合、停車時または低速走行時に本機のモニター画面に自動でコーナーカメラの映像を映すことができます。



注意

- 本機（コーナーカメラシステム）は障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがレンズ前面カバーに付着時、夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- カメラ使用時も目視による安全確認を行いながら運転してください。

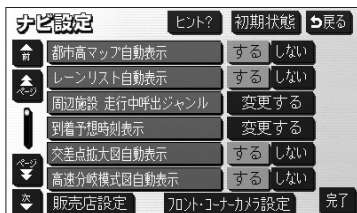


お知らせ

- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
[CCD素子特有の現象（スミア現象）です。強い光が無くなると消えます。]
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きますが故障ではありません。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因になります。
- カメラ本体をケーブルでぶら下げたり、ケーブルを引張ったり等は、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線等、故障の原因になります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 寒いときにお湯をかける等、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。
- 夜間または暗所ではコーナーカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。

1 コーナーカメラの設定をするには

(1) 設定画面 (P.2-8参照) で **ナビ設定** にタッチします。



(2) **フロント・コーナーカメラ設定** にタッチします。



● コーナーカメラの設定画面が表示されます。

(3) **する** または **しない** にタッチしてコーナーカメラの項目を設定します。

● フロント・コーナーカメラ自動表示
停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

● 登録地点検知
自車が、指定した地点 (P.6-11 参照) から半径 100m 以内に存在し、停車または低速走行するとコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

● カメラインジケータ表示
現在地画面にカメラインジケータを表示します。カメラインジケータが点灯している場合は、停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ることを示しています。



カメラインジケータ

(4) 設定が終わったら **完了** にタッチします。

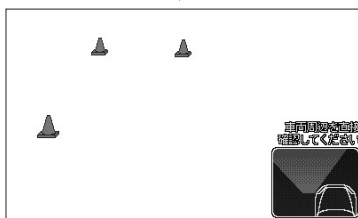


お知らせ

フロント・コーナーカメラ自動表示および登録地点検知がどちらも「する」に設定されている場合は、フロント・コーナーカメラ自動表示の設定が優先されるため自車が存在する場所に関わらず停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

2 前方の映像を映すには

現在地画面



(1) 停車または低速走行します。

- 前方の映像が自動でモニター画面に映ります。
- 映像表示が可能な走行速度を超えると通常画面に戻ります。
-  を"ピッ"という音が鳴るまで押しても通常画面に戻ります。再度、 を"ピッ"という音が鳴るまで押すとコーナーカメラの映像に切り替わります。



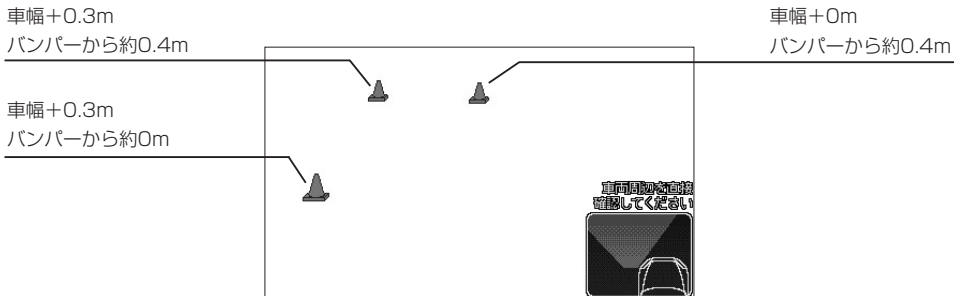
お知らせ

- 前方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。
(P.1-22参照)

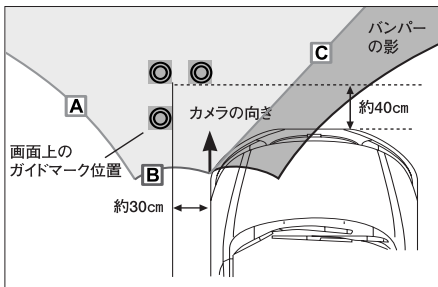
3 画面の見方について

■ガイド表示の見方

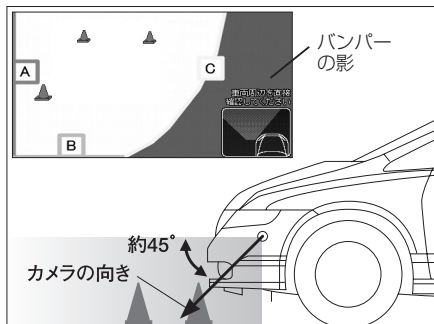
停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うマークが表示されます。



■自車の状況



※A、B、Cのラインは説明のためのイメージです。



コーナーカメラからの映像を見るには

6 オプション

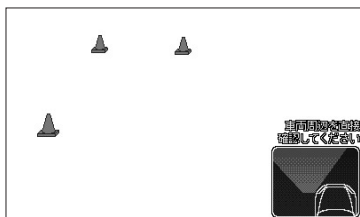


お知らせ

- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
 - 図に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
 - 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。

4 コーナーカメラ映像の操作

コーナーカメラ映像のガイド表示を消去したり、再び表示したりすることができます。



- (1) コーナーカメラ映像を表示しているときに  を
“ピッ”という音が鳴るまで押します。



- (2) **ガイドOFF** にタッチすると、コーナーカメラ映像のガイド表示が消去されます。

- 消去したガイド表示を再び表示するには **ガイドON** にタッチします。



- (3) 調整が終了したら **調整完了** にタッチします。

5 コーナーカメラの映像を表示する地点を指定するには

(1) 指定したい地点をメモリ地点に登録します。

- メモリ地点の登録方法については、P.4-19を参照してください。

(2) 登録したメモリ地点の修正画面 (P.4-21 参照) で **マーク** にタッチします。

カメラマーク

(3) **マーク2** にタッチして、カメラマークを選択します。

- P.6-10の**1**の(3)の画面で登録地点検知を「する」に設定しているとき、カメラマークで登録したメモリ地点の半径100m以内で停車または低速走行するとコーナーカメラの映像が自動でモニターに映ります。

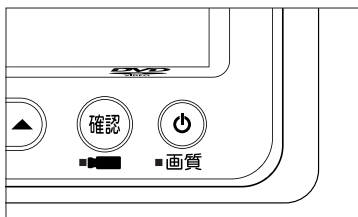


お知らせ

- 指定した地点の半径100m以内でのみカメラ映像を自動で表示させたい場合は、P.6-10の**1**の(3)の画面でフロント・コーナーカメラ自動表示を「しない」、登録地点検知を「する」に設定してください。
- 指定する地点はメモリ地点で登録するため、最大106件まで登録することができます。

6 予約モードに設定するには

P.6-10の1の(3)の画面でフロント・コーナーカメラ自動表示を「しない」に設定しているとき1度だけ、停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像に切り替えることができます。



(1) **確認** を"ピッ"という音が鳴るまで押します。

- 予約モードに設定され、停車時または低速走行時に1度だけ自動でコーナーカメラの映像に切り替えます。
- 再度、**確認** を"ピッ"という音が鳴るまで押すと予約モードを解除します。

！ アドバイス

- 予約モードは、次に停車するときコーナーカメラの映像に自動で切り替えたいなど、必要なときだけ自動で切り替えたいときに利用すると便利です。
- 停車中または低速走行中に**確認** を"ピッ"という音が鳴るまで押した場合は、予約モードに設定せず、その場でコーナーカメラの映像に切り替わります。

リアカメラからの映像を見るには

別売のリアカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。



- 本機（リアカメラシステム）は、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周辺の安全を充分確認して下さい。
- 雨滴などがレンズ前面カバーに付着すると映りが悪くなるおそれがあります。



お知らせ

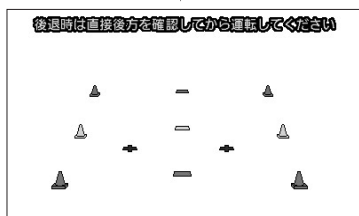
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
[CCD素子特有の現象（スミア現象）です。強い光が無くなると消えます。]
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きますが故障ではありません。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因になります。
- カメラ本体をケーブルでぶら下げたり、ケーブルを引張ったり等は、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線等、故障の原因になります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 寒いときにお湯をかける等、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見ると同じ画像を正像と呼びます。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。
- カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

1 後方の映像を映すには



(1) バックギアにシフトします。

- 後方の映像が自動でモニター画面に映ります。
- 他にシフトすると通常画面にもどります。



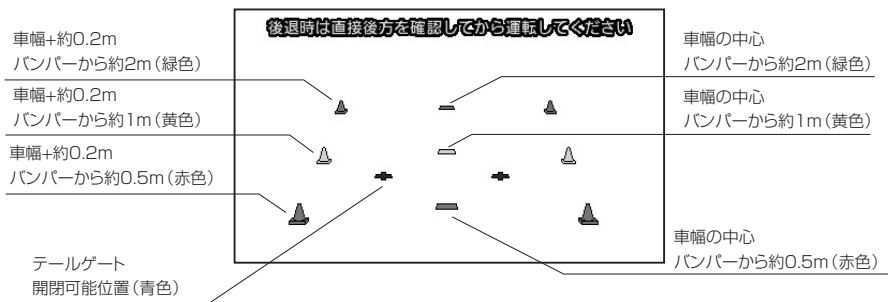
お知らせ

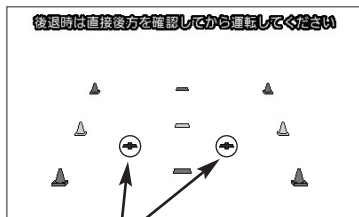
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。
(P1-22参照)

2 画面の見方について

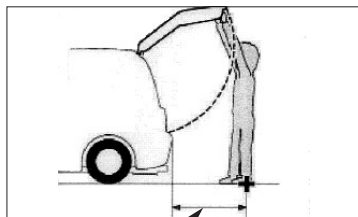
■ガイド表示の見方

バックギアにシフトすると、モニターがリアカメラ（CCDカメラ）の映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うマークが表示されます。



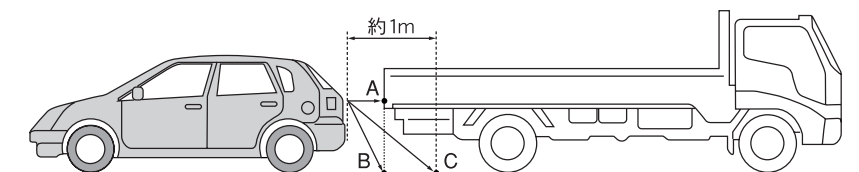


- テールゲートなどの開閉に必要な距離を示します。

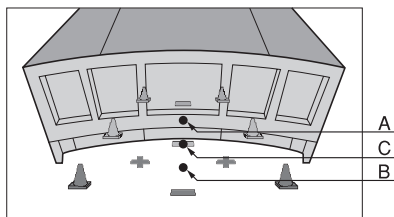


- テールゲートなどの開閉に必要な距離は各販売店にて設定されます。

■自車の状況



■画面の状況



実際には、AとBは自車から同じ距離で、CはAおよびBより遠い距離なのですが、画面上では、手前よりB、C、Aの順に映し出されます。

従って、画面上では、Cの位置(自車から約1m先)に駐車車両(トラック)があるように見えていますが、実際には、Bの位置まで後退するとトラックに接触してしまいます。



お知らせ

- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
 - 図に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
 - 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面上に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。

3 リアカメラ映像の操作

リアカメラ映像のガイド表示を消去したり、再び表示したりすることができます。
また、画面を見やすくするため、リアカメラ映像に表示されるコーションの表示位置を調整することもできます。

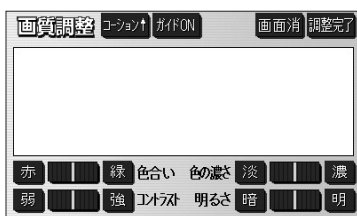


- (1) リアカメラ映像を表示しているときに  を"ピッ"という音が鳴るまで押します。



- (2) **ガイドOFF** にタッチすると、リアカメラ映像のガイド表示が消去されます。

- 消去したガイド表示を再び表示するには **ガイドON** にタッチします。



- (3) **コーション↓** にタッチすると、コーションの表示位置が画面下側に移動します。

- コーションを画面上側に移動するには **コーション↑** にタッチします。

- (4) 調整が終了したら **調整完了** にタッチします。



お知らせ

昼画面 はライト点灯時のみ表示されます。(P.1-21参照)



注意

コーションを画面下側に表示すると、車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。
その場合はコーションの表示位置を調整してください。

後席ディスプレイの操作 (VXD-085CVのみ)

本機の後席ディスプレイ出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。別売の後席ディスプレイを接続した場合にご覧になります。

詳しくは、後席ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

1 後席ディスプレイに表示される画面について

- 後席ディスプレイには、TV・DVDビデオ・ビデオ機器の映像のみ表示します。
- オーディオOFF、またはTV・DVDビデオ・ビデオ機器以外のオーディオモードをご使用になっている場合は、本機の映像は表示されません。
- ナビゲーション画面、カメラ映像は表示されません。



お知らせ

後席ディスプレイでは、走行中／停車中に問わず映像が表示されるため、走行中でもTV・DVDビデオ・ビデオ機器の映像をご覧になることができます。

2 後席ディスプレイに映像を表示するには

本機で、後席ディスプレイの映像表示、または映像の切り替え操作などを行います。

- 各映像の表示方法については以下をご覧ください。
 - ・テレビを使うには (P.7-5参照)
 - ・DVDプレーヤーを使うには (P.7-25参照)
 - ・ビデオカメラ等のモニターとして使うには (P.7-11参照)



お知らせ

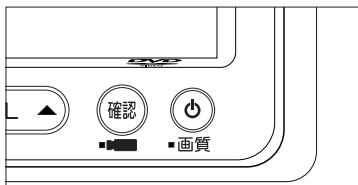
後席ディスプレイでは、映像出力のみを行います。オーディオの切り替えや画面の操作を行うことはできません。

電源の入れ方・音量調整のしかた

オーディオ機能のオン・オフや音量の調整ができます。

1 電源の入れ方

オーディオの電源のオン・オフを行うことができます。



- (1) エンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にします。
- (2)  を押すと電源がオンになります。
●  スイッチをもう一度押すと電源はオフになります。

2 音量調整のしかた

音量の調整を行うことができます。



- (1) VOL ボタンで音量を調整します。
● VOL 「▲」 または VOL 「▼」 を押します。



お知らせ

- VOL ボタンは短く押すと1ステップずつ音量が変わり、長く押すと手をはなすまで音量が変わり続けます。
- ボリュームが最大（最小）になると、それ以上の音量は変わりません。
- DVD、AUXのボリュームは、その他のオーディオのボリュームとは別に調整することができます（P.7-20、7-57参照）。



走行中の操作は安全運転に支障がないよう十分注意して行ってください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



お知らせ

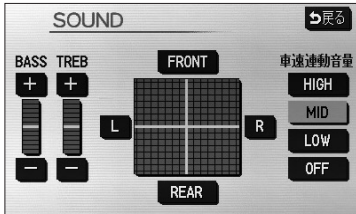
オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがあります。故障ではありません。

音の調整

前後左右の音量や音質の調整を行ったり、自動で音量を調節するレベルを設定することができます。

1 前後音量／左右音量を調整するには

音量のバランスを調整することができます。



(1) 各モードの操作画面（テレビモードでは操作画面で **設定** にタッチしたあとの画面）を表示させているときに **SOUND** にタッチします。

■ 前後音量を調整する

前側音量を強調する場合は **FRONT**、後側音量を強調する場合は **REAR** にタッチします。

■ 左右音量を調整する

右側音量を強調する場合は **R**、左側音量を強調する場合は **L** にタッチします。

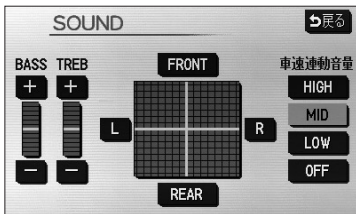
■ 音質を調整する

低音（BASS）を強調する場合は **+**、弱めるときは **-** にタッチします。

高音（TREB）を強調する場合は **+**、弱めるときは **-** にタッチします。

2 自動で音量を調整するには

自車の走行速度に応じて音量を自動的に大きくしたり、小さくしたりすることができます。



(1) **LOW**・**MID**・**HIGH** のいずれかにタッチして、自動的に調整されるレベルを設定します。

- ・ **LOW** にタッチすると、自車の速度が上がると少しだけ音量を上げます。
- ・ **MID** にタッチすると、自車の速度が上がると **LOW** のときよりも音量を上げます。
- ・ **HIGH** にタッチすると、自車の速度が上がると **MID** のときよりも音量を上げます。

● **OFF** にタッチすると、車速連動音量をしない設定にします。

！ アドバイス

速度が速いときに車外からの騒音が大きくなり、車内のオーディオの音量が聞き取りにくいという場合に使用すると便利です。

テレビ・オーディオの切り替え

1 テレビ・オーディオの切り替え方

AUDIO を押してオーディオ操作画面を表示し、画面左にあるオーディオモードスイッチで切り替える。

以下の操作でオーディオモードを切り替えることができます。



オーディオモードスイッチ

※1 DVD/CD(MP3/WMA含む)。

※2 接続時のみ切替可能。

※3 ビデオ機器を接続時のみ表示。

接続時は、**▼(▲)**マークが表示されます。画面に表示されていないオーディオモードを選ぶときは、**▼(▲)**にタッチしてください。

(1) オーディオモードを選んでタッチします。

- **AM** AMラジオに切り替わります。
- **FM** FMラジオに切り替わります。
- **TV** TVに切り替わります。
- **DVD CD** ディスク*1に切り替わります。
MP3
WMA
・ ディスクが入っていないときは、**DISC** と表示されます。
- **AUX** AUXに切り替わります。*2
- **・(speaker icon)** 交通情報に切り替わります。
- **VTR** VTRに切り替わります。*3

2 オーディオ操作画面について

各オーディオモードの操作画面は、次のように表示されます。

●各オーディオモードの操作画面

AM (P.7-12参照)



FM (P.7-12参照)



DVD (P.7-21参照)



CD (P.7-40参照)



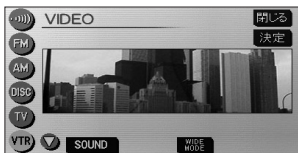
MP3/WMA (P.7-43参照)



TV (P.7-5参照)



VTR※1※2 (P.7-11参照)



AUX※1 (P.7-56参照)



交通情報 (P.7-15参照)



※1 接続する各機器は、別途お買い求めください。

※2 接続コードは販売店オプション。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

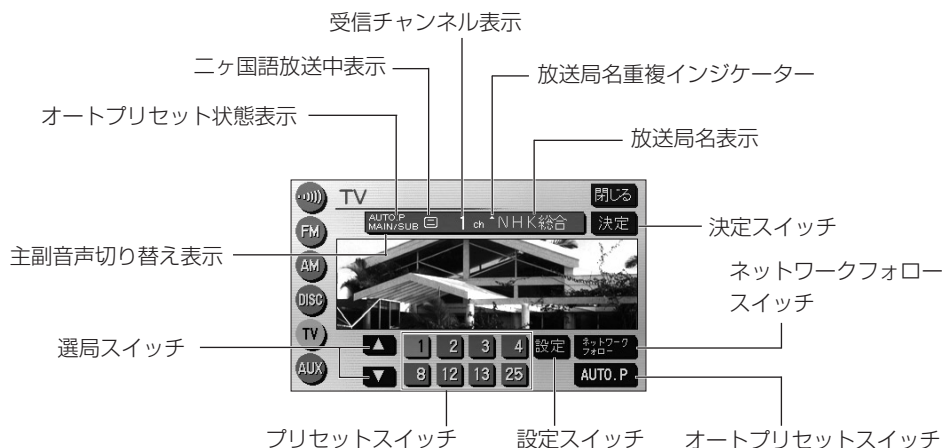


お知らせ

- 操作画面を表示させてからおおよそ6秒以上何も操作しなかったときは、操作画面は自動的に解除され、もとの画面に戻ります。継続表示させるには、画面の設定 (P.1-24参照) で設定を変更してください。
- **閉じる** にタッチするか、再度 **AUDIO** を押すと、操作画面を解除します。

テレビを使うには

テレビを見ることができます。



1 テレビを見るには



(1) **AUDIO** を押します。

● オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **TV** にタッチします。

● テレビ画面が表示されます。



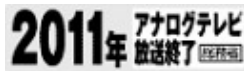
● **AUDIO** を押すまたは映像にタッチすると、テレビ操作画面が表示されます。



お知らせ

●アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール



地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。地上アナログテレビ放送は2011年7月に、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

●本機で地上デジタルテレビ放送をご覧になるには

本機単体では、地上デジタルテレビ放送をご覧にはなりません。地上デジタルテレビ放送をご覧頂くには、別売の地上デジタルTVチューナーが必要になります。

2 選局するには



(1) の左右を押して選局します。



- テレビ操作画面でも選局することができます。
- 画面内の ・ にタッチして選局します。
- **決定** にタッチするとテレビ操作画面が消去され、選択したチャンネルの映像が表示されます。
- または ・ をピッと音がするまで押し続けると、現在、画面に表示されているチャンネルに一番近い放送局を探して受信します。途中で中止する場合はもう一度押します。



お知らせ

- 走行中は安全のため、テレビ映像が消え、音声だけになります。
- 受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。

3 選局した放送局を記憶させるには



(1) 放送局を選局後、**AUDIO** を押すまたは映像にタッチしてテレビ操作画面を表示させます。

(2) プリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。(マニュアルプリセット)

- プリセットスイッチを押すと、チャンネルがワンタッチで選局できるようになります。



(3) 自動的に記憶させる場合は、ピッと音が鳴るまで **AUTO.P** をタッチし続けます。

- 動作が終了するとプリセットスイッチにチャンネルが記憶されます。記憶した中で一番小さいチャンネルを受信します。(オートプリセット)
- プリセットスイッチを押すと、チャンネルがワンタッチで選択できるようになります。
- オートプリセット動作中は、テレビの映像は表示されません。



お知らせ

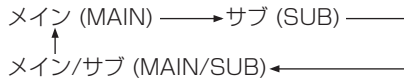
- 電波の強い放送局が8局、記憶されます。
- 電波の強い放送局が8局に満たない場合、記憶されていないプリセットスイッチにはチャンネルが表示されません。
- オートプリセット動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチするとプリセットメモリーは、オートプリセット動作前の状態に戻ります。
- オートプリセットを行った時は画面に「A U T O . P」が表示されます。
- 電波が弱く1局もプリセットされなかった場合、プリセット局はオートプリセット動作前の状態に戻ります。

4 音声多重放送の音声を切り替えるには



(1) テレビ操作画面(P.7-5参照)で **設定** にタッチします。

(2) **MAIN/SUB** にタッチするたびに



と切り替わります。

- 音声多重放送でない場合は、設定のみ切り替わります。
- ニヶ国語放送の場合は、**ニ** マークが表示されます。
- ステレオ放送の場合は、STマークが表示されます。

5 エリアスイッチについて



(1) テレビ操作画面(P.7-5参照)で **設定** にタッチします。

(2) **エリア** にタッチします。

- その地域で放送されている放送局名と受信チャンネルが画面に表示されます。
- 受信チャンネルにタッチすると選択した放送局の映像が表示されます。



テレビを使うには

フ
レ
ビ
・
オ
ー
デ
イ
オ

！アドバイス

- 旅先などで放送局の受信チャンネルがわからないときなどに便利です。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、▲が表示されることがあります。▲が表示されたときは **局名** にタッチすると重複したもう1つの放送局名に切り替えることができます。
- エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「AREA. P」が表示されます。

🔊お知らせ

地上デジタルテレビ放送では、デジタル放送用のチャンネルが必要なため、一部地域においてUHF放送のチャンネル変更が行われています。そのため、以下の現象が起こる可能性があります。

- 今まで見ていたチャンネルが急に見えなくなる。
- 今まで見ていたチャンネルに別の放送局の映像が映る。
- ネットワークフォロー（P.7-10参照）が動作している状態で、現在見ている放送局の放送区域外（アナログ放送の周波数変更が行われている地域）に移動しても、TV放送を受信できない。

また、エリアスイッチで受信放送局表示をさせた場合にも、以下の現象が起こる可能性があります。

- チャンネルと放送局名が一致しない。
- プリセットスイッチを操作したとき、記憶させた放送局が受信できない。
- プリセットスイッチを操作して受信したとき、放送局名が表示できない。

このような現象は、チャンネル変更によって生じた現象で、機器の故障・不具合ではありません。

これらの場合は、**AUTO.P** スイッチ（P.7-7参照）や選局スイッチ（P.7-6参照）でもう一度ご希望のチャンネルの設定を行ってください。

6 ネットワークフォローを行うには

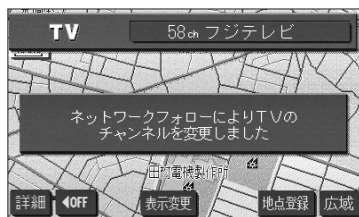
ネットワークフォローとは、選局中のテレビ放送局が、自車の移動に伴い他のチャンネルでも放送している場合に受信感度がより高そうなチャンネルに自動で切り替える機能です。



(1) テレビ操作画面(P.7-5参照)で

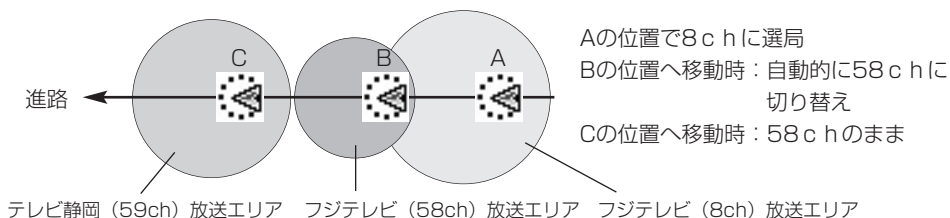
ネットワークフォロー にタッチします。

- スイッチが強調表示され、設定がオンの状態になります。
- 再度、**ネットワークフォロー** にタッチすると設定がオフの状態になります。



(2) 選局していたテレビ放送局よりも受信感度がより高そうな同一放送局のチャンネルが見つかったら、画面上にメッセージが表示され自動的にチャンネルが切り替わります。

<ネットワークフォローの動作例>



お知らせ

- オーディオがテレビになっている場合にのみ動作します。
- 受信感度は実際に得られる受信感度を比較しているものではなく、自車の位置と放送局の距離から計算しています。このため、自車周辺の環境によっては必ずしも受信状態が向上しないことがあります。(P.8-12参照)
- ネットワークフォローは、同一放送局への切り替えを行います。同一系列の放送局でも放送局名が異なる場合、チャンネルは切り替わりません。

(例)

フジテレビ (FNN) 8ch ⇒ フジテレビ (FNN) 58ch : 切り替え可能

フジテレビ (FNN) 8ch ⇒ テレビ静岡 (FNN) 59ch : 切り替え不可 (放送局名が不一致)

ビデオカメラ等のモニターとして使うには

市販のビデオ機器との接続でビデオモニターとして使用することができます。
(別売のVTRコードを販売店にてお求めください。)

VTR は販売店装着オプションのVTRコードと再生機器が取り付けられた場合に表示されます。

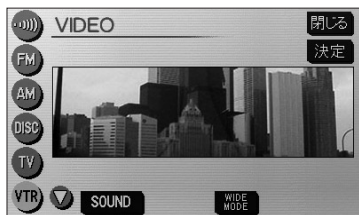


(1) **AUDIO** を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(2) **VTR** にタッチします。

- VTR(ビデオ部入力)に切り替わり、ビデオなどの映像が表示されます。



- **AUDIO** を押すまたは映像にタッチすると、ビデオ操作画面が表示されます。

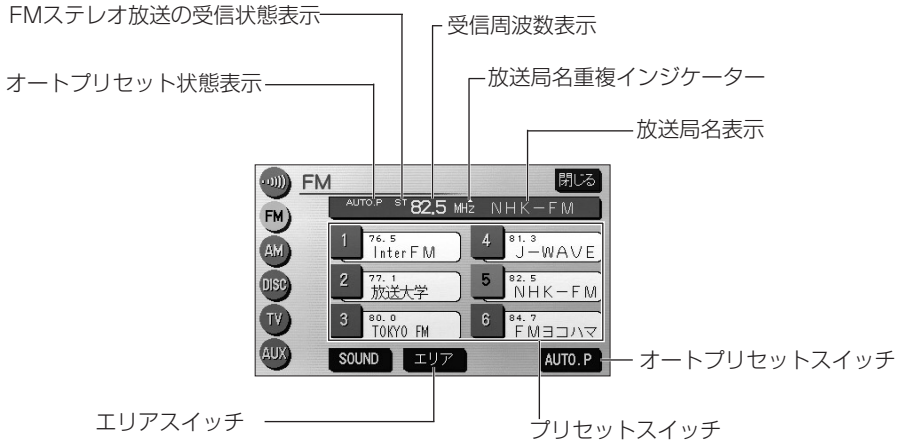


お知らせ

- 車載用ビデオデッキについての詳細は、販売店にお問い合わせください。
- その他のビデオ機器については、ビデオ中継コードが使用できないものがありますので、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。
- VTRからの入力信号が大きい場合には、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

ラジオを聞くには

AM放送またはFM放送を受信し、聞くことができます。



1 ラジオを聞くには



- (1) **AUDIO** を押します。
 - オーディオ操作画面が表示されます。
- (2) **FM** / **AM** にタッチします。
 - FM操作画面/AM操作画面（ラジオ操作画面）が表示されます。



お知らせ

FMステレオ放送を受信しているときは画面にSTが表示されます。

ラジオを聞くには

テレビ・オーディオ

2 選局するには



- (1) **TUNE TRACK** の左右を押すか、ラジオ操作画面でプリセットスイッチにタッチして選局します。

- **TUNE TRACK** の左右をピッと音がするまで押し続けると、現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を探して受信します。途中で中止するときはもう一度押します。



お知らせ

- 受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。
- ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり障害物や電車、信号機などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合があります。

3 選局した放送局を記憶させるには



- (1) 放送局を選局後、ラジオ操作画面でプリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
(マニュアルプリセット)

- プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。



- (2) 自動的に記憶させる場合は、ピッと音が鳴るまで **AUTO.P** にタッチし続けます。

- 動作が終了するとプリセットスイッチに周波数が記憶されます。
(オートプリセット)
- プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。



アドバイス

A/M操作画面から交通情報の周波数を設定することができます。詳細は「交通情報を聞くには」(P.7-15)を参照してください。



お知らせ

- 電波の強い放送局が6局、記憶されます。
- オートプリセット動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチするとプリセットメモリーは、オートプリセット動作前の状態に戻ります。
- オートプリセットを行った時は画面に「A U T O . P」が表示されます。
- 電波が弱く1局もプリセットされなかった場合、プリセット局はオートプリセット動作前の状態に戻ります。

4 エリアスイッチについて



(1) ラジオ操作画面で **エリア** にタッチします。

- その地域で放送されている放送局名と受信周波数が画面に表示されます。

(2) プリセットスイッチにタッチして選択します。



アドバイス

- 旅先などで放送局の受信チャンネルがわからないときなどに便利です。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、▲が表示されることがあります。▲が表示されたときは **局名** にタッチすると重複したもう1つの放送局名に切り替えることができます。
- エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「A R E A . P」が表示されます。

交通情報を聞くには

交通情報を受信し、聞くことができます。



(1) **AUDIO** を押します。

- オーディオ画面が表示されます。

(2) **FM** にタッチします。

- 交通情報放送を行っている地域で交通情報を受信できます。



(3) 交通情報の周波数をセットするにはAM操作画面 (P.7-12参照) で記憶させたい周波数を選局します。

- 選局する方法については、P.7-13を参照してください。

(4) **FM** を長押しし、ピッと音がするまでタッチし続けます。



お知らせ

初期設定では1620 kHz にセットしてあります。

DVDプレーヤーをお使いになる前に (VXD-085CVのみ)

VXD-085CVは、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。DVDビデオに収録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで収録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

●DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDディスクには、複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



あの大空を流れ行く
雲を眺めながら・・・



While looking at the
clouds which flow in
the big sky・・・



お知らせ

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで収録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。



映像のアングルが切り替わります

字幕表示機能について

DVDディスクには、複数の字幕が収録されているものがあり、再生中に字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。



●ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）用のディスクの再生は、保証いたしません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
 	12cm／片面	1層 133分
		2層 242分
	12cm／両面	1層 266分
		2層 484分

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表示しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。



お願い

DVD、ソフト製作者により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
 	選択可能な画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
 	選択可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクに記録されている音声について

本機搭載のDVDプレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニアPCM・パックドPCM・ドルビーデジタル・ドルビープロロジック・MPEGオーディオに対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

●ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大6チャンネルに分割して記録、再生する（ウーハーチャンネルは通常0.1チャンネルで表現されるため、5.1チャンネル）完全ディスクリット（分割）方式です。

●ドルビーサラウンド

4ch（フロントLR、センター、サラウンド（リア））の信号を2chで記録し、それぞれをドルビープロロジックデコーダーにより再度4chに出力する方式です（サラウンドチャンネルの出力はモノラルとなります）。

●サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換するとき、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1秒間に区切る回数を表したのが、サンプリング周波数でそのときのデータ量の大きさが量子化ビット数です。

これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

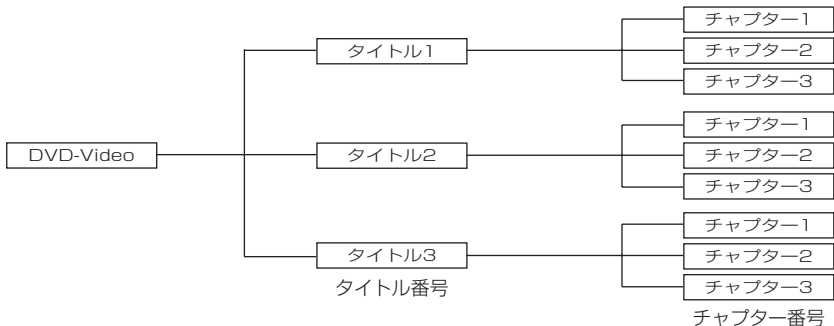
●リニアPCM

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号です。CDでは、44.1kHz／16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz／16bit～96kHz／24bitで記録されていますので、CDよりも高音質での再生が可能です。

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）がつけられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）がつけられています。



音量について

DVDビデオでは迫力ある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。そのため、会話シーンで音量を上げたあと、DVDビデオ以外のオーディオに切り替えたとき、音量が大きすぎる場合があります。このような現象を防止するため、DVDビデオ再生中は、その他のオーディオとは別に音量を調節することができます。

音量調整のしかたについてはP.7-1を参照してください。



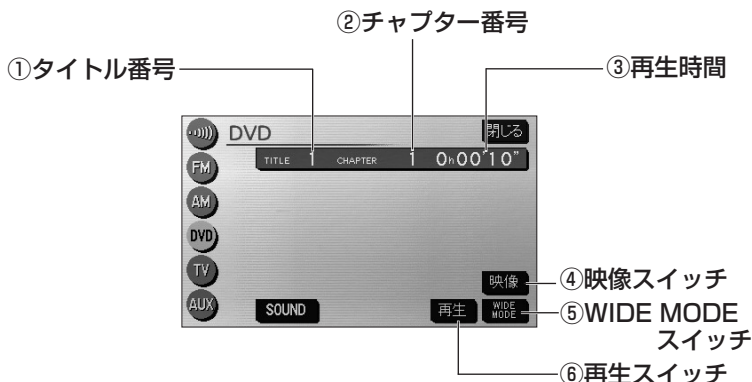
お知らせ

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- DVDビデオには、メニュー項目など音声が入録されていない場面があります。そのような場合、本編再生中に音量調整してください。
- DVDビデオでは迫力ある効果音を得るために、通常の会話のシーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクを再生させて会話のシーンで音量調節を行うと、効果音のシーンのときに音量が大きすぎる場合がありますので、注意してください。
- 本機では音声は、自動ダウンミックスにより2チャンネルで再生されます。

DVDの操作画面について

●DVDビデオ操作画面について

DVDビデオを再生させているときに、**AUDIO** を押すとDVD操作画面が表示されます。



① タイトル番号

現在再生しているタイトル番号を表示します。

② チャプター番号

現在再生しているチャプター番号を表示します。

③ 再生時間

再生時間を表示します。

④ 映像スイッチ

映像を表示するときにタッチします。

⑤ WIDE MODEスイッチ

WIDE MODE画面（P.1-23参照）を表示します。

⑥ 再生スイッチ

走行中に停止または一時停止した映像を再生するときにタッチします。

●DVDビデオ操作スイッチについて

DVDビデオの映像を表示しているときに、画面にタッチするとDVDショートメニュー1が表示されます。



① 前ページスイッチ

ダイレクトタッチ切り替え画面を表示するときにタッチします。

② ボタン消スイッチ

映像画面に戻るときにタッチします。

③ 次ページスイッチ

DVDショートメニュー2を表示するときにタッチします。

④ 早送りスイッチ

映像を早送りするときにタッチします。

⑤ 再生スイッチ

映像を再生するときにタッチします。

⑥ 一時停止スイッチ

映像を一時停止するときにタッチします。

⑦ 停止スイッチ

映像を停止するときにタッチします。

⑧ 早戻しスイッチ

映像を早戻しするときにタッチします。

⑨ メニュースイッチ

ディスクメニューを表示する（P.7-27参照）ときにタッチします。
（操作方法は、再生しているディスクに付属の取扱説明書をご覧ください）

⑩ トップメニュースイッチ

ディスクメニューを表示する（P.7-27参照）ときにタッチします。
（操作方法は、再生しているディスクに付属の取扱説明書をご覧ください）

DVDプレーヤーをお使いになる前に

テレビ・オーディオ



お知らせ

操作スイッチを表示している間、画面モードはWideに固定されます。

DVDショートメニュー1で **次ページ** にタッチすると、DVDショートメニュー2が表示されます。



- ① **初期設定スイッチ**
DVDプレーヤーの設定を行うときにタッチします。
- ② **前ページスイッチ**
DVDショートメニュー1を表示するときにタッチします。
- ③ **アングルスイッチ**
映像のアングルを切り替える（P.7-32参照）ときにタッチします。
- ④ **字幕スイッチ**
字幕を切り替える（P.7-32参照）ときにタッチします。
- ⑤ **音声スイッチ**
音声を切り替えるとき（P.7-33参照）にタッチします。
- ⑥ **リターンスイッチ**
タッチすると、ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生されます。
- ⑦ **サーチスイッチ**
タイトルサーチ（P.7-30参照）を行うときにタッチします。

DVDショートメニュー1で **前ページ** にタッチすると、ダイレクトタッチ切り替え画面が表示されます。



① 移動スイッチ

タッチスイッチの位置を移動します。

② OFFスイッチ

タッチスイッチを一時的に消去します。

③ ダイレクトタッチスイッチ

DVDメニューの項目などを直接タッチして選ぶダイレクトタッチ機能のON/OFFを設定します。ダイレクトタッチ機能OFFに設定にすると、十字キーと決定ボタンが表示されます。

④ 次ページスイッチ

DVDショートメニュー1を表示するときにタッチします。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

テレビ・オーディオ

DVDプレーヤーを使うには(VXD-085CVのみ)

エンジンスイッチが I (ACC) または II (ON) で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみDVDをご覧になることができます（走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります）。

1 DVDを見るには



- (1) ディスク差し込み口にDVDを差し込みます。
自動的に電源が入り、映像画面を表示して再生を開始します。
また、DVDが差し込まれているときにオーディオ操作画面（P.7-3参照）から **DVD** にタッチすると、再生を始めます。



お知らせ

本機で対応していない音声を再生した場合、会話などの音声が届きにくかったり、音に違和感が生じる場合があります。

2 映像を操作するには

●映像を再生するには



- (1) 映像画面（上記 **1** の（1）参照）にタッチします。
●DVDショートメニュー1画面（P.7-22参照）が表示されます。



- (2)  にタッチします。

●早送り・早戻しをするには

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。



(1) **TUNE TRACK** を押し続けます。

●右側を押し続けると早送りできます。

●左側を押し続けると早戻しできます。



●DVDショートメニュー1画面 (P.7-22参照) で **◀◀** または **▶▶** にタッチしても早送り・早戻しできます。

●**▶▶** を押し続けると早送りできます。

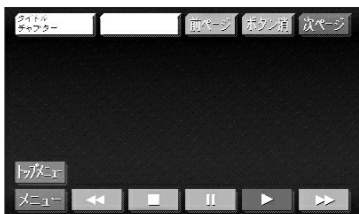
●**◀◀** を押し続けると早戻しできます。

●停止するには



(1) 映像画面 (**1** の (1) 参照) にタッチします。

●DVDショートメニュー1画面 (P.7-22参照) が表示されます。



(2) **■** にタッチします。

●再生するには **▶** にタッチします。

●一時停止するには



(1) 映像画面 (P.7-25の**1**の(1) 参照) にタッチします。

●DVDショートメニュー1画面 (P.7-22参照) が表示されます。



(2) 一時停止するには **||** にタッチします。

● **▶** にタッチすると再生を開始します。

● **▶▶** を押し続けるとスロー再生をします。



3 ディスクメニューを操作するには

ディスクに収録されているメニューに直接タッチして選択 (ダイレクトタッチ機能) するかまたは十字キーを操作して選択することができます。

●メニューに直接タッチして選択する (ダイレクトタッチ機能)



(1) 映像画面 (P.7-25の**1**の(1) 参照) にタッチします。

●DVDショートメニュー1画面 (P.7-22参照) が表示されます。



動作表示灯



(2) **メニュー**、または **トップメニュー** にタッチします。

- ディスクメニューが表示され、ダイレクトタッチ切り替え画面が表示されます。

(3) **ダイレクトタッチ** にタッチします。

- 項目に直接タッチしてメニューを選択することができます。
- ダイレクトタッチがONになっているときは、作動表示灯が点灯します。
- 初期設定は、ONに設定されています。



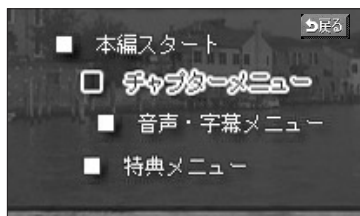
お知らせ

- ディスクによって記録されているメニュー項目は異なります。また、ディスク内容にしがたって再生を行うため、操作どおりに機能しない場合があります。
- DVD映像に選択できる項目があれば、ダイレクトタッチ可能です。
- ダイレクトタッチONの設定では、DVD映像に選択できる項目があれば、画面モードがWideに固定されます。
- ダイレクトタッチできないディスクもあります。その場合は、十字キーと決定ボタンで選んでください。(P.7-29参照)

- 移動** にタッチするとスイッチが上下に移動します。
- OFF** にタッチするとスイッチを消去します。**ON** にタッチするとスイッチを表示します。



お知らせ



- どの項目が選ばれたかを本機が判断できなかった場合は、タッチした付近の画像が拡大表示されます。拡大表示された画面にタッチして選んでください。
- 元の画面に戻すには、**戻る** にタッチしてください。

●十字キーを操作してメニューを選択する

十字キーと決定ボタンで選ぶことができます。



(1) ダイレクトタッチ切り替え画面 (P.7-28の **3** の (3) 参照) で **ダイレクトタッチ** にタッチします。

- ディスクメニューの操作スイッチが表示されます。
- ダイレクトタッチがOFFになり、作動表示灯が消灯します。



- **▲** **▼** **◀** **▶** にタッチするとディスクメニュー内の項目を移動します。
- **決定** にタッチすると選択されている項目を実行します。



- **移動** にタッチするとスイッチが上下に移動します。



- 再度 **ダイレクトタッチ** にタッチすると、ディスクメニューの操作スイッチが消去されます。

4 見たい映像を探すには

●チャプター番号で探すには



- (1) **TUNE TRACK** を押します。

- 右側を押すと次のチャプターから再生します。
- 左側を押すと現在再生しているチャプターの先頭から再生します。

●タイトル番号で探すには



- (1) 映像画面 (P.7-25の**1**の(1) 参照) にタッチします。

- DVDショートメニュー1画面 (P.7-22参照) が表示されます。



- (2) **次ページ** にタッチします。

- DVDショートメニュー2画面 (P.7-23参照) が表示されます。



- (3) **サーチ** にタッチします。



(4) 再生したいタイトル番号を入力します。

- 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。
- <<OFF** にタッチすると映像画面を表示します。
>>ON にタッチするとタイトル番号を入力する画面に戻ります。



(5) 上記(4)の画面で **完了** にタッチすると入力したタイトル番号から再生します。

- 入力したタイトル番号がDVDビデオに収録されていない場合は現在再生している映像画面に戻ります。

5 タッチスイッチを非表示にするには



(1) DVDショートメニュー1画面 (P.7-22参照) で **ボタン消** にタッチすると映像のみの画面に切り替わります。



(2) 映像画面 (P.7-25の**1**の(1)参照) にタッチするとDVDショートメニュー1画面 (P.7-22参照) に切り替わります。

6 アングル・音声を切り替えるには

●アングルを切り替えるには

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えることができます。



- (1) DVDショートメニュー2画面（P.7-23参照）で **アングル** にタッチします。



- (2) **アングル切替** にタッチします。
●タッチするとアングル番号が切り替わり、映像のアングルが切り替わります。

！ アドバイス

初期設定画面（P.7-34参照）でマルチアングルマーク表示をONにしておくと、アングル切り替えが可能なときに画面右上にアングルマークが表示されます。

●字幕言語を切り替えるには

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕言語を切り替えることができます。



- (1) DVDショートメニュー2画面（P.7-23参照）で **字幕** にタッチします。

- 字幕番号および言語が表示されます。



- (2) **字幕切替** にタッチします。
●タッチすると字幕番号および言語が切り替わります。
● **字幕消** にタッチすると字幕表示の表示、非表示を切り替えることができます。
字幕非表示中はスイッチが強調表示されます。

●音声言語を切り替えるには

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声言語を切り替えることができます。



- (1) DVDショートメニュー2画面（P.7-23参照）で **音声** にタッチします。

●音声番号および言語が表示されます。



- (2) **音声切替** にタッチします。

●タッチすると音声番号および言語が切り替わります。

●DTS音声について



- (1) 本機はDTS*音声に対応しておりません。DTS音声でDVDビデオを再生すると、非対応を通知するメッセージが画面上に表示されます。

※DTSとは、Digital Theater Systems社が開発したサラウンド方式です。



お知らせ

- 本機は、DTS音声に対応しておりません。DTS音声でDVDビデオを再生中は音声ミュート状態になりますので、本機対応の音声(P.7-19参照)に切り替えてお楽しみください。
- DTSは、米国Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。

7 DVDプレーヤーの設定を変更するには

●DVDプレーヤーの設定画面を表示するには

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。
また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限など設定することができます。



(1) DVDショートメニュー2画面（P.7-23参照）で

初期設定 にタッチします。

●初期設定画面が表示されます。



お知らせ

初期設定画面で **決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチを押したり、走行を開始して画面が切り替わると設定した内容はキャンセルされます。

●設定項目について

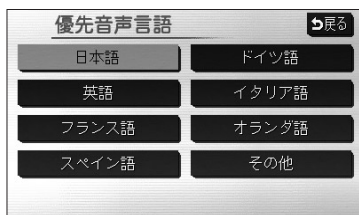
機能名	機能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	7-35
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	7-36
ソフトメニュー	表示するメニュー言語を設定します。	7-37
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	7-37
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	7-38

●優先音声言語を設定するには

音声言語の初期設定を変更することができます。



(1) 初期設定画面 (P.7-34参照) で **音声** にタッチします。



(2) お好みの言語にタッチします。

- 画面に表示された言語以外の言語を設定したいときは **その他** にタッチします。



お知らせ

ディスクにあらかじめ優先音声言語が登録されている場合は、ディスクに登録された音声言語で再生されます。また、設定した音声言語がディスクに収録されていない場合は設定した音声言語で再生はできません。



(3) **その他** にタッチします。

- 言語コード入力画面を表示します。
- 言語コードについては、P.7-39の **8** の言語コード一覧をご覧ください。

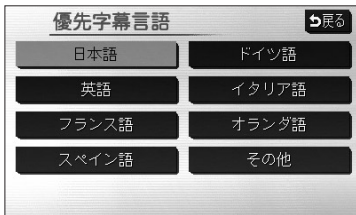
(4) **完了** にタッチします。

●優先字幕言語を設定するには

字幕言語の初期設定を変更することができます。



(1) 初期設定画面 (P.7-34参照) で **字幕** にタッチします。



(2) お好みの言語にタッチします。

- 画面に表示された言語以外の言語を設定したいときは **その他** にタッチします。



お知らせ

ディスクにあらかじめ優先字幕言語が登録されている場合は、ディスクに登録された字幕言語が優先されます。また、設定した字幕言語がディスクに収録されていない場合は設定した字幕言語で再生はできません。



(3) **その他** にタッチします。

- 言語コード入力画面を表示します。
- 言語コードについては、P.7-39の **8** の言語コード一覧をご覧ください。

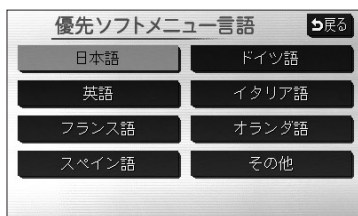
(4) **完了** にタッチします。

●優先ソフトメニュー言語を設定するには

ソフトメニュー言語（ディスクに収録されているメニューなどの表示言語）の初期設定を変更することができます。



- (1) 初期設定画面（P.7-34参照）で**ソフトメニュー**にタッチします。



- (2) お好みの言語にタッチします。

- 画面に表示された言語以外の言語を設定したいときは**その他**にタッチします。



お知らせ

ディスクにあらかじめ優先ソフトメニュー言語が登録されている場合は、ディスクに登録されたソフトメニュー言語が優先されます。また、設定したソフトメニュー言語がディスクに収録されていない場合は設定したソフトメニュー言語で再生はできません。



- (3) **その他**にタッチします。

- 言語コード入力画面を表示します。
- 言語コードについては、P.7-39の**8**の言語コード一覧をご覧ください。

- (4) **完了**にタッチします。

●マルチアングルマークの表示を設定するには

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。



- (1) 初期設定画面（P.7-34参照）で**マルチアングルマーク**にタッチします。

- タッチするごとに、表示と非表示が切り替わります。

●視聴制限を設定するには

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。



(1) 初期設定画面 (P.7-34参照) で **視聴制限** にタッチします。



(2) 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。

(3) **完了** にタッチします。



(4) お好みの視聴制限レベルにタッチします。



お知らせ

- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「-----」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**修正** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
 - レベル1 : 子供向けのDVDビデオのみを再生します（一般向けと成人向けのDVDビデオの再生を禁止します）。
 - レベル2～7 : 子供向けと一般向けのDVDビデオのみを再生します（成人向けのDVDビデオの再生を禁止します）。
 - レベル8 : すべてのDVDビデオを再生します（初期設定）。
- 再生しているDVDビデオに視聴制限がかかると暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力し、**完了** にタッチすると再生を再開します。

8 言語コード一覧

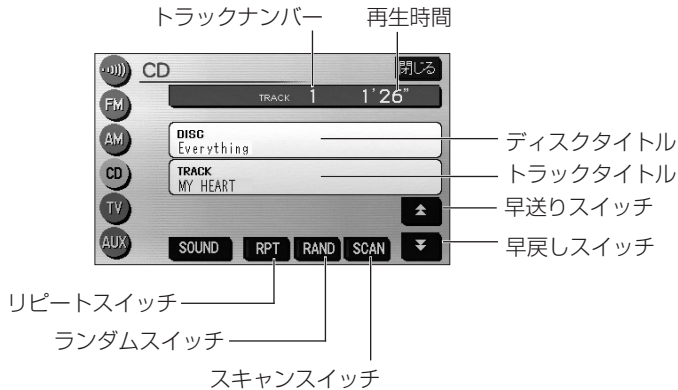
コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0801	ハウサ語	1721	ケチュア語
0514	英語	0809	ヒンディー語	1813	レートロマン語
0618	フランス語	0818	クロアチア語	1814	キルンディー語
0405	ドイツ語	0821	ハンガリー語	1815	ローマ語
0920	イタリア語	0825	アルメニア語	1823	キンヤルワンダ語
0519	スペイン語	0901	国際語	1901	サンスクリット語
1412	オランダ語	0905	Interlingue	1904	シンド語
1821	ロシア語	0911	イヌピアック語	1907	サンド語
2608	中国語	0914	インドネシア語	1908	セルボクロアチア語
1115	韓国語	0919	アイスランド語	1909	セイロン語
0512	ギリシャ語	0923	ヘブライ語	1911	スロバック語
0101	アファル語	1009	イディッシュ語	1912	スロベニア語
0102	アブバジャ語	1023	ジャワ語	1913	サモア語
0106	アフリカーンス語	1101	グルジア語	1914	ショナ語
0113	アムハラ語	1111	カザフ語	1915	ソマリ語
0118	アラビア語	1112	グリーンランド語	1917	アルバニア語
0119	アッサム語	1113	カンボジア語	1918	セルビア語
0125	アイマラ語	1114	カナダ語	1919	シスワティ語
0126	アゼルバイジャン語	1119	カシミール語	1920	セストゥ語
0201	バシキール語	1121	クルド語	1921	スダ語
0205	ベラルーシ語	1125	キルギス語	1922	スウェーデン語
0207	ブルガリア語	1201	ラテン語	1923	スワヒリ語
0208	ビハーリー語	1214	リンガラ語	2001	タミル語
0209	ビスマラ語	1215	ラオス語	2005	テルグ語
0214	ベンガル語	1220	リストニア語	2007	タジク語
0215	チベット語	1222	ラトビア語	2008	タイ語
0218	ブルトン語	1307	マダガスカル語	2009	チクリス語
0301	カタロニア語	1309	アオリ語	2011	ツルキ語
0315	コルシカ語	1311	マケドニア語	2012	タガログ語
0319	チェコ語	1312	マラヤム語	2014	セツワナ語
0325	ウェールズ語	1314	モンゴル語	2015	ニュージーランド語
0401	デンマーク語	1315	モルダビア語	2018	トルコ語
0426	ブータン語	1318	マラータ語	2019	ツォンガ語
0515	エスペラント語	1319	マライ語	2020	タタール語
0520	エストニア語	1320	マルタ語	2023	トウイ語
0521	バスク語	1325	ビルマ語	2111	ウクライナ語
0601	ペルシャ語	1401	ナウル語	2118	ウルドゥー語
0609	フィンランド語	1405	ネパール語	2126	ウズベク語
0610	フィジー語	1415	ノルウェー語	2209	ベトナム語
0615	フェロー語	1503	プロバンス語	2215	ボラビュク語
0625	フリジア語	1513	オモロ語	2315	ウォルフ語
0701	アイルランド語	1518	オリヤー語	2408	コーサ語
0704	スコットランドゲール語	1601	パンジャブ語	2515	ヨルバ語
0712	ガルシア語	1612	ポーランド語	2621	ズールー語
0714	グアラニ語	1619	アフガニスタン語		
0721	グジャラート語	1620	ポルトガル語		

DVDプレーヤーを使うには

テレビ・オーディオ

CDプレーヤーでCDを聞くには

CDを再生し、聞くことができます。CDの出し入れについてはP.1-14を参照してください。



1 CDを聞くには



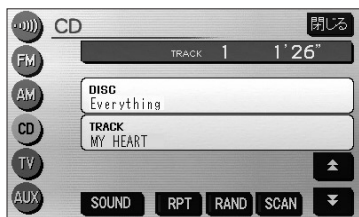
(1) ディスク差し込み口にCDを差し込みます。
自動的に電源が入り、再生を開始します。

また、CDが差し込まれているときに **AUDIO** を押し、オーディオ操作画面（P.7-3参照）から **CD** にタッチすると、再生を始めます。



お知らせ

本機では、CDエキストラの映像再生はできません。



- 文字（記号）が記録されているCDを挿入した場合は、CD操作画面に表示されます。



お知らせ

- 録音機種によってはディスクが再生されないことがあります。
- CD操作画面に表示される文字数は以下のとおりです。
ディスクタイトル・・・半角で最大32文字、全角文字で最大16文字まで、先頭から表示します。
トラックタイトル・・・半角で最大32文字、全角文字で最大16文字まで、先頭から表示します。
- 録音（入力）機種によっては文字（記号）タイトルが表示されないことがあります。

2 曲を選ぶには



- (1) **TUNE TRACK** を押します。

- 右側を押すと、次の曲を選曲できます。
- 左側を押すと、前の曲を選曲できます。



お知らせ

左側を一回押すと、再生中の曲が始めから開始されます。

3 早送り・早戻しをするには



- (1) **TUNE TRACK** を押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。
- CD操作画面の **⏮** または **⏭** にタッチしても早送り・早戻しできます。
- **⏮** を押し続けると早送りできます。
- **⏭** を押し続けると早戻しできます。
- 手をはなすと再生が開始されます。

4 再生中のディスクの中から希望する曲を探すには



(1) **SCAN** にタッチします。

- **SCAN** の作動表示灯が点灯します。
- 再生中の曲の次の曲から、曲の始めの部分を約10秒間ずつ、次々に再生します。

(2) 希望する曲が再生されたところでもう一度タッチすると、その曲の再生を続けます。

5 同じ曲をリピート再生するには



(1) **RPT** にタッチします。

- **RPT** の作動表示灯が点灯します。
- もう一度タッチすると解除されます。

6 曲の順番をランダムに聞くには



(1) **RAND** にタッチします。

- **RAND** の作動表示灯が点灯します。
- もう一度タッチすると解除されます。



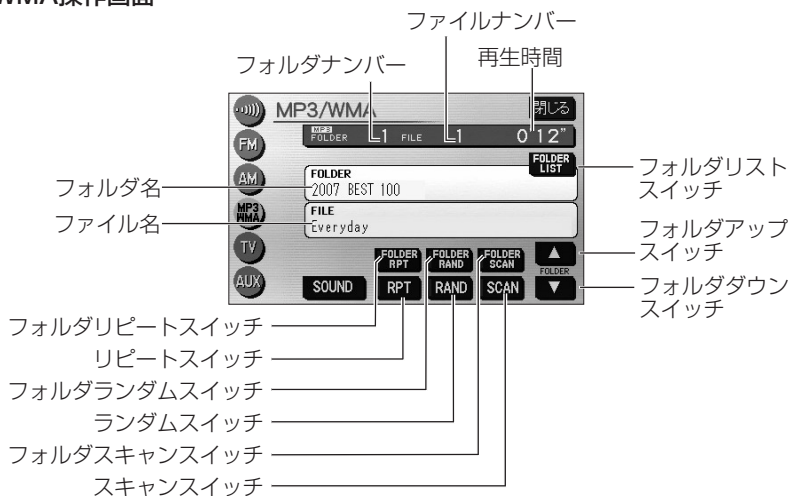
お知らせ

ランダム選曲は、曲が終わるごとに次に再生する曲をランダム（無作為）に決めています。このため同じ曲が何度も再生されることがあります。

MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには

CD-ROM、CD-R/RWに記録されたMP3/WMAファイルを聞くことができます。

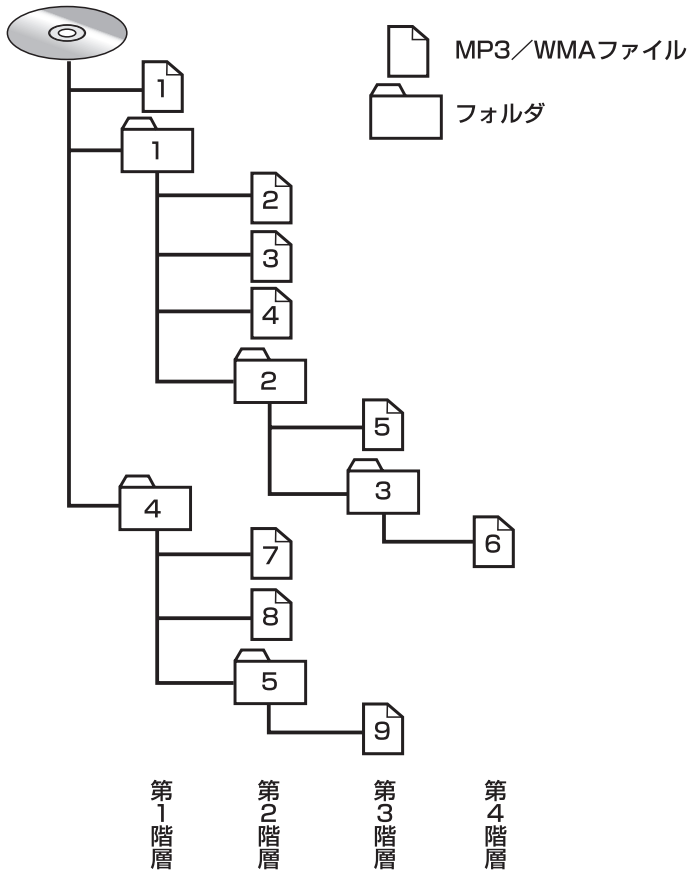
●MP3/WMA操作画面



●フォルダ／ファイルリスト画面



●MP3/WMA対応ディスクの構造例



MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには

テレビ・オーディオ



お知らせ

- フォルダに格納されずディスクに直接格納されているファイル①は、本機のMP3/WMAプレーヤーで再生する場合に“ROOT FOLDER”という架空のフォルダに格納されます。
- MP3/WMAファイルが直接格納されていないフォルダは、本機では表示されません。
- 同じディスク（同一セッション）に音楽CD（CDDA）データとMP3/WMAデータが混在する場合、MP3/WMAデータは再生できません。
- 同じディスクにオーディオファイル（WAVEデータ）とMP3/WMAデータが混在する場合には、MP3/WMAデータのみ再生することができます。
- マルチセッションにより複数のセッションが存在するディスクでは、すべてのセッションを再生できない場合があります。

1 MP3/WMAディスクを聞くには



(1) ディスク差し込み口にCDを差し込みます。

自動的に電源が入り、再生を開始します。

また、MP3/WMAが収録されたCD-R/RWが差し込まれているときに **AUDIO** を押し、オーディオ操作画面 (P.7-3参照) から **MP3 WMA** にタッチすると、再生を始めます。



お知らせ

- 通常は ①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑧→⑨ (P.7-44 「●MP3/WMA対応ディスクの構造例」を参照) の順に再生します。
- 再生中のファイルのモードを、“MP3” または “WMA” で表示します。
- 画面に表示させることができるフォルダ名、ファイル名の文字数は、最大16文字 (半角のみのときは32文字まで表示できる場合があります) までです。また、記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されない場合があります。

2 聞きたいフォルダを選ぶには

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

●操作画面で選ぶには



(1) MP3/WMA 操作画面 (P.7-43 参照) で **▲** または **▼** にタッチします。

- 選んだフォルダに格納されている最初のファイルの再生を始めます。

●リスト画面で選ぶには



- (1) MP3/WMA 操作画面 (P.7-43 参照) で **FOLDER LIST** にタッチします。

●走行中は操作できません。

●フォルダリスト画面 (P.7-43参照) が表示されます。

- (2) リストに表示されたフォルダ名にタッチします。

- 選んだフォルダに格納されている最初のファイルの再生を始めます。
- フォルダが7つ以上のときは、▲または▼にタッチするとリストのページを切り替えます。



3 聞きたいファイルを選ぶには

ディスクの中から聞きたいファイルを選ぶことができます。

●TUNE・TRACKボタンで選ぶには



- (1) **TUNE TRACK** を押します。

- 右側を押すと、次のファイルを再生できます。
- 左側を押すと、前のファイルを再生できます。



お知らせ

左側を1回押すと、再生中のファイルが始めから開始されます。

●リスト画面で選ぶには



- (1) P.7-46の**2**の「●リスト画面で選ぶには」の(2)の画面で**FILE**にタッチします。

●走行中は操作できません。



- ファイルリスト画面 (P.7-43参照) が表示されます。
- (2) リストに表示されたファイル名にタッチします。

- 選んだファイルの再生を始めます。
- ファイルが7つ以上のときは、**▲** または **▼** にタッチするとリストのページを切り替えます。
- **FOLDER** にタッチするとフォルダリスト画面 (P.7-43参照) が表示されます。

4 早送り・早戻しをするには



- (1) **TUNE TRACK** をピッと音が鳴るまで押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。
- 手をはなすと再生が開始されます。

5 同じファイルをリピート再生するには



- (1) MP3/WMA操作画面 (P.7-43参照) で **RPT** にタッチします。

- **RPT** の作動表示灯が点灯します。
- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- もう一度タッチすると解除されます。

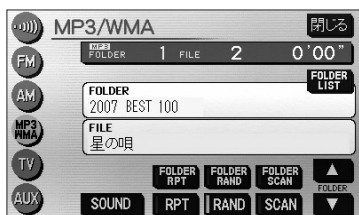
6 同じフォルダをリピート再生するには



(1) MP3/WMA操作画面（P.7-43参照）で **FOLDER RPT** にタッチします（フォルダリピート）。

- **FOLDER RPT** の作動表示灯が点灯します。
- 現在再生中のファイルと同じフォルダにあるファイルを繰り返し再生します。
- もう一度タッチすると解除されます。

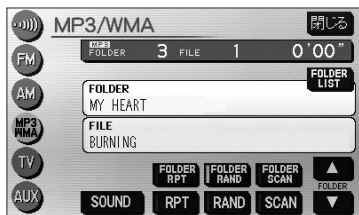
7 再生中のフォルダの中からランダムに再生するには



(1) MP3/WMA操作画面（P.7-43参照）で **RAND** にタッチします。

- **RAND** の作動表示灯が点灯します。
- 再生中のフォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
- もう一度タッチすると解除されます。

8 全フォルダの中からランダムに再生するには



(1) MP3/WMA操作画面（P.7-43参照）で **FOLDER RAND** にタッチします（フォルダランダム）。

- **FOLDER RAND** の作動表示灯が点灯します。
- ディスク内の全フォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
- もう一度タッチすると解除されます。

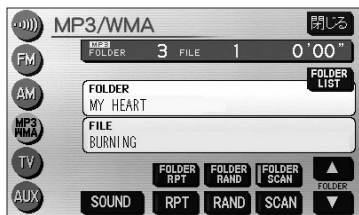
9 再生中のフォルダの中からファイルを探すには



(1) MP3/WMA操作画面 (P.7-43参照) で **SCAN** にタッチします。

- **SCAN** の作動表示灯が点灯します。
- 再生中のファイルの次のファイルから、フォルダ内の全ファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- もう一度タッチすると、そのファイルの再生を続けます。
- 全ファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

10 全フォルダの中からフォルダを探すには



(1) MP3/WMA操作画面 (P.7-43参照) で **FOLDER SCAN** にタッチします (フォルダスキャン)。

- **FOLDER SCAN** の作動表示灯が点灯します。
- 再生中のフォルダの次のフォルダから、各フォルダ内の先頭にあるファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- もう一度タッチすると、そのフォルダの再生を続けます。
- 全フォルダの先頭にあるファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

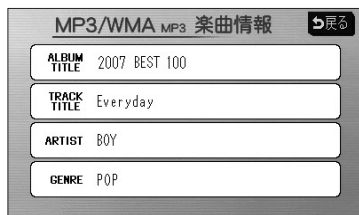
11 楽曲情報を表示するには



(1) フォルダリストまたはファイルリスト画面 (P.7-43 参照) で **曲情報** にタッチします。

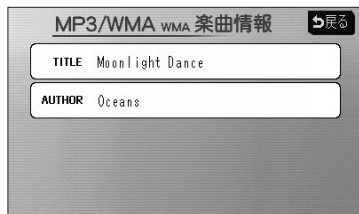
- 再生中のMP3ファイルまたはWMAファイルの楽曲情報画面が表示されます。
- 走行中は操作できません。

MP3楽曲情報画面



- MP3楽曲情報画面は、MP3ファイルに保存されているID3タグ情報 (P.7-52参照) を表示します。

WMA楽曲情報画面



- WMA楽曲情報画面は、WMAファイルに保存されているWMAタグ情報 (P.7-52参照) を表示します。



お知らせ

- 走行中は、安全のため楽曲情報を表示しません。
- 楽曲情報画面に表示される文字数は、最大16文字（半角のみのときは32文字まで表示できる場合があります。）までです。また、記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されないことがあります。

●MP3/WMAについて

MP3 (MPEG Audio Layer3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™Audio)はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できるMP3/WMAファイルの規格や記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

●対応規格

MP3(MPEG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3 LSF)

●対応サンプリング周波数

MPEG-1 Audio Layer3 : 32、44.1、48 (kHz)

MPEG-2 Audio Layer3 LSF : 16、22.05、24 (kHz)

●対応ビットレート

MPEG-1 Audio Layer3 : 32、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)

MPEG-2 Audio Layer3 LSF : 8、16、32、64、80、96、112、128、
※VBRに対応しています。 144、160 (kbps)

●対応チャンネルモード : ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能なWMAファイルの規格について

●対応規格

WMA Ver. 7、8、9

●対応サンプリング周波数

32、44.1、48(kHz)

●対応ビットレート

Ver. 7、8 : CBR 48、64、80、96、128、160、192 (kbps)

Ver. 9 : CBR 48、64、80、96、128、160、192 (kbps)

※VBRに対応しています。(Ver. 9の44.1、48(kHz)のみ)

※2ch再生のみ対応しています。

ID3タグ／WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機では、ID3 Ver. 1.0、1.1、2.3、2.4のID3タグに対応しています。(文字数はID3 Ver. 1.0、1.1に準拠します。ジャンルについてはID3タグ Ver. 2.3、2.4は対応しておりません。)

※Riff SIFには対応しておりません。

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、オーサー名（アーティスト名）を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R、CD-RWおよびCD-ROMです。

なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは通常の音楽CD(CDDA)に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズをつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

●ディスクフォーマット

CD-ROM Mode 1

CD-ROM XA Mode 2 Form 1

●ファイルフォーマット

ISO9660レベル1、2

Joliet

Romeo

※パケットライト方式には対応しておりません。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層 : 8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数 : 全角16文字。半角のみのときは32文字。
- 最大フォルダ数 : 192（ルート含む）
- ディスク内最大ファイル数 : 255

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“.mp3” / “.wma”がついたものだけです。

MP3/WMAファイルには、“.mp3” / “.wma”の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

本機は、マルチセッションに対応しておりません。1枚のディスクに2つ以上のセッションが記録されている場合は、全てのセッションを再生できない場合があります。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが格納されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。

ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※VBRで作成したファイルの早送り・早戻し動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番について

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは次のような順番で表示します。

1. MP3/WMAファイルを格納しているフォルダにフォルダナンバーが順番に付与されます。この順番は同一階層にあるフォルダよりも下位階層にあるフォルダが優先となります。
2. 次にフォルダ内のファイルがファイル名順（0～9、A～Z等）に並べられます。
3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAファイルが存在する場合はMP3を優先して表示します。



お知らせ

MP3/WMA以外のファイルに“.mp3” / “.wma”の拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに“.mp3” / “.wma”の拡張子をつけないでください。

●MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合について

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、視聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示どおりにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合について

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R/CD-RWに書き込む場合について

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介して、ライティングソフトにてCD-R/RWに書き込みます。

- ・ISO9660レベル1、2またはJolietまたはRomeoというファイルフォーマットに設定してください。
- ・CD-RWを消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
- ・CD-R/RWは、書き込みの設定でセッションとCDの終了処理を行ってください。

※使用方法などはライティングソフトで異なりますので確認してください。



お知らせ

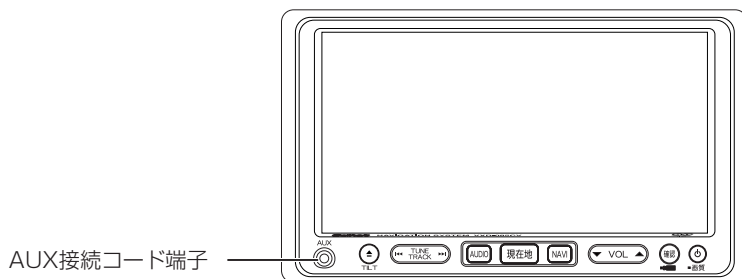
- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R/CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。また、本機ではディスクアットワンス、トラックアットワンスで記録されたディスクをご使用ください。
- MP3/WMAは市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

ポータブルオーディオ機器を接続して使う (AUX)

市販のポータブルオーディオを接続すると、本機でポータブルオーディオに収録された音楽を聞くことができます。

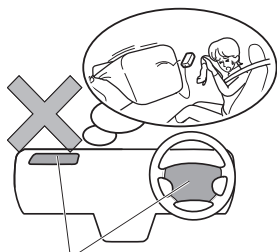
ポータブルオーディオを接続する場合は、別売の「AUX接続コード」をご使用ください。

※本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえご使用ください。



●ポータブルオーディオをお使いになる前に

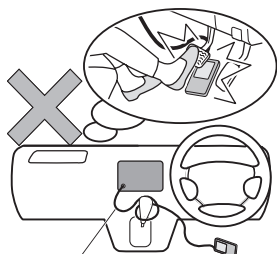
警告



SRSエアバッグ展開部

- 接続したポータブルオーディオやAUX接続コードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

※ SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱説明書をご覧ください。

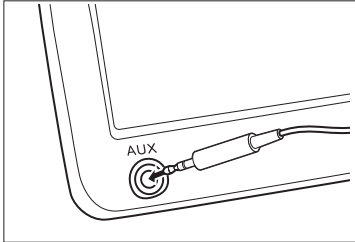


AUX接続コード

- ポータブルオーディオやAUX接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

1 ポータブルオーディオを接続する (取りはずす)

- ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- オーディオのモードがAUX以外になっている、または本機の電源がOFFになっていることを確認してください。



(1) AUX接続コードを接続します (取りはずします)。



お知らせ

- 抵抗付きコードは使用できません。
- モニター開閉時、コードを挟み込まないように注意してください。
- 今後発売される機器に関しては、動作の保証はいたしません。



お願い

- ディスプレイが開いている、または傾いた状態 (P.1-18参照) では、AUX接続コードの抜き挿しはしないでください。
- AUX接続コードに手を引っ掛けたりしないよう注意してください。
- 運転中はポータブルオーディオの接続・操作・取りはずしをしないでください。

2 ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱説明書をご覧ください。



(1) 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。

(2) オーディオ操作画面 (P.7-3参照) から **AUX** にタッチします。

- AUX画面に切り替わります。
- ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。
- 再生中に **AUDIO** を押すとAUX操作画面が表示されます。

3 ポータブルオーディオを終わる



(1) を押すか、他のオーディオモードに切り替えます。

● もう一度 を押すか、**AUX** にタッチすると再生が再開されます。



お知らせ

- AUXモード中にAUX接続コードを抜き挿しすると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- AUXモード中にポータブルオーディオの電源を切り替えると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
- 接続した機器の入力音量が大きい場合は、音が歪む場合があります。この場合は、接続した機器側で音量を調整してください。
- AUXモード中に音量を調整すると、AUXモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- 本機の電源がONの状態の時にAUX接続コード端子からコードを抜く、または本機の電源がOFFの状態の時にAUX接続コード端子からコードを抜いてそのまま本機の電源をONした場合、音量は初期設定値に戻ります。
- 本機に接続したポータブルオーディオの音量を変更したときは、本機との接続を解除したあと、音量をもとに戻してください。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリーなどを使用してください。お車に装着されているシガライターソケットやアクセサリソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出る場合があります。

ポータブルオーディオ機器を接続して使う (AUX)

メモ

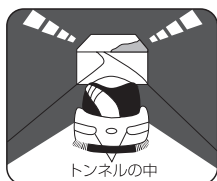
メモ

フ
テレ
ビ・
オー
ディ
オ

自転車位置精度について

GPSを受信できない場所

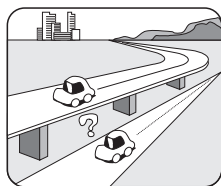
GPS衛星からの電波は直進性が強いいため、次のような場所では受信できないことがあります。



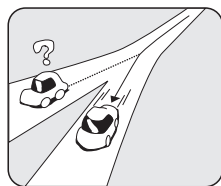
- ルーフキャリアなど使用時にはGPS衛星の電波がさえぎられて自転車位置を測位できなくなることがあります。このようなときは、アンテナとルーフキャリアをはなして設置してください。
- GPS衛星はアメリカの国防総省により管理されており、衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自転車マークがズれることがあります。

本システムは、以下のような走行環境やGPS衛星の状態により自転車マークが正しい位置を表示しないときがありますが、故障ではありません。また新設道路など地図データが実際の道路形状と異なっている道路を走行後、地図データ上の道路に戻ると自転車マークがズれることがあります。

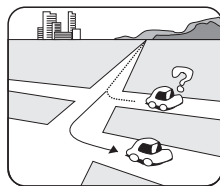
そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して現在位置を自動的に補正します。



高速道路を走行しているのに、その側道に自転車マークがのる場合があります。また、その逆の場合もあります。



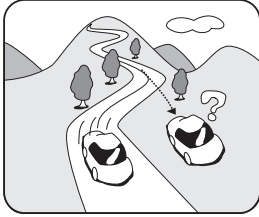
角度の小さなY字路を走行しているとき他方の道に自転車マークがのる場合があります。



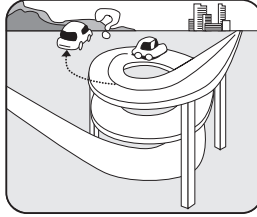
碁盤目状の道路を走行しているとき、隣の道路に自転車マークがのる場合があります。



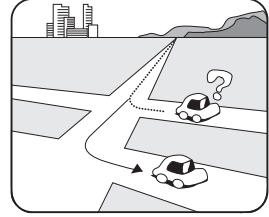
フェリー、車両運搬車などで移動したあと、GPSの受信ができない時、自転車マークが移動前の位置になっている場合があります。



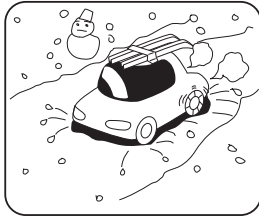
勾配の急な山岳などを走行しているとき、自車マークがズレる場合があります。



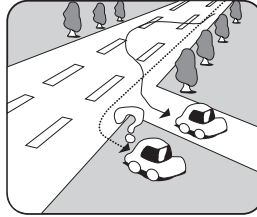
ら旋状の道路などを走行しているとき、自車マークがズレる場合があります。



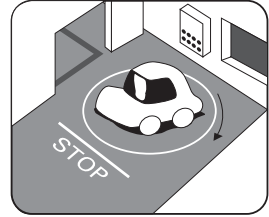
直線路を長い間走行したあとに、右左折した時、手前または先の道路に自車マークがのる場合があります。



雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、自車マークがズレることがあります。
また、タイヤチェーンなどを装着して走行しているときも、自車マークがズレることがあります。



道幅の広い道路で蛇行運転すると、距離が合わなくなり、自車マークがズレることがあります。

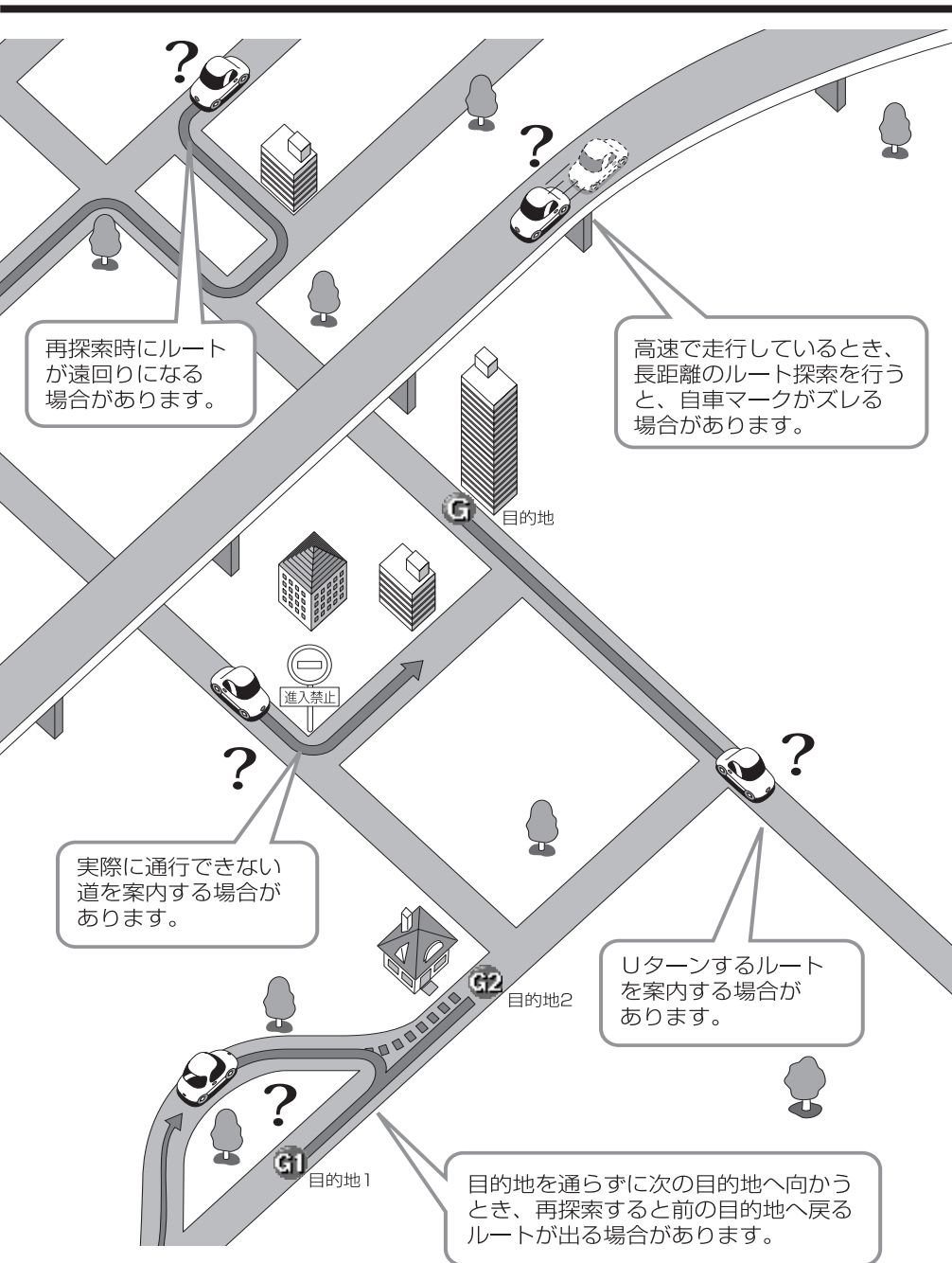


地下駐車場や立体駐車場で、ら旋状の道路を走行したあとや回転したあと一般道にでると、自車マークがズレる場合があります。
イグニッションキーのACC OFFの状態、ターンテーブルなどでの旋回をおこなうと自車マークの向きが異なることがあります。

- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤ使用時に自車マークがズレることがあります。
- 実際の向きと自車マークの向きが異なった場合はGPS衛星による位置修正が行なわれると自動的に方位修正されます。
- 車庫入れ時の後退や、切り返しにより自車マークがズレることがあります。
- 坂道では、自車マークがズレることがあります。

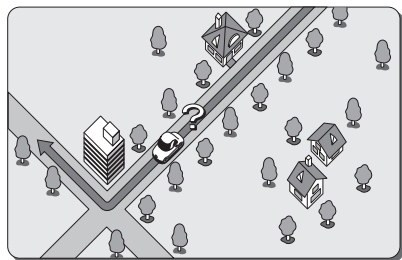
※ ■■■■ を実際は表示しません。



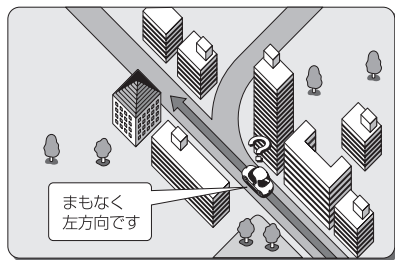


ルート案内について

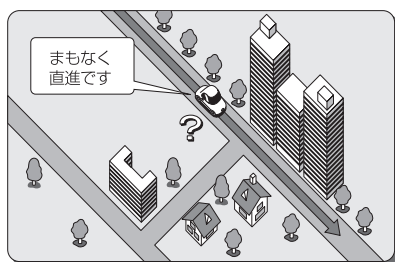
●次のような場合故障ではありません。



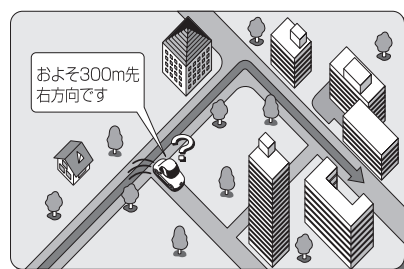
交差点で曲がるときに案内がされない場合があります。



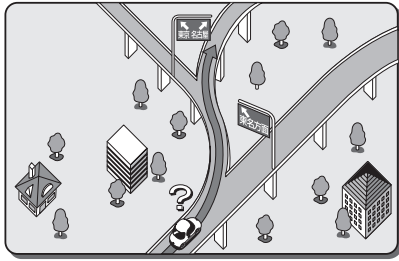
右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。



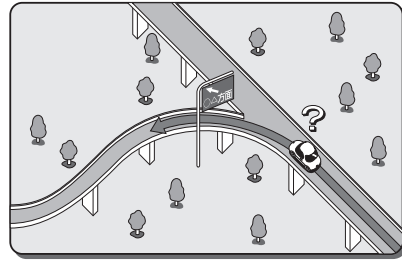
直線道路走行中に、直進案内がされる場合があります。



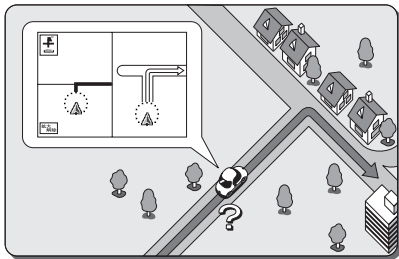
案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内がされる場合があります。



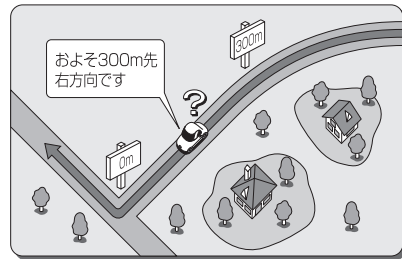
方面案内でいくつもの方面名を表示することがあります。



方面案内が表示されない高速道路・有料道路があります。



交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。



案内距離が多少ズれることがあります。

こんなメッセージが表示されたとき

ナビゲーション部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処理方法
地図ディスクが入っていません 地図ディスクを入れて下さい	地図ディスクの差し込み口に地図ディスクが入っていない場合	地図ディスクを入れてください。
地図ディスクを入れて下さい	地図ディスクの差し込み口に8cmディスクを入れた場合や、差し込んだ地図ディスクを手で引き抜いた場合	地図ディスクを入れてください。また、差し込んだ地図ディスクは引き抜かないでください。
地図データが読めません 地図ディスクが正しいかを確認下さい	地図ディスクの差し込み口に地図ディスク以外のディスクが入っている場合	専用の地図ディスクに入れかえてください。
地図ディスクが正しく読めません 地図ディスクの傷、汚れをご確認下さい	地図ディスクに傷や汚れがあり、データが正しく読み取れない場合	地図ディスクを取り出し、クリーニングしてください。
地図データが読めません 販売店にご相談下さい	DVDプレーヤーの異常、故障	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
プログラム読み込み中です 電源を切らないで下さい	バッテリーとの接続を断たれた、または電圧が下がった後に起動を行った場合	プログラム読み込みが終了するまで、しばらくそのままお待ちください。
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号入力で入力したデータが地図ディスクに登録されておらず、地図表示ができない場合	入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号入力で入力したデータが地図ディスクに登録されておらず、地図表示ができない場合	入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
ルートが探索できませんでした	案内できるルートがない場合	他に目的地を設定するか、あるいは地図を参考に走行してください。
新しいルートが探索できませんでした 前回のルートでご案内します	案内中のルート以外に適切なルートが見つからなかった場合	表示しているルートで走行していただくか、地図を参考にして走行してください。
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が1ヵ所も登録されていないときに、メモリ地点から地図を表示しようとした場合	メモリ地点の登録を1ヵ所以上行ってからお使いください。

テレビ・オーディオ部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
ディスクが入っていません	ディスクの差し込み口に音楽CD、MP3/WMAディスク、DVDが入っていない場合	音楽CD、MP3/WMAディスク、DVDを入れてください。
ディスクをお確かめ下さい	音楽CD、MP3/WMA ディスクまたはDVDが裏返しになっている場合	ディスクを正しく入れ直してください。
	ディスクが汚れているまたは傷がある場合	汚れているときはクリーニングしてください。傷があるときは傷のないものにしてください。
接続状態をお確かめ下さい	AUX接続コードがしっかり接続されていない場合	AUX接続コードをしっかりと接続してください。
異常検知により再生を停止します	対応していないフォーマットのMP3/WMA ファイルまたはデータ破損等で再生が不可能なMP3/WMAファイルを使用している場合	再生可能なフォーマット (P.7-51参照) のMP3/WMA ファイルを使用してください。
リージョンコードエラー	再生しているDVDソフトのリージョンコードが「2」、「ALL」以外の場合	対応しているDVDを入れてください。(P.7-18参照)
入力番号が正しくありません	DVDに対応していない言語コードを入力したまたは暗証番号が正しく入力されなかった場合	正しい言語コード (P.7-39参照) または暗証番号を入力してください。
異常検知でDISC停止中です	何らかの原因でDVDプレーヤーが動作しない場合	DVDプレーヤーからディスクを取り出してください。
温度異常のためDISC停止中です	DVDプレーヤーが高温になり、再生が不可能な場合	温度が下がるまでしばらくそのままお待ちください。

こんなメッセージが表示されたとき

8 知っておいてください

VICS/FM多重部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処理方法
VICSの文字(図形) 情報を受信中です しばらくお待ち下さい	文字情報、図形情報のメニューを受信中 の場合	メニューの受信が完了するまでお待ち ください。
最新のVICS割り込み情報は ありません	割り込み情報を再表示しようとしたとき に受信した割り込み情報がない場合	割り込み情報受信後、30分以内に利用 ください。
VICSの文字(図形)情報を受信して いません VICS選局で周波数をご確認下さい	FM多重放送を行っている放送局を 選局していないか、または情報を受信 していない場合	選局しなおしてVICSの情報を受信して ください(P.4-47～4-48参照)。
受信中です しばらくお待ち下さい	FM多重放送のメニューを受信中の場合	メニューの受信が完了するまでお待ち ください。
FM多重放送を受信できません	選局したが、FM多重放送番組を一つも 受信できなかった場合	受信感度の良い所に車を移動してから ご利用ください。
この情報は停車中にご覧になれます	連動情報番組表示中に車が走行した場合	車を安全な所に停車させてからご利用 ください。

こんなメッセージが表示されたとき

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなった時は、下表にしたがって確認していただき、それでも作動しない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

万一異常（ヒューズ溶断など）が起きましたら、必ずお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。ご自身でヒューズの取り換えや修理をされますと、思わぬことで故障の範囲を大きくすることがありますので特にご注意ください。

症 状	確 認 項 目
画面が次の何れかの状態になっている場合 ●真っ暗で全く光らない ●光っているが、画面が表示されない ●画像が乱れる ●画像の色がおかしい ●ライトを点灯しても夜画面にならない	画面消に設定されていませんか？ ⇒ 現在地 、 NAVI を押してください。 画質の設定は適切ですか？ ⇒ ⑤ を“ピッ”という音が鳴るまで押し、設定を確認してください（P.1-22参照）。 解消されないときは、エンジンスイッチを 0 (OFF) → I (ACC) または II (ON) にしてください。 それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
テレビの画面が表示されない場合	車の電源のスイッチは入っていますか？ ⇒エンジンスイッチを I (ACC) または II (ON) にしてください。 ヒューズは切れていませんか？ ⇒ヒューズの位置は、車の取扱説明書を参照してください。 車は完全に停止していますか？ ⇒車を完全に停止させてください。
ナビゲーションの画面が表示されない場合	専用の地図ディスクが正しく入っていますか？ ⇒地図ディスクを確認してください。 地図ディスクがひどく汚れていませんか？ ⇒地図ディスククリーニングして入れてください。
自車を移動させても地図がスクロールしない場合	現在地画面になっていますか？ ⇒「基本編」を参照して、現在地表示にすると地図がスクロールします。
自車マークが表示されない場合	現在地画面になっていますか？ ⇒基本編を参照して、現在地表示にすると自車マークが表示されます。
目的地が接近しても音声案内がない場合	案内中になっていますか？ ⇒応用編を参照して、案内中にしてください。 音量が消音になっていませんか？ ⇒応用編を参照して、聞きやすい音量に設定してください。
地図をタッチしてそのまま押し続けても、連続して地図がスクロールしない場合	走行中に地図をタッチしていませんか？ ⇒走行中は安全のため、連続操作はできません。 停車してお使いください。
地図をタッチしても、地図がスクロールしない場合	地図をタッチした時に、地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。故障ではありませんので、地図をタッチしたまま、しばらくお待ちください。

症状	確認項目
地図をタッチして、地図スクロール中に途中で地図が止まる場合	スクロール中に地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。 故障ではありませんので、そのままご使用ください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある場合	故障ではありませんので安心してご使用ください。 ⇒液晶特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。
エンジンスイッチをONにした後しばらく画面にムラがある、または画面が暗い場合	寒冷時、液晶のバックライトの特性上、光ムラが発生することもあります。エンジンスイッチをONにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。
画面がみにくい場合	画面の明るさ、コントラスト調整は適正ですか？ ⇒P.1-22を参照して明るさ、コントラストを調整してください。 モニターの角度調整は適正ですか？ ⇒P.1-18を参照して画面の向きを見やすい位置にしてください。
ディスクを入れることができない場合	車の電源スイッチは入っていますか？ ⇒車のキーを「I (ACC)」または「II (ON)」の位置にしてください。
音飛びをしてしまう場合	結露していませんか？ ⇒換気してからご使用ください。 ディスクがひどく汚れていませんか？ ⇒ディスクをクリーニングして入れてください。
ディスクを取り出せない場合	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
片側のスピーカーしか音が出ない場合	音量の調節は正しいですか？ ⇒左右音量調節をして確認してください。
ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されない場合	ポータブルオーディオの電源は入っていますか？ ⇒ポータブルオーディオの電源を入れてください。 ポータブルオーディオは再生されていますか？ ⇒ポータブルオーディオを再生してください。
地図画面、オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る	電氣的ノイズを発生させる電装品を本機の傍で使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの (例) マイナスイオン発生器 電磁波を発生するもの (例) 携帯電話、無線機 ⇒本機から出来るだけ遠ざけてご使用ください。 遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。

テレビ放送の電波について

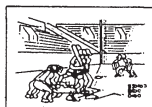
つぎのような場所では、映りにくいことがあります。



揺れる



雑音が出る

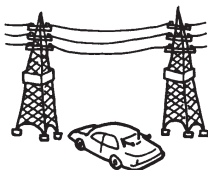


2重、3重になる
(ゴースト)

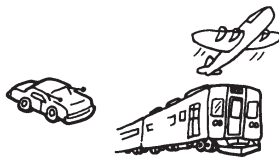
ビルとビルの間



送電線の付近



上空を飛行機が通過
電車が近くを通過



山かげ、放送局から遠いところ



雑音が出る

だんだん映りが
悪くなる 色が
出たり、消えたりする

山や木立のかげ



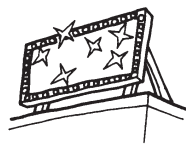
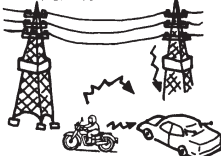
トンネル内



正常

画面にはん点が出る
(メダカノイズ)

自動車、バイク、高圧線、ネオンサインなどの近く



正常

色縞模様が出る
色が消える

ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近く

車内の無線機を使用している
場合



故障とお考えになる前に

8 知っておいてください

保証とアフターサービス

■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 調子が悪いとき …… まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき …… 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …… 製造打ち切り後、最低6年間保有しています

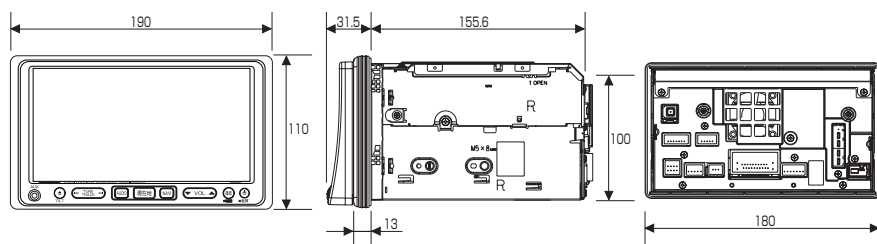
保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めの販売店へご相談ください

仕様

デュアルサイズDVDナビコンボ

寸法 (型番VXD-085CV)	: 190 mm×110 mm×169 mm (幅×高さ×奥行き)
(型番VXD-085C)	: 190 mm×110 mm×169 mm (幅×高さ×奥行き)
質量 (型番VXD-085CV)	: 2800 g
(型番VXD-085C)	: 2720 g
供給電源電圧	: DC 12 V (試験電圧14.4 V)
消費電流	: 4 A以下 (電源電圧13.2 V、FMモード定格出力時)
動作温度	: -20℃～+55℃

(本体部)

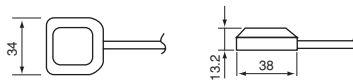


GPSアンテナ

寸法	: 34 mm×13.2 mm×38 mm (幅×高さ×奥行き)
質量	: 25 g (ケーブル、コネクタを除く)
供給電源電圧	: DC 5 V
消費電流	: 30 mA以下
動作温度	: -30℃～+80℃

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

(GPSアンテナ)



< 共通部 >

電源電圧 : DC12V(試験電圧14.4V)⊖アース
 消費電流 : 4 A以下(0.5 W×4 ch出力時)
 最大出力 : 35 W×4 ch
 定格出力 : 18 W×4 ch(10 % T.H.D.)
 適合スピーカー
 インピーダンス : 4 Ω

< FMチューナー部 >

受信周波数範囲 : 76.0 MHz～90.0 MHz
 実用感度 : 8 dB (μV)
 信号対雑音比 : 55 dB (30 kHz L.P.F.使用)

< AMチューナー部 >

受信周波数範囲 : 522 kHz～1629 kHz
 実用感度 : 25 dB (μV)
 信号対雑音比 : 42 dB (30 kHz L.P.F.使用)

< TVチューナー部 >

受信チャンネル : VHF 1～12チャンネル
 UHF 13～62チャンネル
 音声実用感度 : 35 dB (μV)

< DVD/CDプレーヤー部 >

信号対雑音比 : 70 dB (IHF-A使用)
 全高調波歪率 : 0.08 % (IHF-A使用, 1 kHz)
 周波数特性 : 20 Hz～20 kHz (-3 dB)

< 表示部 >

液晶パネル : 7 V型低反射タッチパネル
 画面寸法 : 156.6 mm×180 mm×82.4 mm
 (幅×対角×高さ)
 ドット数 : 28万800ドット
 (縦234×横1200)
 有効画素数 : 99.99 %
 表示方式 : 透過型カラーフィルタ方式
 駆動方式 : TFT (薄膜トランジスター)
 アクティブマトリクス方式
 タッチパネル : 抵抗膜式タッチパネル

用語さくいん

【あ行】

新しく探すカスタマイズ	4-17
案内再開	3-27
案内中止	3-27
一般優先	2-30
居眠り防止案内	4-14
迂回メモリ	4-32
オーディオ操作画面	7-4
音量設定	3-28
オンルートスクロール	3-23

【か行】

カーブ警告	4-12
拡大表示	2-19
画質調整	1-21
画面設定	1-24
カレンダー	5-17
簡単初期設定ガイド	2-1
季節規制メッセージ	4-14
季節規制回避	2-26
距離補正	4-52
距離優先	2-30
県境案内	4-12
現在地画面	2-9
コーナーカメラ	6-9
交差点拡大図	2-33、4-4
高速時の自動音量切替	3-28
高速分岐模式図	2-35、4-4
高速略図	2-21、2-36
交通事故多発地点マーク	4-10
交通情報	7-15
後席ディスプレイ	6-20
合流警告	4-12

【さ行】

再探索	3-4、3-11、3-18
シーズンレジャーランドマーク	4-8
市街図	2-20
自転車マーク	2-9、4-10

施設ランドマーク	3-46
自宅に帰る	2-28
自宅の登録	4-29
自動再探索	4-14
自動補正	4-52
使用データ	4-53
車両情報設定	4-15
周辺迂回	3-18
周辺施設	3-44、4-3
乗降IC	2-29、3-16
ショートカット設定	4-18
推奨	2-30
スケール表示	2-9
全ルート	2-29、2-32
走行軌跡	3-26
操作音	1-25

【た行】

タッチスイッチ	1-13、2-9
他モード時の案内	4-13
地図スクロール時の地名表示	2-10、4-9
通過道路	3-11
提携駐車場	3-30
デモ	3-22
テレビ	1-23、7-5
電話帳	5-16
到着予想時刻	2-29、2-31、4-3
特別メモリ地点	4-29
時計表示	2-9、4-10
都市高マップ	2-37

【な行】

ナビ設定	4-1
ナビ補正	4-16
ナビメニュー	2-7
ネットワークフォロー	7-10
ノースアップ	2-14

【は行】

ハートフル音声	4-13
---------	------

販売店	5-13
昼画表示	1-21
ヒント	3-3
踏切警告	4-12
フロントワイド	4-5、4-6
フロントカメラ	6-4
別ルート	2-30
ヘディングアップ	2-14
方位マーク	2-9、2-14
方面名称	2-35

【ま行】

マップコード	3-43
右画面	2-18
メモリ地点	3-41、4-19
メンテナンス	5-6
目的地	2-25、3-4
目的地消去	3-9
目的地直線表示	4-9
目的地履歴	4-16

【や行】

有料優先	2-30
よく行く場所	2-28
夜画表示	1-21

【ら行】

ラジオ	7-12
リアカメラ	6-16
リアルワイドマップ表示	4-9
履歴	3-42
立体交差点拡大図	2-34
立体ランドマーク表示	4-8
料金案内	4-10
ルート案内	2-23、3-27、8-5
ルート情報画面	3-21
ルート探索	2-25、8-3
レーンリスト	2-34、4-2

【わ】

割込情報	4-46、4-47
------	-----------

【アルファベット/数字】

AM	7-12
AUTO.P	7-7、7-13
AUX	7-55
CDプレーヤー	7-40
DVDプレーヤー	7-25
ETC	6-1
FM	7-12
FM図形	4-46
FM多重	5-2
FM文字	4-45
GPSマーク	2-9
MP3/WMAプレーヤー	7-43
QQコール	4-54
SOUND	7-2
TILT	1-18
VICS	4-38
VICSタイムスタンプ	4-41
VTR	7-11
2画面	2-17
2Dツイン	2-17
3D交差点拡大図	4-5
3D高速分岐案内	2-35
3D市街図ビル立体表示	2-20、4-7
3Dツイン	2-15、2-17
5ルート	2-29

凡例

表示①	表示②	内 容	表示①	表示②	内 容
	(紫色)	高速・都市高・有料道路			電話局
	(赤色)	国道			銀行・信用金庫・農協
	(緑色)	主要地方道			デパートなど
	(橙色)	一般都道府県道			ホテル・旅館など
	(灰色)	その他の道路 (巾5.5 m 以上)			ビル
	(灰色)	その他の道路 (巾3.0 m以上)			工場
		JR			灯台
		鉄道			神社
	(水色)	水域			寺院
-----	-----	都道府県界・市区町村界			教会
	(緑色)	緑地			霊園・墓地
	(灰色)	駅舎・敷地			城跡
		官公庁			名所・観光地など
		都道府県庁			ゴルフ場
		市役所・東京23区区役所			スキー場
		町村・東京以外区役所			海水浴場
		警察署			アイススケート場
		消防署			マリーナ・ヨットハーバー
		郵便局			陸上競技場・体育館
		インターチェンジ			キャンプ場
		サービスエリア			公園
		パーキングエリア			温泉
		信号機			山
		駐車場			その他の施設
		駅			HONDA Cars店
		フェリーターミナル		(橙色)	ボトルネック踏切
		港湾		(黄色)	踏切
		空港・飛行場			交通事故多発地点
		学校			
		道の駅			
		幼稚園			
		病院・医院			
		電力会社・発電所			

●表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。
●表示①はリアルワイドマップ表示 (P.4-9参照) で表示され、表示②は通常地図で表示されるマークです。

■商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
(株) ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎ 0120-663521

(受付時間 9時～12時,13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く)

発売元 株式会社 **ホンダ アクセス**

〒352-8589 埼玉県新座市野火止8-18-4

製造元 松下電器産業株式会社

〒224-8539 神奈川県横浜市都筑区佐江戸町600番地

PART NO.08A40-5K0-4000-80
YEFM285981 O0507-0